

令和7年度
やまがた緑環境税活用事業実績集

県民みんなで支える森づくり



やまがた緑環境税

令和8年8月



山 形 県

～ 目 次 ～

○ やまがた緑環境税を活用する事業の展開について	1
○ 令和7年度やまがた緑環境税活用事業実績一覧	2
I 環境保全を重視した森林施策の展開	4
NO. 1-1 荒廃森林緊急整備事業	4
◇ 令和7年度荒廃森林緊急整備事業実績	5
NO. 1-2 森林資源再生事業	11
NO. 1-3 森林資源循環利用促進事業	12
NO. 1-4 広葉樹林健全化促進事業	13
II みどり豊かな森林環境づくりの推進	14
NO. 2-1 みどり豊かな森林環境づくり推進事業	14
◇ 令和7年度みどり豊かな森林環境づくり推進事業実績	15
NO. 2-2 やまがた絆の森づくり推進事業	27
◇ 『やまがた絆の森協定』締結企業一覧	28
◇ 令和7年度山形県CO ₂ 森林吸収量認証制度算定状況一覧	29
NO. 2-3 森づくりサポート体制推進事業	30
NO. 2-4 生物多様性戦略推進事業	31
NO. 2-5 野生鳥獣保護事業	32

III 豊かなみどりを守り育む意識の醸成	33
NO. 3-1 やまがた木育推進事業	33
NO. 3-2 みどりの循環県民活動推進事業	35
NO. 3-3 山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業	37
NO. 3-4 総合支庁実施事業	
NO. 3-4-1 ・むらやま木育普及体制強化事業	38
NO. 3-4-2 ・もがみ遊学の森活動推進事業	39
NO. 3-4-3 ・おきたま源流の森づくり活動推進事業	40
NO. 3-4-4 ・出羽庄内公益の森づくり事業	41
NO. 3-5 やまがた森林ノミクス県民会議	42
NO. 3-6 やまがた緑環境税評価・検証委員会	43
◇ やまがた緑環境税を活用した森づくり活動等関連記事	45

～ やまがた緑環境税を活用する事業の展開について ～

【令和7年度】実績

やまがた緑環境税活用事業 702,088千円
(うちやまがた緑環境税 657,714千円)

I 環境保全を重視した森林施策の展開 557,041千円 (うちやまがた緑環境税 512,667千円)

① 環境保全を重視した森林整備の推進 (517,635千円 うちやまがた緑環境税 473,261千円)

◆ 荒廃森林緊急整備事業 797ha (森林ノミクス推進課: 517,635千円 うちやまがた緑環境税 473,261千円)
荒廃のおそれのある人工林や、活力が低下している里山林の整備を行い、森林の有する公益的機能の適切な発揮を図る

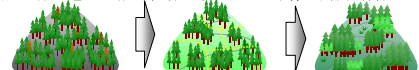
□ 人工林整備 事業量 408ha 215,668千円 (うちやまがた緑環境税 171,293千円)

手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備

やまがた緑環境税による整備 285ha
国庫補助事業を活用した整備 (森林環境保全直接支援事業等) 123ha

○ 針葉樹林維持型

人工林を適正に維持、管理するための間伐や森林作業道の設置等を行う



～多様な樹齢からなる森林が面的に配備され、公益的機能が持続的に発揮される森林へ～



○ 針広混交林型

広葉樹との混交の促進を図る強度間伐等を行う



～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林へ～



□ 里山林整備 事業量 389ha 301,967千円 (うちやまがた緑環境税 301,967千円)

病害虫被害等で活力が低下している里山林の再生 (被害木の伐採等)

やまがた緑環境税による整備 352ha
森林景観整備・人と動物との共存林整備 (市町村補助) 37ha



～多様な樹種や年齢で構成する緑豊かな明るい里山林へ～



② 森林資源の循環利用の促進 (39,406千円)

◆ 森林資源再生事業 85ha (森林ノミクス推進課: 14,807千円)

森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的に発揮する仕組みを構築するために、再造林に要する経費の一部を支援する



◆ 森林資源循環利用促進事業 42,151m³ (森林ノミクス推進課: 24,599千円)

間伐材等を、ラミナ(集成材)、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料等として利用するための搬出等を支援し、環境保全に配慮した木材の利用促進を図る



◆ 広葉樹林健全化促進事業 0m³ (森林ノミクス推進課: 0千円)

ナラ枯れ被害木を含むナラ林等を伐採し、チップ等への活用併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出及び作業道の設置を支援する



II みどり豊かな森林環境づくりの推進 (121,277千円)

① 県民参加の森づくりの推進 (112,656千円)

◆ みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (みどり自然課: 99,416千円)

- 地域住民や市町村、NPO等がそれぞれの地域課題に沿って取り組む森づくり活動等への支援
- 1 豊かな森づくり活動 (地域住民との協働による里山林の保全活動)
- 2 自然環境保全活動 (希少野生生物の生息地の保全活動)
- 3 森や自然とのふれあい活動 (子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習)
- 4 木に親しむ環境づくり (木材の地産地消や木育の取組み)

◆ やまがた絆の森づくり推進事業 (みどり自然課: 833千円)

- 企業と地域が連携した森林の保全・活用と里山の活性化に向けた取組みの支援
- 1 企業・森林所有者・県による「やまがた絆の森協定」に基づく森づくり活動の推進
- 2 整備森林のCO2森林吸収量認証による森づくり活動の見える化

◆ 森づくりサポート体制推進事業 (みどり自然課: 12,407千円)

地域住民や市町村、企業による森づくり活動を総合的に支援



② 自然環境保全対策の推進 (8,621千円)

◆ 生物多様性戦略推進事業 (一部) (みどり自然課: 6,274千円)

自然環境の変化等についての総合的なモニタリング調査及びレッドデータブック改訂のための分析調査

◆ 野生鳥獣保護事業 (一部) (みどり自然課: 2,347千円)

錯誤捕獲された野生鳥獣の放獣支援



III 豊かなみどりを守り育む意識の醸成 (23,770千円)

① 森林・自然環境学習等の推進 (5,855千円)

◆ やまがた木育推進事業 (みどり自然課: 5,855千円)

- 1 やまがた木育推進委員会の開催
- 2 子どもの成長段階に合わせた木育教材の作成等
- 3 「やまがた木育」を指導できる人材を育成する養成講座の開催等
- 4 「やまがた木育」拠点施設としての各県民の森の機能拡充

「やまがた木育推進方針」に基づく木育の展開



② みどりを育む意識の醸成 (16,874千円)

◆ みどりの循環県民活動推進事業 (みどり自然課: 14,383千円)

- 1 やまがた森の感謝祭等の開催
- 2 森を守り、育て、暮らしに活かす「緑の循環システム」を体験する各種イベントの開催 (植樹や、木工体験会等の開催)
- 3 やまがた緑環境税の普及啓発
PRパネル展の開催、広報誌「もりしあ」の発行、新聞、インターネットの動画広告等による広報活動の展開等

◆ 山形の山魅力満点 (マウンテン) プロジェクト事業 (一部) (みどり自然課: 1,190千円)

オオシラビソ再生のための研究等

◆ 総合支庁実施事業 (総合支庁: 1,301千円)

- ◇ 村山総合支庁 ・むらやま木普及体制強化事業 (森林整備課)
- ◇ 最上総合支庁 ・もがみ遊学の森活動推進事業 (森林整備課)
- ◇ 置賜総合支庁 ・おきたま源流の森づくり活動推進事業 (森林整備課)
- ◇ 庄内総合支庁 ・出羽庄内公益の森づくり事業 (森林整備課)



③ やまがた緑環境税の評価・検証等 (1,041千円)

◆ やまがた森林ノミクス県会議(一部) (森林ノミクス推進課: 135千円)

やまがた緑環境税の活用に係る意見交換、連携推進、情報共有

◆ やまがた緑環境税評価・検証委員会 (みどり自然課: 906千円)

やまがた緑環境税活用事業の評価・検証等



II+III (ソフト事業)
145,047千円

「みんなが安心して暮らせるみどり豊かなやまがた」の実現

10年間の森林整備面積目標
今後10年間 (H29～R8) で適切に整備された森林 11,600haの増加

令和8年度の
やまがた緑環境税を活用した森づくり活動などへの参加者数の目標
(H27) 60,979人 → (R8) 7万人

令和8年度の
やまがた緑環境税の認知度向上の目標
(H27) 45.1% → (R8) 50%

令和7年度「やまがた緑環境税」活用事業（ハード） 実績一覧

（単位：円）

区分	事業名	担当課	事業の概要	R7実績	R7最終予算額 （ ）は国庫補助 含みの額	実績額	実施状況（令和8年3月末実績）
I 環境保全を重視した 施策の展開	① 環境保全を重視した森林整備の推進						
	□ 荒廃森林緊急整備事業	森林ノミクス推進課	長期に管理放置された森林を整備し、森林の公益的機能を確保				地域ごとの実績：村山125ha、最上186ha、置賜13ha、庄内84ha
	人工林整備		スギなどの人工林を整備し、公益的機能の確保及び維持を図る	408 ha	175,504,000 （ 226,852,000）	171,293,913 （ 215,667,913）	
	○手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備		やまがた緑環境税による整備	285 ha	143,953,000	142,215,283	
			国庫補助事業を活用した整備 （森林環境保全直接支援事業、合板・製材生産性強化対策事業等）	123 ha	31,551,000 （ 82,899,000）	29,078,630 （ 73,452,630）	
	里山林整備		病害虫被害木の伐採等	389 ha	302,135,000	301,967,337	地域ごとの実績：村山159ha、最上0ha、置賜141ha、庄内189ha
	○病害虫等で荒廃した里山林の再生		・病害虫や風雪害等により、自然回復出来ない里山林の整備	352 ha	276,232,000	276,677,609	
			・森林景観整備・人と動物との共存林整備（市町村補助）	37 ha	25,903,000	25,289,728	
		（小計）		797 ha	477,639,000 （ 528,987,000）	473,261,250 （ 517,635,250）	地域ごとの実績：村山184ha、最上186ha、置賜154ha、庄内273ha
	② 森林資源の循環利用の促進						
	□ 森林資源再生事業	森林ノミクス推進課	森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	85 ha	15,347,000	14,807,213	地域ごとの実績：村山5ha、最上42ha、置賜29ha、庄内9ha
			・国庫補助事業に連携した再造林に要する経費の嵩上げ補助	85 ha	15,347,000	14,807,213	
			・国庫補助対象とならない箇所の苗木購入補助	0.00 ha	0	0	
	□ 森林資源循環利用促進事業	森林ノミクス推進課	間伐材等を、ラミナ、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援	42,151 m3	25,617,000	24,599,000	県内搬出（ラミナ等）実績：20,760m ³ 県外搬出（合板等）実績：3,615m ³ 木質バイオマス燃料実績：17,776m ³
			① ラミナ・合板等用材	24,375 m3	13,036,000	11,824,000	
			② 木質バイオマス燃料用材	17,776 m3	12,581,000	12,775,000	
	□ 広葉樹林健全化促進事業	森林ノミクス推進課	ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採によるチップ等への活用に併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出等を支援	0 m3	0	0	
			・伐採搬出及び作業道設置に対する補助	0 m3	0	0	
		（小計）			40,964,000	39,406,213	
	I（ハード事業）計	計			518,603,000 （ 569,951,000）	512,667,463 （ 557,041,463）	

令和7年度「やまがた緑環境税」活用事業（ソフト） 実績一覧

(単位：円)

区分	事業名	担当課	事業の概要	R7実績	R7最終予算額 ()は国庫補助含みの額	実績額 ()は国庫補助含みの額	実施状況 (令和8年3月末実績)
Ⅱ みどり豊かな森林環境づくりの推進	① 県民参加の森づくりの推進						
	■みどり豊かな森林環境づくり推進事業	みどり自然課	地域住民や市町村等の多様な主体が行う計画的かつ広がりのある活動や、地域と連携して行う森づくり活動等への支援 (事業主体：地域住民、NPO等・市町村 補助率10／10)	地域提案事業 ・県民提案型：58事業 ・市町村提案型：44事業 市町村里山再生アクションプラン事業：99事業 合計199事業	106,393,000	99,416,040	●199事業 ①豊かな森づくり活動：58事業 (県民提案型(19)／市町村提案型(12)／アクションプラン事業(27)) ②自然環境保全活動：13事業 (県民提案型(1)／市町村提案型(2)／アクションプラン事業(10)) ③森や自然とのふれあい活動：80事業 (県民提案型(29)／市町村提案型(23)／アクションプラン事業(28)) ④木に親しむ環境づくり：48事業 (県民提案型(7)／市町村提案型(7)／アクションプラン事業(34))
	■やまがた絆の森づくり推進事業	みどり自然課	企業と地域が連携した「やまがた絆の森協定」に基づく森づくり活動の推進や、企業等の整備森林によるCO ₂ 森林吸収量認証による森づくり活動の見える化	40協定(42企業、団体) CO ₂ 森林吸収量認証	1,021,000	833,171	●企業等による森づくり活動47回 ●交流会の開催(4/23 14社参加) ●絆の森ハンフレット作成 1,000部 ●新規企業2社(曹陽建設㈱ 協定締結8/26 ヤマト運輸㈱ 協定締結1/7) ●企業等の整備森林によるCO ₂ 森林吸収量認証 33件 680,04t-CO ₂ /年
	■森づくりサポート体制推進事業	みどり自然課	地域住民や市町村、企業による森づくり活動の総合的な支援、森づくり活動団体のネットワーク化の支援	年間支援、各種研修会 森づくり発表会	12,415,000	12,407,000	●森づくり活動支援(団体21回、企業30回実施) ●森づくり指導者研修会(森の案内人研修会)(10/23開催24名) ●安全研修会(4回開催24名) ●パネル展示(図書館など計4箇所で開催) ●やまがたの森づくり活動発表会(11/20開催79名)
		(小計)			119,829,000	112,656,211	
	② 自然環境保全対策の推進						
	■生物多様性戦略推進事業(一部)	みどり自然課	森林を取り巻く自然環境の変化等についての総合的なモニタリング調査の実施	各種調査	6,782,000	6,273,933	●レッドリスト改訂のための希少野生植物分布調査(村山地域及び蔵上地域の一部) ●自然生態系保全モニタリング調査(環境科学研究センター、県内5箇所) ●ブナ・アサリ豊凶調査(環境科学研究センター、県内約30箇所) ●希少野生植物植生調査
	■野生鳥獣保護事業(一部)	みどり自然課	傷病等で救護又は捕獲された野生鳥獣の治療、放鳥獣支援	放鳥獣	2,647,000	2,346,899	●放野等事業(39件)
		(小計)			9,429,000	8,620,832	
	Ⅱ 計	計			129,258,000	121,277,043	
Ⅲ 豊かなみどりを守り育む意識の醸成	① 森林・自然環境学習等の推進						
	■やまがた木育推進事業	みどり自然課	「やまがた木育推進方針」に基づく木育の展開	木育教材の作成・配布 やまがた木育人材養成講座 4回開催	6,675,000	5,854,776	●やまがた木育教材の作成、配布 (ストラップ<ブナ500個、スギ500個>、副教材「やまがたの森林」10,000部、ポケット版教材「森のたんけん手帳」15,000部) ●やまがた木育人材養成講座の開催(スタートアップ講座7/17 11名、7/28 14名)(スキルアップ講座10/30 10名、11/8 5名)(ハイパースキルアップ講座2/19、2/26 8名)
		(小計)			6,675,000	5,854,776	
	② みどりを育む意識の醸成						
	■みどりの循環県民活動推進事業	みどり自然課	県民が気軽に森づくりに参加できる仕組みの構築、森の感謝祭の開催、やまがた緑環境税の普及啓発等	森の感謝祭・地区感謝祭の開催、やまがた木育プログラム体験会の開催、普及啓発	15,102,000	14,383,099	●やまがた森の感謝祭2025開催(6/7新庄市) ●地区感謝祭(村山10/2【西川町】、置賜9/27【飯豊町】、庄内10/18～19【鶴岡市】、11/3【酒田市】) ●やまがた木育プログラム体験会開催 19箇所 活動人数800名 ●やまがた緑環境税普及啓発(山形新聞へ広告掲載5回【5/4、7/26、9/27、10/24、11/30】) ●東北芸術工科大学とのプロモーション事業の実施(グラフィックデザイン学科学生によるキャンペーンロゴのデザイン、企画構想学科学生による動画制作及びSNSへの投稿) ●Instagramによる動画広告 11月中旬～1月末 ●Instagram、Facebookによる情報発信 ●公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構Facebookによる森づくりイベント情報の配信 ●広報誌「もりよしあ」の発行(8月20,000部、3月18,000部) ●普及啓発物品の作成、活用(木製マグネット500個、クリアファイル1,000枚、ふせん1,000個、ウェットティッシュ1,000個)
	■山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業(一部)	みどり自然課	樹木の景観復活のためのオオシラビソ林再生の取組み	県森林研究研修センターによる試験研究、樹木復活県民会議による県園場での育苗	1,200,000	1,189,600	●県森林研究研修センターによるオオシラビソ林再生に向けた試験研究 ●蔵王温泉スキー場ユートピアゲレンデ近隣に設置した園場での種からの育苗 ●子どもたちによる稚樹移植体験(8月)
	■総合支庁実施事業				1,474,000	1,301,696	
	・むらやま木育普及体制強化事業	村山総合支庁 森林整備課	大人を対象とした木育プログラムの開発、木育インストラクターに対する指導技術研修会及び森の案内人に対する木育指導者養成研修会の実施	木育プログラム試作検討研修会1回、養成講座1回	328,000	294,451	●木育プログラム試作検討研修会(11/18)参加7名 ●森の案内人養成講座(9/13～14)参加10名(うち案内人登録8名)
	・もがみ遊学の森活動推進事業	最上総合支庁 森林整備課	森づくり活動等の支援を行う森の案内人養成講座の開催と森林にふれあう機会の少ない若者を対象とした森林・林業体験会の開催	養成講座4回、森林・林業体験会1回開催	371,000	318,880	●春の講座(5/17)参加13名 ●夏の講座(6/15)参加18名 ●秋の講座(11/3)参加16名 ●冬の講座(2/28)参加19名 ※案内人講座参加者のうち登録者8名●森林・林業体験会(7/28)参加9名
	・おきたま源流の森づくり活動推進事業	置賜総合支庁 森林整備課	森づくり活動などの支援を行う「森の案内人」の養成講座と能力向上講座の開催、「源流の森」を活用した森林整備体験フィールドの整備	養成講座2回、能力向上講座1回、フィールド整備0.55ha	323,000	279,192	●森の案内人養成講座の開催(5/31 17名、11/1 8名(計25名のうち登録者1名)、能力向上講座(11/22 15名) ●森づくり体験プログラム(「おきたまの森」ホームキャンプ)(10/12 親子等9組) ●森づくり活動フィールド整備(0.55ha)
	・羽田内公益の森づくり事業	庄内総合支庁 森林整備課	海岸林の保全を目的とした関係機関の情報交換の実施、森林ボランティアの活動支援、森林環境教育の支援、森づくり活動リーダー研修、森の案内人養成研修の実施	ボランティア活動支援等 リーダー研修1回、 養成講座2回	452,000	409,173	●出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催(7/28、11/17、2/27)参加18団体、●ボランティア活動の支援(18回) ●森林環境教育の支援(40回) ●森づくり活動リーダー研修(1/16)参加32名、●森の案内人養成研修(7/13、8/31)参加12名(うち登録者4名)
		(小計)			17,776,000	16,874,395	
	③ やまがた緑環境税の評価・検証等						
	■やまがた森林/ミクスの県民会議(一部)	森林/ミクス推進課	やまがた森林/ミクスの推進及びやまがた緑環境税の活用に係る情報共有や意見交換、連携促進	やまがた森林/ミクス 県民会議 1回開催	156,000	134,930	●令和7年度やまがた森林/ミクス県民会議の開催(10/20開催)
	■やまがた緑環境税評価・検証委員会	みどり自然課	やまがた緑環境税評価・検証委員会の開催、やまがた緑環境税税度・税を活用した事業の評価・検証及び県民への周知等	やまがた緑環境税 評価・検証委員会、3回開催 見直しに向けたPT会議2回開催、WG会議5回開催	1,022,000	905,820	●やまがた緑環境税評価・検証委員会の開催3回 (7/3、9/3、3/24開催) ●令和8年度の見直しに向けたPT会議の開催2回 (7/31、2/13)、WG会議の開催5回 (5/20、7/16、10/9、12/23、1/30(書面開催))
		(小計)			1,178,000	1,040,750	
	Ⅲ 計	計			25,629,000	23,769,921	
Ⅱ＋Ⅲ (ソフト事業)計					154,887,000	145,046,964	
ハード事業 ＋ ソフト事業					673,490,000 (724,838,000)	657,714,427 (702,088,427)	

項 目	環境保全を重視した森林施策の展開		No	1
事業名	1－1 荒廃森林緊急整備事業 1－2 森林資源再生事業 1－3 森林資源循環利用促進事業 1－4 広葉樹林健全化促進事業			
事業費	557,041 うちやまがた緑環境税 512,667	千円	担 当	農林水産部 森林ノミクス推進課
1－1 荒廃森林緊急整備事業 荒廃のおそれのある人工林や病害虫等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備した。 - 令和7年度実績 797 ha (1) 人工林整備 手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備 - 人工林の適正な維持・管理の推進(針葉樹林維持型) - 広葉樹との混交の推進(針広混交林型) - 令和7年度実績 408 ha (2) 里山林整備 病害虫等被害で活力が低下した里山林の再生 - 令和7年度実績 389 ha 1－2 森林資源再生事業 国庫補助事業に連携して、再造林の経費に対して支援した。 - 令和7年度実績 85 ha 1－3 森林資源循環利用促進事業 (1) ラミナ等利用促進事業 間伐により発生した木材について、ラミナ(集成材)や合板、製紙・ボード用チップ等の用材として工場に出荷した場合に一定額を助成した。 (ラミナ等用材：県内500円/m3、県外400円/m3) (2) バイオマス燃料利用促進事業 間伐等により発生した木材のうち低質材について、木質バイオマス燃料のチップやペレットの原料として工場に出荷した場合に一定額を助成した。 (間伐材の熱利用：1,190円/t、間伐材の発電用：280円/t) - 令和7年度実績 ラミナ等利用促進事業 24,375 m3 バイオマス燃料利用促進事業 17,776 m3 合 計 42,151 m3 1－4 広葉樹林健全化促進事業 ナラ枯れ被害木を含むナラ林等を伐採し、木材の有効活用を図るとともに、害虫の駆除と森の若返りによる森林の再生を図るため、広葉樹林の伐採・搬出経費の一部を助成する。 令和7年度は事業実績なし。				

項 目	環境保全を重視した森林整備の推進			No	1-1																																																														
事業名	荒廃森林緊急整備事業																																																																		
事業費	517,635 うちやまがた環境税 473,261	千円	担 当	農林水産部 森林ノミクス推進課																																																															
1 目的 長期に管理放置され荒廃した森林の整備し、森林の公益的機能を確保 森林整備面積 11,600ha (平成 29 年度～令和 8 年度)																																																																			
2 事業概要と実績 荒廃森林緊急整備事業の実施 荒廃のおそれのある人工林や病害虫害等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備する。 - 令和 7 年度整備実績 797ha (計画：1,160ha) (1) 人工林整備 手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備 - 人工林の適正な維持・管理の推進 (針葉樹林維持型) - 広葉樹林との混交の推進 (針広混交林型) (2) 里山林整備 病害虫等被害で活力が低下した里山林の再生																																																																			
<table><tr><th rowspan="2">地区名</th><th colspan="2">針葉樹林維持型</th><th colspan="2">針広混交林型</th><th colspan="2">里山林整備</th><th colspan="2">計</th></tr><tr><th>箇所数</th><th>面積</th><th>箇所数</th><th>面積</th><th>箇所数</th><th>面積</th><th>箇所数</th><th>面積</th></tr><tr><td>村 山</td><td>19</td><td>122</td><td>1</td><td>3</td><td>9</td><td>59</td><td>29</td><td>184</td></tr><tr><td>最 上</td><td>23</td><td>186</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>23</td><td>186</td></tr><tr><td>置 賜</td><td>12</td><td>13</td><td>－</td><td>－</td><td>23</td><td>141</td><td>35</td><td>154</td></tr><tr><td>庄 内</td><td>9</td><td>84</td><td>－</td><td>－</td><td>12</td><td>189</td><td>21</td><td>273</td></tr><tr><td>県 計</td><td>63</td><td>405</td><td>1</td><td>3</td><td>44</td><td>389</td><td>108</td><td>797</td></tr></table>						地区名	針葉樹林維持型		針広混交林型		里山林整備		計		箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	村 山	19	122	1	3	9	59	29	184	最 上	23	186	－	－	－	－	23	186	置 賜	12	13	－	－	23	141	35	154	庄 内	9	84	－	－	12	189	21	273	県 計	63	405	1	3	44	389	108	797
地区名	針葉樹林維持型		針広混交林型		里山林整備		計																																																												
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積																																																											
村 山	19	122	1	3	9	59	29	184																																																											
最 上	23	186	－	－	－	－	23	186																																																											
置 賜	12	13	－	－	23	141	35	154																																																											
庄 内	9	84	－	－	12	189	21	273																																																											
県 計	63	405	1	3	44	389	108	797																																																											
3 成果と課題 【成果】 1,160ha の整備計画に対し、797ha の整備実績 (計画比 69%)。 - 人工林整備において国庫補助を活用した整備面積は 123ha。 - 里山林整備のうち、森林景観整備及び人と動物の共存林は 37ha。 (森林景観整備 1ha、人と動物の共存林 36ha) 【課題・対応】 - 荒廃のおそれのある森林 12 万 ha の整備を着実に実施する必要がある。 - 今後も引続き、手入れが不十分で荒廃のおそれのある森林の解消について、地元説明会の開催や広報誌等の配布を通じて、森林所有者等の意識高揚を図り、事業区域の選定や協定締結を円滑に進め、やまがた環境税による森林整備を推進する。																																																																			

令和7年度実績
農林水産部森林・ノミクス推進課

荒廃森林緊急整備事業 令和7年度実績
【全体計画(10カ年):11,600ha】

市町村名	H29～R6実績		R7実績		合計	
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積
山形市	30	132.96	1	3.14	31	136.10
上山市	29	175.08	1	7.84	30	182.92
天童市	17	70.38	3	5.95	20	76.33
山辺町	14	28.85	2	3.03	16	31.88
中山町	10	18.21	1	0.74	11	18.95
寒河江市	20	103.47	1	2.39	21	105.86
河北町	13	41.01	1	1.65	14	42.66
西川町	47	363.19	8	43.58	55	406.77
朝日町	14	89.28	2	5.56	16	94.84
大江町	19	129.12	1	5.29	20	134.41
村山市	34	257.64	1	10.32	35	267.96
東根市	28	216.13	3	26.80	31	242.93
尾花沢市	47	494.48	3	59.67	50	554.15
大石田町	14	67.19	1	7.77	15	74.96
村山 計	336	2186.99	29	183.73	365	2370.72
新庄市	17	71.02	4	13.29	21	84.31
金山町	60	320.11	5	30.02	65	350.13
最上町	35	420.98	2	33.39	37	454.37
舟形町	10	71.35	2	5.36	12	76.71
真室川町	12	286.98	3	46.38	15	333.36
大蔵村	9	91.55	1	8.23	10	99.78
鮭川村	11	132.65	2	17.63	13	150.28
戸沢村	27	202.17	4	32.02	31	234.19
最上 計	181	1596.81	23	186.32	204	1783.13
米沢市	39	262.58	1	30.67	40	293.25
南陽市	36	83.49	5	8.17	41	91.66
高島町	23	203.38	6	34.61	29	237.99
川西町	28	223.23	1	15.58	29	238.81
長井市	27	126.17	4	13.26	31	139.43
小国町	30	48.24	4	5.63	34	53.87
白鷹町	50	141.34	8	7.57	58	148.91
飯豊町	72	270.67	6	38.06	78	308.73
置賜 計	305	1359.10	35	153.55	340	1512.65
鶴岡市	54	1001.75	5	113.09	59	1114.84
酒田市	64	912.12	7	72.82	71	984.94
庄内町	4	24.39	1	4.41	5	28.80
遊佐町	38	1079.21	8	83.22	46	1162.43
庄内 計	160	3017.47	21	273.54	181	3291.01
県計	982	8160.37	108	797.14	1,090	8957.51

①全体計画 (H29～R6)	11600.00	②H29～R7計	8,958	進捗率(②/①)	77%
-------------------	----------	----------	-------	----------	-----

令和7年度実績
農林水産部森林・ノミクス推進課

令和7年度やまがた緑環境税を活用した森林整備実績
【人工林整備詳細】

市町村名	針葉樹林維持型						針広混交林型		里山林整備		合計	
	委託		補助		小計		箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積
	箇所	面積	箇所	面積	箇所数	面積						
山形市					-	-	1	3.14	-	-	1	3.14
上山市					-	-			1	7.84	1	7.84
天童市	2	1.17			2	1.17			1	4.78	3	5.95
山辺町	1	2.78			1	2.78			1	0.25	2	3.03
中山町					-	-			1	0.74	1	0.74
寒河江市	1	2.39			1	2.39			-	-	1	2.39
河北町	1	1.65			1	1.65			-	-	1	1.65
西川町	3	6.54	4	32.34	7	38.88			1	4.70	8	43.58
朝日町	2	5.56			2	5.56			-	-	2	5.56
大江町	1	5.29			1	5.29			-	-	1	5.29
村山市					-	-			1	10.32	1	10.32
東根市	1	3.45			1	3.45			2	23.35	3	26.80
尾花沢市	2	52.55			2	52.55			1	7.12	3	59.67
大石田町	1	7.77			1	7.77			-	-	1	7.77
村山 計	15	89.15	4	32.34	19	121.49	1	3.14	9	59.10	29	183.73
新庄市	4	13.29			4	13.29			-	-	4	13.29
金山町	5	30.02			5	30.02			-	-	5	30.02
最上町	1	27.59	1	5.80	2	33.39			-	-	2	33.39
舟形町	2	5.36			2	5.36			-	-	2	5.36
真室川町	3	46.38			3	46.38			-	-	3	46.38
大蔵村	1	8.23			1	8.23			-	-	1	8.23
鮭川村	2	17.63			2	17.63			-	-	2	17.63
戸沢村	4	32.02			4	32.02			-	-	4	32.02
最上 計	22	180.52	1	5.80	23	186.32	-	0.00	-	-	23	186.32
米沢市					-	-			1	30.67	1	30.67
南陽市	3	4.14			3	4.14			2	4.03	5	8.17
高島町	4	2.40			4	2.40			2	32.21	6	34.61
川西町					-	-			1	15.58	1	15.58
長井市	1	0.48			1	0.48			3	12.78	4	13.26
小国町	2	2.23			2	2.23			2	3.40	4	5.63
白鷹町	2	3.18			2	3.18			6	4.39	8	7.57
飯豊町					-	-			6	38.06	6	38.06
置賜 計	12	12.43	-	0.00	12	12.43	-	0.00	23	141.12	35	153.55
鶴岡市			3	47.72	3	47.72			2	65.37	5	113.09
酒田市			2	12.07	2	12.07			5	60.75	7	72.82
庄内町			1	4.41	1	4.41			-	-	1	4.41
遊佐町			3	20.07	3	20.07			5	63.15	8	83.22
庄内 計	-	0.00	9	84.27	9	84.27	-	0.00	12	189.27	21	273.54
県計	49	282.10	14	122.41	63	404.51	1	3.14	44	389.49	108	797.14

令和7年度実績
農林水産部森林/ミクス推進課

令和7年度やまがた緑環境税を活用した森林整備実績
【里山林整備詳細】

市町村名	里山林委託								里山林補助								合計	
	松くい虫 箇所数	面積	ナラ枯れ 箇所数	面積	カツラマル 箇所数	面積	その他 箇所数	面積	小計 箇所数	面積	景観 箇所数	面積	共存 箇所数	面積	小計 箇所数	面積	箇所数	面積
山形市									-	-					-	-	-	-
上山市	1	7.84							1	7.84					-	-	1	7.84
天童市			1	4.78					1	4.78					-	-	1	4.78
山辺町	1	0.25							1	0.25					-	-	1	0.25
中山町	1	0.74							1	0.74					-	-	1	0.74
寒河江市									-	-					-	-	-	-
河北町									-	-					-	-	-	-
西川町			1	4.70					1	4.70					-	-	1	4.70
朝日町									-	-					-	-	-	-
大江町									-	-					-	-	-	-
村山市			1	10.32					1	10.32					-	-	1	10.32
東根市	1	20.99							1	20.99			1	2.36	1	2.36	2	23.35
尾花沢市									-	-			1	7.12	1	7.12	1	7.12
大石田町									-	-					-	-	-	-
村山 計	4	29.82	3	19.80	-	-	-	0.00	7	49.62	-	0.00	2	9.48	2	9.48	9	59.10
新庄市									-	-					-	-	-	-
金山町									-	-					-	-	-	-
最上町									-	-					-	-	-	-
舟形町									-	-					-	-	-	-
真室川町									-	-					-	-	-	-
大蔵村									-	-					-	-	-	-
鮭川村									-	-					-	-	-	-
戸沢村									-	-					-	-	-	-
最上 計	-	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	0.00	-	0.00	-	-	-	-
米沢市	1	30.67							1	30.67					-	-	1	30.67
南陽市									-	-			2	4.03	2	4.03	2	4.03
高島町	2	32.21							2	32.21					-	-	2	32.21
川西町	1	15.58							1	15.58					-	-	1	15.58
長井市	1	4.64							1	4.64			2	8.14	2	8.14	3	12.78
小国町									-	-			2	3.40	2	3.40	2	3.40
白鷹町	1	1.03							1	1.03	1	0.50	4	2.86	5	3.36	6	4.39
飯豊町	4	29.32							4	29.32			2	8.74	2	8.74	6	38.06
置賜 計	10	113.45	-	-	-	-	-	0.00	10	113.45	1	0.50	12	27.17	13	27.67	23	141.12
鶴岡市	2	65.37							2	65.37					-	-	2	65.37
酒田市	5	60.75							5	60.75					-	-	5	60.75
庄内町									-	-					-	-	-	-
遊佐町	5	63.15							5	63.15					-	-	5	63.15
庄内 計	12	189.27	-	-	-	-	-	0.00	12	189.27	-	0.00	-	0.00	-	-	12	189.27
県計	26	332.54	3	19.8	-	-	-	0.00	29	352.34	1	0.50	14	36.65	15	37.15	44	389.49

※上記の表は、それぞれの市町村毎に発注した里山林整備の面積を対象森林が受けた病害虫等の被害毎に振り分けて集計したものである。

令和7年度実績
農林水産部森林/ミクス推進課

保安林における
荒廃森林緊急整備事業実績

R7年度森林資源再生事業
実績

単位 箇所・ha									
市町村名	保安林						計		
	針葉樹林維持型		針広混交林型		里山林整備				
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	
山形市							-	-	
上山市							-	-	
天童市					1	0.27	1	0.27	
山辺町	1	2.44					1	2.44	
中山町					1	0.33	1	0.33	
寒河江市							-	-	
河北町							-	-	
西川町							-	-	
朝日町	1	0.85					1	0.85	
大江町							-	-	
村山市							-	-	
東根市							-	-	
尾花沢市	1	23.63					1	23.63	
大石田町							-	-	
村山 計	3	26.92	-	0.00	2	0.60	5	27.52	
新庄市							-	-	
金山町							-	-	
最上町							-	-	
舟形町							-	-	
真室川町							-	-	
大蔵村							-	-	
鮭川村							-	-	
戸沢村							-	-	
最上 計	-	0.00	-	0.00	-	0.00	-	-	
米沢市							-	-	
南陽市							-	-	
高島町					1	16.57	1	16.57	
川西町					1	15.33	1	15.33	
長井市							-	-	
小国町	2	2.23					2	2.23	
白鷹町							-	-	
飯豊町							-	-	
置賜 計	2	2.23	-	0.00	2	31.90	4	34.13	
鶴岡市					2	65.37	2	65.37	
酒田市					5	60.75	5	60.75	
庄内町	1	1.38					1	1.38	
遊佐町					5	63.15	5	63.15	
庄内 計	1	1.38	-	0.00	12	189.27	13	190.65	
県計	6	30.53	-	0.00	16	221.77	22	252.30	

※①保安林は、平成24年度から新たに整備対象に加えた森林。
②上表は、それぞれの市町村ごとに発注した針葉樹林維持型、針広混交林型、里山林整備型の合計から、該当する数値のみ計上した。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	人工林整備 針広混交林型 【 間伐 】				
整備箇所	山形市双月町 地内	事業主体	山形地方森林組合		
整備面積	3.14ha	樹 種	スギ	林 齢	49～68 年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、倒木や幹折れが目立つ状態であった。 林内には広葉樹の侵入が確認できたことから、広葉樹の入り混じった森林へ誘導するため、本事業により間伐を行った。実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、針広混交林化が期待できる。				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・枝打ち・森林作業道 】				
整備箇所	西川町大字睦合 地内ほか	事業主体	西村山地方森林組合		
整備面積	13.93ha	樹 種	スギ	林 齢	32～60 年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木が目立つ状態であった。 このため、本事業と森林施業支援事業も活用しながら、適正な立木密度となるように間伐、枝打ちを行い、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、森林作業道を開設し間伐材の有効活用も行った。				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	新庄市大字本合海 地内	事業主体	最上広域森林組合		
整備面積	1.07ha	樹 種	スギ	林 齢	33 年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木が目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	金山町大字飛森字後川山 地内	事業主体	金山町森林組合		
整備面積	13.48ha	樹 種	スギ	林 齢	23～28 年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木が目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	東置賜郡高島町大字上和田上組 地内		事業主体	山形県	
整備面積	0.75ha	樹 種	スギ	林 齢	60年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施策が適期に行われなかったため、立木密度が高く生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度になるように間伐を実施することで、立木間の成長空間が確保され、森林全体の健全性の向上が期待できる。				



整備前

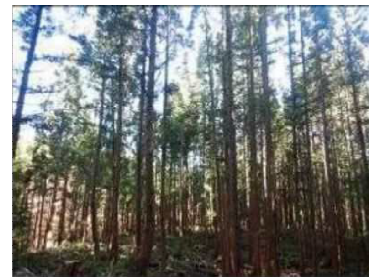


整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	西置賜郡小国町大字沼沢 地内		事業主体	山形県	
整備面積	0.76ha	樹 種	スギ	林 齢	44年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施策が適期に行われなかったため、造林木が過密状態になっており、生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度になるように間伐を実施することで、立木間の成長空間が確保され、また、林床まで日光が差し込むことで下層植生繁茂が活性化され、森林全体の健全性の向上が期待できる。				



整備前

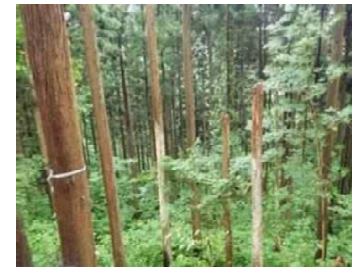


整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	鶴岡市鼠ヶ関 地内		事業主体	温海町森林組合	
整備面積	33.92ha	樹 種	スギ	林 齢	35～65年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施策が適期に行われなかったため、著しく生長の悪い不良木や枯損木が目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	酒田市小林 地内		事業主体	株式会社阿部製材所	
整備面積	4.44ha	樹 種	スギ	林 齢	55年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施策が長年行われず、手入れ不足であったため、過密化が進んでいた。 このため、本事業により適正な立木密度となるように間伐を行うことで、混み合っていた林内が明るくなり、森林の公益的機能の維持増進を図った。				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木整備 】			
整備箇所	村山市大字本飯田 地内	事業主体	北村山森林組合	
整備面積	10.32ha	樹 種	アカマツ、ザツ	林 齢 49～91年生
整備内容	当該箇所は、アカマツと広葉樹の林であるが、枯損木の増加により荒廃していた。このため、本事業により枯死木や枯死に瀕した病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、下層植生及び高木性広葉樹の生育を確保し、荒廃した里山林の健全化と居住環境の保全を図った森林となることが期待できる。			



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （間伐・枝打ち・つる切り・下刈） 】			
整備箇所	東根市大字東根 地内	事業主体	東根市	
整備面積	2.36ha	樹 種	スギ、ザツ	林 齢 44～74年生
整備内容	当該箇所は枝葉やつらが茂っており、林地に隣接した民家や果樹園周辺にサル等野生生物が出没していた。このため、当事業を活用して、枝打ちやつる切り等を実施し林内の見通しを良くすることにより、野生生物が民家等に寄り付きにくい環境を整備した。より効果が高まるよう、来年度も引き続き近隣の林地を整備する計画を立てている。			



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木整備 】			
整備箇所	西置賜郡飯豊町大字中 地内	事業主体	山形県	
整備面積	2.31ha	樹 種	アカマツ、ナラ	林 齢 64～79年生
整備内容	当該箇所はアカマツと広葉樹の針広混交林で、松くい虫等の病害虫被害による枯損木が多く、活力が低下した里山林だった。また、県指定文化財、展望施設に隣接していることから倒木等による二次被害も懸念されていた。このため、本事業により枯損木を伐採することで、二次被害の防止と景観の改善、多様な樹種や年齢で構成する緑豊かな明るい里山林の再生が期待できる。			



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （除伐・枝落とし） 】			
整備箇所	西置賜郡小国町大字田沢頭 地内	事業主体	小国町	
整備面積	2.73ha	樹 種	スギ、広葉樹	林 齢 44～91年生
整備内容	当該箇所は、町道、集落、田畑に隣接しており、日常的にクマ、イノシシ等の野生動物の目撃情報が寄せられ、農作物被害も発生している。このため、本事業により人と野生動物との森林緩衝帯（バッファゾーン）を整備することで、野生動物との接触や農作物被害の軽減が期待できる。			



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 】				
整備箇所	鶴岡市辻興屋 地内			事業主体	山形県
整備面積	45.84ha	樹 種	クロマツ	林 齢	50～85 年生
整備内容	当該箇所は、庄内海岸のクロマツ林であるが、松くい虫被害により荒廃した状態にあり、松くい虫被害木の倒木等により道路や農業用ハウスへの二次被害を及ぼす恐れがあった。このため、本事業により枯損木の伐採を実施し、被害を未然に防止した。				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 】				
整備箇所	酒田市宮海 地内ほか			事業主体	山形県
整備面積	28.83ha	樹 種	クロマツ	林 齢	50～85 年生
整備内容	当該箇所は、庄内海岸のクロマツ林であるが、松くい虫被害により荒廃した状態にあり、松くい虫被害木の倒木等により道路や農業用ハウスへの二次被害を及ぼす恐れがあった。このため、本事業により枯損木の伐採を実施し、被害を未然に防止した。				



整備前



整備後

項 目	環境保全を重視した施策の展開	No	1-2
事業名	森林資源再生事業		
事業費	14,807 千円	担 当	農林水産部 森林ノミクス推進課
1 目的	主伐後の再造林を推進し、森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮を図る。		
2 事業概要と実績	- 事業内容：森林組合等が行う再造林に対し、経費の一部を支援する。 - 補助率：再造林1ha当たり標準経費の12%相当額 ○ 令和7年度実績 - 再造林面積：85 ha		
3 成果と課題	【成果】 - H30 から行政と民間業界の連携による再造林経費の100%支援を開始。 (国庫68%、税12%、一財10%、基金10%相当) - 制度創設以来、支援面積は増加しており、令和6年度に100haを超えたものの、令和7年度は令和5年度並みの実績となった。 (H30：27ha、R1：40ha、R2：71ha、R3：74ha、R4：88ha、R5：86ha、R6：118ha、R7：85ha) 【課題・対応】 - 再造林の推進は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と森林資源の循環利用に不可欠であるが、森林所有者の経費負担が大きい。 - 今後も再造林経費の100%支援を継続し、伐採後の確実な再造林に繋げる。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度森林資源再生事業の取組み事例】

整備内容	国庫補助事業に連携して、林業事業者等が行う再造林に対し経費の一部を支援した。
------	--

【村山】

整備箇所	山形市蔵王成沢 地内
整備面積	5.40ha



植栽後

【最上】

整備箇所	金山町大字谷口銀山 地内
整備面積	1.63ha



植栽作業

【置賜】

整備箇所	白鷹町大字高玉 地内
整備面積	3.43ha



植栽後

【庄内】

整備箇所	鶴岡市三瀬 地内
整備面積	0.86ha



植栽作業

項 目	環境保全を重視した施策の展開		No	1-3
事業名	森林資源循環利用促進事業			
事業費	24,599 千円	担 当	農林水産部 森林ノミクス推進課	
1 目的				
間伐で発生する低質材を、ラミナ・合板等用材やペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援。				
2 事業概要と実績				
(1) ラミナ等利用促進事業				
間伐により発生した木材について、ラミナ（集成材）や合板、製紙・ボード用チップ等の用材として工場に出荷した場合に一定額を助成する。				
（ラミナ等用材：県内 500 円/m3、県外 400 円/m3）				
(2) バイオマス燃料利用促進事業				
間伐等により発生した木材のうち低質材について、木質バイオマス燃料のチップやペレットの原料として工場に出荷した場合に一定額を助成する。				
（間伐材の熱利用：1,190 円/t、間伐材の発電用：280 円/t）				
○ 令和7年度実績				
ラミナ等利用促進事業 24,375 m3				
バイオマス燃料利用促進事業 17,776 m3				
合計 42,151 m3				
3 成果と課題				
【成果】				
・ ラミナ等利用促進事業では、県内のラミナ材加工工場や県外の合板工場等への搬出に対して支援を行った。				
・ バイオマス燃料利用促進事業では、燃料用のペレットやチップ加工工場、バイオマス発電施設への搬出に対して支援を行った。				
【課題・対応】				
県内では、バイオマス発電施設の新設などにより出荷先は増加してきているが、採算が合わず有効活用されない間伐材や林地残材があるため、本事業により未利用資源の有効活用を促進する。				

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度森林資源循環利用促進事業の取組み事例】

整備箇所	20 市町（村山、最上、置賜、庄内）
搬出材積	42,151 m ³ （うち合板用材等 24,375 m ³ 、ペレット等 17,776 m ³ ）
整備内容	間伐に伴い発生する低質材を、合板用材等やペレット等のバイオマス燃料として利用するための搬出等に対し支援を行った。



伐木



造材



山土場



フォワーダ運搬

トラック運搬
工場搬入

トラック搬入

用途別に加工工場に運搬

ラミナ材
（集成材）
加工工場

合板工場

バイオマス燃料
加工工場

バイオマス発電施設

項 目	環境保全を重視した森林資源の循環利用の推進	No	1-4
事業名	広葉樹林健全化促進事業		
事業費	0 千円	担 当	農林水産部 森林ノミクス推進課
1 目的 ナラ枯れ被害木を含むナラ林等を伐採し、木材の有効活用を図るとともに、害虫の駆除と森の若返りによる森林の再生を図る。 2 事業概要と実績 ナラ林を主体とする広葉樹林の小規模皆伐（5ha 以下）を実施する森林所有者、森林組合、素材生産業者等に対し、伐採搬出経費の一部を助成する。 ○ 令和7年度実績 広葉樹の伐採搬出支援 0m 3 3 成果と課題 【成果】 今年度は実績なし。 【課題・対応】 ナラ枯れ被害は減少しているものの、地域によっては未だ被害発生が見られるため、引き続きナラ枯れ被害の拡大を防ぐ取組みを推進する。			

項 目	みどり豊かな森林環境づくりの推進	No	2
事業名	2－1 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 2－2 やまがた絆の森づくり推進事業 2－3 森づくりサポート体制推進事業 2－4 生物多様性戦略推進事業（一部） 2－5 野生鳥獣保護事業（一部）		
事業費	121,277 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
2－1 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 地域住民や市町村、NPO等がそれぞれの地域課題に沿って独自性を発揮し、かつ創意工夫を凝らして取り組む森づくり活動を支援する。 2－2 やまがた絆の森づくり推進事業 企業と地域が連携した森林の保全・活用と里山の活性化に向けた取組みを支援する。 2－3 森づくりサポート体制推進事業 「やまがた緑環境税」を活用した県民参加による森づくり活動を推進するため、地域住民や市町村、企業による森づくり活動を総合的に支援する。 2－4 生物多様性戦略推進事業 「多様な生態系を育む、みどり豊かな山形」を未来に継承していくために、森林生態系を始めとする自然環境について、総合的なモニタリング調査を実施する。 2－5 野生鳥獣保護事業 人と自然が共生する森づくりの一環として、森林生態系を支える多様な野生鳥獣の保護のため、傷病等で救護又は捕獲された大型鳥獣の治療訓練、移送、放鳥獣等を行う。			

項 目	みどり豊かな森林環境づくりの推進		No	2-1
事業名	みどり豊かな森林環境づくり推進事業			
事業費	99,416 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課	
1 目的				
地域住民や市町村、NPO等がそれぞれの地域課題に沿って独自性を発揮し、かつ創意工夫を凝らして取り組む森づくり活動等を支援する。				
2 事業概要と実績				
(1) 豊かな森づくり活動				
・ 地域住民との協働による里山林の保全活動 など				
(2) 自然環境保全活動				
・ 希少野生生物の生息地の保全活動 など				
(3) 森や自然とのふれあい活動				
・ 子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習 など				
(4) 木に親しむ環境づくり				
・ 木材の地産地消や木育の取組み など				
◇ 事業の種類				
【地域提案事業】				
① 県民提案型				
・ 地域住民やNPO等が直接実施する活動への支援				
② 市町村提案型				
・ 市町村が地域のニーズや要請に対応して実施する事業への支援				
【市町村里山再生アクションプラン事業】				
・ 市町村が「里山再生アクションプラン」に基づき実施する事業への支援				
※ 「里山再生アクションプラン」とは、市町村が里山地域の活性化を図るために作成する、地域の課題や特性を踏まえた、地域住民との協働による森づくり等の活動計画				
3 成果と課題				
【成果】				
・ 県内各地で 199 の事業を実施				
①	豊かな森づくり活動	58 事業	29,678,857 円	
②	自然環境保全活動	13 事業	5,150,181 円	
③	森や自然とのふれあい活動	80 事業	32,872,546 円	
④	木に親しむ環境づくり	48 事業	30,094,289 円	
		199 事業	97,795,873 円	
・ 幅広い団体・市町村からの提案により、地域に根ざした多様な活動が展開された。				
【課題】				
・ 団体に対する適切な助言や指導により、自立した活動を促す必要がある。				
・ 団体間交流やネットワーク化を促進し、全体的なレベルアップを図る必要がある。				
・ 新規参入する団体の掘り起こしを行い、活動の輪を広げる必要がある。				
・ 地域住民との協働による森づくり活動などを通じて、地域を活性化させる取組みが引き続き必要である。				

令和7年度みどり豊かな森林環境づくり推進事業実績

【活動地市町村別】

単位：円

地域	市町村名	地域提案事業				市町村里山再生 アクションプラン事業		合計	
		県民提案型		市町村提案型					
		事業数	実績額	事業数	実績額(円)	事業数	実績額(円)	事業数	実績額(円)
村 山	山形市	10	3,144,852	1	4,975,450	4	4,465,963	15	12,586,265
	上山市	2	763,000	1	210,000	4	1,483,000	7	2,456,000
	天童市	1	104,875	1	187,880	2	1,481,059	4	1,773,814
	山辺町	0	0	0	0	2	836,422	2	836,422
	中山町	0	0	0	0	2	675,092	2	675,092
	寒河江市	1	500,000	0	0	2	1,408,000	3	1,908,000
	河北町	0	0	0	0	1	866,000	1	866,000
	西川町	1	465,755	1	2,111,000	2	1,572,000	4	4,148,755
	朝日町	0	0	0	0	3	765,180	3	765,180
	大江町	1	446,501	0	0	2	1,000,000	3	1,446,501
	村山市	2	527,842	1	2,130,028	4	1,222,000	7	3,879,870
	東根市	0	0	6	2,966,604	1	1,209,000	7	4,175,604
	尾花沢市	0	0	4	4,002,900	3	1,507,000	7	5,509,900
	大石田町	2	408,455	0	0	2	752,000	4	1,160,455
	小計	20	6,361,280	15	16,583,862	34	19,242,716	69	42,187,858
最 上	新庄市	3	921,961	1	1,493,500	3	1,177,055	7	3,592,516
	金山町	0	0	2	1,411,000	2	380,050	4	1,791,050
	最上町	2	526,242	4	1,253,000	4	1,363,000	10	3,142,242
	舟形町	0	0	1	495,000	6	844,000	7	1,339,000
	真室川町	2	220,061	0	0	4	1,465,000	6	1,685,061
	大蔵村	0	0	0	0	3	1,074,000	3	1,074,000
	鮭川村	0	0	0	0	1	153,936	1	153,936
	戸沢村	1	100,000	0	0	4	1,203,000	5	1,303,000
	小計	8	1,768,264	8	4,652,500	27	7,660,041	43	14,080,805
置 賜	米沢市	5	1,562,365	2	90,000	2	2,605,000	9	4,257,365
	南陽市	1	208,950	3	4,162,000	1	1,204,000	5	5,574,950
	高畠町	2	390,771	0	0	4	950,000	6	1,340,771
	川西町	0	0	3	2,671,800	3	737,331	6	3,409,131
	長井市	1	186,746	2	744,000	1	1,026,001	4	1,956,747
	小国町	2	244,397	0	0	5	1,298,261	7	1,542,658
	白鷹町	1	500,000	2	521,290	2	1,023,000	5	2,044,290
	飯豊町	2	812,000	2	1,102,870	3	1,385,340	7	3,300,210
	小計	14	3,905,229	14	9,291,960	21	10,228,933	49	23,426,122
庄 内	鶴岡市	8	2,230,941	4	3,973,287	9	4,082,519	21	10,286,747
	酒田市	5	907,785	0	0	2	2,971,059	7	3,878,844
	三川町	0	0	1	71,990	2	582,450	3	654,440
	庄内町	0	0	2	1,693,270	1	454,947	3	2,148,217
	遊佐町	1	397,000	0	0	3	735,840	4	1,132,840
	小計	14	3,535,726	7	5,738,547	17	8,826,815	38	18,101,088
計		56	15,570,499	44	36,266,869	99	45,958,505	199	97,795,873

【事業項目別】

事業項目	地域提案事業				市町村里山再生 アクションプラン		合計	
	県民提案型		市町村提案型					
	実績数	実績額（円）	実績数	実績額（円）	実績数	実績額（円）	実績数	実績額（円）
①豊かな森づくり活動	19	4,512,313	12	10,829,777	27	14,336,767	58	29,678,857
②自然環境保全活動	1	120,455	2	1,331,180	10	3,698,546	13	5,150,181
③森や自然とのふれあい活動	29	8,819,120	23	15,336,072	28	8,717,354	80	32,872,546
④気に親しむ環境づくり	7	2,118,611	7	8,769,840	34	19,205,838	48	30,094,289
計	56	15,570,499	44	36,266,869	99	45,958,505	199	97,795,873

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【地域提案事業（県民提案型）】

No.	団体名	所在地	項目	事業名	事業概要	実績額 (円)
1	西川町海味区	西川町	①	地域で取り組む“いこいの森”空間づくり	西川町海味区において、区自治会や町内地域住民が参加する憩いの森づくり活動を行い、森林整備活動を展開していく。	465,755
2	うっていくらぶ あくもく	大江町	④	地元産西山杉を使った木のおもちゃを供っての木育活動	地元産西山杉で作った木のおもちゃで木育することで、交流人口増につなげる事業とする。	446,501
3	東海大学山形高等学校	山形市	③	環境といのちの学習	森林整備・利用に関する体験・研修を学ぶ。また、年齢の異なる児童生徒との交流活動でサポート・指導の経験し森林活動の輪を広げ、外部の方たちとの関わりで職業観や人生観を養う。	487,000
4	ツリークライミング チームベにばな	山形市	③	森に親しみ木と友だちになるツリークライミング体験会	親子・子供にツリークライミングとネーチャージャンプで、感動と記憶に残る体験会の開催。自然や木に親しみと、興味を増幅させていくプログラムとして実施。	310,572
5	戴王緑の騎士団	上市市	③	持続可能な森林づくりのできる人材の育成	生きた自然・森林の役割と大切さを体感し、森林を活用した各種研修の実施。	263,000
6	富本小学校後援会	村山市	③	富本小学校の「緑豊かな環境を学習しよう」推進事業	子どもたち・協力者と一緒に環境林等を利用し森林学習、学校林を活用し木材利用学習を行う。	308,937
7	ガールスカウト山形県連盟	山形市	①	フォレストサポート・2025	2015年に植樹した「ガールスカウトの森」の下刈りなど森林整備や森林体験学習をとおして、森林環境への理解を深める。	341,000
8	花見山プロジェクト	山形市	①	裏山を花見山に、～自然豊かな憩いの場をつくる	地区内外の人達が集う憩いの場所にするため、会員や地域協力者・村木沢小学校の協力を得ながら里山再生・花見山を活用した森林環境学習を行う。	338,492
9	鬼越の森再生プロジェクト	山形市	①	鬼越の森再生プロジェクト	森林整備作業を通じ世代を超えた交流と自然や住環境への関心を促す。	484,000
10	大久保地域元気な街づくり推進協議会	村山市	③	地域で取り組む里山の森づくり	里山をみんなで守っていく意識醸成や、継続的な森づくりの保全活動と森や自然とふれあう活動を次世代に繋がるようにしていく。	218,905
11	東沢古道保存会	山形市	③	古道の復元と保全を通じ歴史と森林環境を学ぶ	古道や街道の復元整備・維持管理を行い、地域内外から広く人々を集め森林や自然を守りながら森林環境保全や地域振興に繋がる活動を展開する。	500,000
12	山形県喫茶飲食生活衛生同業組合	山形市	①	安心安全な水を育む森林保全活動	喫茶飲食の森で森林整備活動を行い、環境保全意識の変化につなげ、また、子ども食堂（地域食堂）を活用の子供達や保護者とナメコ植樹を体験し原木栽培の楽しさを感じてもらおう。	185,000
13	やまがた山の恵み研究会	山形市	④	わくわく木のふれあい事業	ウッドチッププール、木工品づくりワークショップ等により、木材や木製品の良さの理解を図る。	164,149
14	北村山建設総合組合	大石田町	④	親子木工教室	県産間伐材利用の親子木工教室で、木材とのふれあいや木材加工の楽しさを体験。大工職人の底辺拡大や物づくりする職人の育成と森林の大切さを再認識する。	288,000
15	藁の木川原に集う会	山形市	①	里山作りと自然学校	継続的に林分改良を行い、里山の機能回復のために活動をする。	179,639
16	山形グリーンライフ女性の会	山形市	③	森の恵みを楽しもう	現地視察研修会、木工教室体験学習、しいたけ植菌作業、リース作り・木の葉を用いた小物づくり講習会の、森の恵みを活用した事業を実施。	155,000

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【地域提案事業（県民提案型）】

No.	団体名	所在地	項目	事業名	事業概要	実績額 (円)
17	天童市絆の森林田麦野地域運営委員会	天童市	①	「天童市絆の森林」保全活動	森林ボランティア事業などと連携し、自然と親しみながら安全に利用、保全活動を通じ地域外の人と地域住民との交流を図り、地域活性化と自然豊かな森林を次世代に継承していく。	104,875
18	葉山の里たしる	寒河江市	③	里山くらし体験事業	各小学校の特色のある授業活動をサポートし、森林や里山の役割・保全の重要性を学ぶ。また、各種団体や個人にも里山の豊かさ・森林の大切さを学んでもらう。	500,000
19	YLTクラブ	上市市	③	白鷹丘陵トレイルを歩き森林環境を学ぶ	中山間地を地域で協力トレイルを整備・維持して発信する機会を作り、ルートガイドの拡充や活動エリアのイベント等を開催し、森林環境保全・活用の理解を深める。	500,000
20	里山の水と緑を守る会	大石田町	②	ギフチョウ・ヒメギフチョウの生息環境整備	山林に植生する希少種ギフチョウ・ヒメギフチョウの食草植物を、育成更新するために、山林の管理作業を次年度地区民有地をNPOメンバーと、一般参加者で下刈り作業などを行う。	120,455
21	Life Is Good	新庄市	④	&WOODSプロジェクト	学童保育所、放課後児童クラブ等で、県産材を使ったワークショップを開催。	498,812
22	つのかわ里山の再生プロジェクト	戸沢村	①	つのかわ里山の再生プロジェクト	荒廃した里山の整備(下刈り、自生ドングリ苗を使った植樹活動)及び自然観察会の実施。	100,000
23	鶴山探究会	真室川町	③	「塩瀬川学校の森」森づくり活動と森林・自然環境学習	地域住民や子供達の遊学の場となる森林での保育や歩道の整備及び植樹、植樹体験等を実施。	149,061
24	NPO山と川の学校	最上町	③	山は学校	活動拠点となる木製実居の建設、子供たちを対象とした森づくり、キノコ植園等の森林体験学習活動。	196,242
25	森の楽器の会	最上町	④	手作り楽器の魅力を体験しよう！	地域材を使った木製楽器を制作しながら演奏体験を通じ、木のぬくもりを体験させる。	330,000
26	パリス保育園	新庄市	③	森や自然とのふれあいの中で木のぬくもりと四季を実感する活動	パリス保育園敷地内の森を活用した森林自然環境学習や庭園にあるテーブル・ベンチの製作ときのこ教室の実施。	238,000
27	遊び工房プロジェクト	新庄市	④	「こどもハウス」づくりワークショップ	地域のこどもたちを中心に県産材を活用したこどもハウスづくりと木のおもちゃづくりを実施。	185,149
28	真室川町野々村地区	真室川町	①	豊かな森づくり活動in白鳥の里野々村	地域住民が一体となった間伐等の森林整備活動や間伐材を活用した木工教室の実施。	71,000
29	歴史の道土木遺産萬世大路保存会	米沢市	③	万世大路森林・自然環境学習	・栗子隧道の自然の素晴らしさを伝える自然環境学習会の実施 ・散策の安全確保のために排水処理や車列りの実施 ・取組み状況を広く情報発信する為、米沢工業高校と連携してHPを更新	344,000
30	鮎貝松ヶ丘教育の森管理会	白鷹町	③	鮎貝「教育の森」ふれあい整備事業	鮎貝「教育の森」の刈払い、森林散策会、森林環境学習の実施	500,000
31	里山・森のようちえん研究会	米沢市	③	森のようちえん	・子供達（乳児園児から生徒）、親子、教育者等を対象とした森のようちえんを実施（森林散策等） ・森の活動を促す冊子の作成と活用	449,000
32	二井宿わくわくプロジェクト	高畠町	③	里山環境整備による森林自然との体験交流推進	・大洞山等の散策路とその周辺の下刈りを実施 ・大洞山等の散策路を利用したトレッキング時に森林環境体験学習を実施	98,528

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【地域提案事業（県民提案型）】

No.	団体名	所在地	項目	事業名	事業概要	実績額 (円)
33	早坂山あるき隊	米沢市	③	早坂山自然観察会	・早坂山散策道に生育する植物・樹木等の観察会の実施 ・早坂山散策道の安全確保のための倒木処理や草刈りの実施	176,380
34	中村ビッキーズ	飯豊町	③	子供たちに受け継ぐ里山再生活動	キノコ植菌体験、動植物の環境保護学習、間伐材の再利用体験（薪割、焚き火）を実施	337,000
35	豪士山の会	高島町	③	ブナの森自然環境体験学習	・豪士山のブナの森で自然環境学習会を実施 ・ブナの森散策道の安全確保のために倒木処理及び刈払いを実施	292,243
36	おぐにマルチワーク事業協同組合	小国町	④	森の資源を生かすワークショップ	裏やまたたび、植等を材料に森の資源を有効活用したワークショップを実施	27,397
37	06商会	飯豊町	③	地域の森を俯瞰し未来につなげる	木製品製作等のワークショップの実施、報告会開催	475,000
38	21世紀不伐の森水と緑の感謝祭実行委員会	長井市	①	21世紀不伐の森整備事業	21世紀不伐の森の下刈り活動	186,746
39	山形県酪農生活衛生同業組合 米沢支部	米沢市	①	「海の幸を育む山に緑を」	・源流の森に植栽した広葉樹林の育成活動 ・当組合の活動の意義を小学生に伝える環境保全活動を実施	92,985
40	吉野をさくらいっぱいにする会	南陽市	①	地域緑化のための植樹事業と植栽木保全事業	・交流人口増加を目的に森づくり（これまで植樹した桜やカエデの下刈等）を実施 ・地元小学生児童を対象に植栽木の環境整備学習を実施	208,950
41	おぐにエネルギーの地産地消を考える会	小国町	③	再生可能エネルギー体感祭り ENEFES	下刈り、伐倒、薪割等の体験会、森林環境学習を実施	217,000
42	里山愛好会	米沢市	③	恵しの森づくり	・斜平山のブナ植林地や散策道の下草刈等を実施 ・斜平山登山ハイキング、親子記念植樹時に自然環境学習を実施	500,000
43	朝日軍道を復活する会	鶴岡市	③	生業の山の恵み体感事業	猿倉山周辺の登山道整備、市民を対象とした山菜や木の葉等の森の恵みを体感するイベント、山の利用と作業道の役割等を学ぶ学習会を実施する。	500,000
44	万里の松原に親しむ会	酒田市	③	海岸林での体験活動支援と活動の情報発信を一体とした活動	次世代を担う子供たちを対象に海岸林での自然観察やクロマツの枝打ち等の体験活動の支援を行う。	267,546
45	鳥海やわたインタープリター協会	酒田市	③	鳥海南麓 緑に親しむふれあい探検隊	市民を対象とした鳥海南麓でのトレッキングと活動地域の自然環境保全のための整備活動を行う。	213,079
46	大山公園再生協議会	鶴岡市	④	力を合わせて木製ベンチを作ろう	地域の子どもたちと県産材を使ったベンチの組立・製作を行う。	206,000
47	酒田市西荒瀬コミュニティ振興会	酒田市	①	育てよう！わくわく夢の森	小学生親子を中心に地域・学校と連携しながら学習林や周辺の海岸林の育成・森林の維持管理を行う。	110,448
48	荒倉散策道愛護会	鶴岡市	①	荒倉山散策道及び森林の環境整備・森林自然環境学習	荒倉山の森林及び散策道の環境整備、上郷小学校児童を対象とした森林散策、講師による自然環境学習を行う。	373,000

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【地域提案事業（県民提案型）】

No.	団体名	所在地	項目	事業名	事業概要	実績額 (円)
49	藤倉山ブナ林保存会	鶴岡市	③	藤倉山 春・秋の学習会	藤倉山において、市民を対象とした登山学習会を行い、森林・自然環境保全の意識醸成を図る。	141,230
50	社会福祉法人西荒瀬協会 西荒瀬保育園	酒田市	③	保育園児の森林環境教育「みどりの保育園」推進事業	保育園周辺の「しんちゃん森」や地域の自然を活用しながら、園児が自然とのふれあいを体験する森林環境教育を行う。	194,000
51	関未拓の会	鶴岡市	①	しなの木の森づくり体験事業	「しなの木の森」で事業主体のシナノキ保育活動、子ども達による学習活動、一般参加者による体験イベントを行う。	185,711
52	山形県酪農生活衛生同業組合 酒田支部	酒田市	①	「海の幸を育む山に緑を」	吹浦地内で組合員とボランティアによる第1回植樹地の下刈とカシワの植栽を行う。	122,712
53	砂丘地砂防林環境整備推進協議会	遊佐町	①	砂丘地砂防林整備事業	小学生親子を中心に地域・学校と連携しながら学習林や周辺のクロマツを中心とした海岸林の育成・森林の維持を行う。	397,000
54	特定非営利活動法人明日のたね	鶴岡市	③	たねの森のようちえん♪	未就学児親子を対象にネイチャーゲームや森林散策、木工クラブ製作といった体験活動を行う。	260,000
55	山五十川玉杉保護会	鶴岡市	①	山五十川日本一の玉杉保全活動と周辺散策道の保全管理	国指定天然記念物「山五十川の玉杉」の保全管理、周辺散策道の整備を行う。	150,000
56	下本郷自治会	鶴岡市	①	豊かなふるさとづくり	山林道や植樹地の下刈り、間伐材での薪を生産・活用、桜の植栽、雪中伐採体験を通して地域森林資源の保全と地域景観づくりを行う。	415,000
合計						15,570,499

※下線：新規事業

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【地域提案事業(市町村提案型)】

NO	市町村名	項目	事業名	事業概要	実績額(円)
1	西川町	①	村山地域森の感謝祭	西川小学校での森の感謝祭の実施	2,111,000
2	村山市	③	ふるさと教育の森事業	「教育の森」での中学生を対象とした植林及び間伐や炭焼き体験及び観察会等の森林環境学習	2,130,028
3	上山市	③	市民参加による金山保全活用事業	金山越え羽州街道での地域住民を対象とした下刈りや木道整備及び環境学習会	210,000
4	天童市	③	緑の少年団自然学習	田麦野・山口地区等の天然記念物等での緑の少年団を対象とした自然環境学習	187,880
5	東根市	③	森と親しむ体験事業	市街地住民を対象とした森林散策、植園、植樹、木工ラフト作業	465,873
6	山形市	④	間伐材等を利活用した森林環境学習	地域住民を対象とした市産間伐材の提供及び学習会の実施、公共施設へのベレットストープの提供	4,975,450
7	東根市	③	協働による森づくり活動事業	高崎地区での小学生を対象とした炭焼き及び森林散策	498,310
8	東根市	③	まなびの森活動事業	横沢林道付近での地域住民による下刈りや除伐及びブナの植樹	965,338
9	尾花沢市	④	学校林整備・利活用推進事業	学校林を間伐し、運搬加工制作時に地域住民による体験学習を実施。又、間伐材を利用したゴミステーションを制作し、地域住民と設置及び森林学習を実施	1,925,000
10	尾花沢市	③	徳良湖周辺森林環境整備事業	徳良湖畔の森林を活用した、地域住民等による森づくり学習、下刈り等の環境整備を行い、森のようちえん活動の事前準備の実施	462,000
11	東根市	①	動物共生の森づくり活動事業	市内三地区での地域住民による下刈り作業	593,549
12	尾花沢市	③	森々子育て準備事業	長根山運動公園での「おーばん等の森」の植樹会場の準備及び参加者を対象とした森林学習会	691,900
13	東根市	③	山のめぐみ体験活動事業	樫岳での地域住民による下刈り作業や自然観察会	129,998
14	尾花沢市	①	バッファゾーン設置事業	市内四地区での地域住民による下刈り作業と安全講習会	924,000
15	東根市	①	石崎山環境整備事業	石崎山での地域住民による散策道の下刈り作業	313,536
16	新庄市	①	やまがた森の感謝祭2025	次世代に豊かな自然を引き継ぐため、やまがた森の感謝祭2025を開催する。	1,493,500
17	金山町	④	遊学の森森林体験活動事業	遊学の森をフィールドに、かたくりの里まつりやグッド・ウッド・フェスティバル等の動植物とふれあう参加型の森づくり活動を開催する。	935,000
18	舟形町	①	もみじの森プロジェクト	地域住民による植樹活動と学習会を通じた森林保全への意識の醸成。	495,000
19	金山町	③	地域森林学習事業	地域の森林資源や森づくり活動への関心を高めるため、町民や農林大学の学生等を対象に、町内の大スギ群での苗木調査や森林体験学習、環境整備等を実施する。	476,000
20	最上町	③	最上町森林資源利活用システム学習事業	町内の児童・生徒を対象に、間伐・チップ加工・バイオマスボイラ等の見学を通して、森林の持つ多面的機能や森林整備の大切さ等を伝える。	269,000
21	最上町	③	「回廊の森」森づくり活動事業	里山林「回廊の森」において行う森林学習のため、林内の遊歩道等の修繕作業をボランティアと子供たちが協働で実施するほか、新炭林の成長の様子等の観察活動を実施する。	480,000
22	最上町	③	「花の鶴橋」花の山づくり活動事業	地域住民が主体となり歴史ある史跡「鶴橋」周辺を人々の集う里山として維持管理する。	349,000
23	最上町	③	「志茂の手楯」整備事業	地域で「楯山」と呼ばれる「志茂の手楯」について、年齢を問わず訪れられるように環境整備を行うとともに、地域の小学生への森林学習を行う。	155,000
24	米沢市	④	木工品普及啓発事業	児童クラブ児童を対象とした木工工場見学、木工ラフト体験の開催	80,000
25	飯豊町	①	おきたま森の感謝祭開催事業	おきたま森の感謝祭2025の開催	531,970
26	飯豊町	④	いいで森林自然環境学習事業	児童を対象とした木工教室の開催、園児を対象とした木工育活動の実施	570,900
27	南陽市	①	「森と友に」森づくり活性化事業	企業による森づくり活動、市民参加による観察会等の開催、イベントにおける森づくり体験等の実施	2,058,692

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【地域提案事業(市町村提案型)】

NO	市町村名	項目	事業名	事業概要	実績額(円)
28	南陽市	③	「森へ行こうよ」自然環境学習事業	未就学児や小学生を対象にした自然環境学習、木工ラフト体験の実施	1,815,908
29	長井市	④	木のめぐりみ体験事業	市内学童クラブでの木工教室の開催	222,420
30	白鷹町	③	炭焼き体験・木炭利用啓発事業	白鷹町産業フェアにおける炭焼き体験会、木炭啓発イベントの開催	174,790
31	川西町	④	木材利用促進事業	かわにし産業フェアにおける木工体験の実施	100,000
32	白鷹町	③	自然・森林学習事業	学童保育所を対象とした自然・森林学習会の開催	346,500
33	南陽市	①	里山再生リカバリー推進事業	森林ボランティア団体等を対象とした森林病害虫予防研修会の開催	287,400
34	米沢市	①	里山保全事業	企業による下刈活動の実施	10,000
35	川西町	②	緩衝帯整備事業	地域と連携した除伐による緩衝帯の整備	809,600
36	長井市	②	野生生物との共生環境保全事業	地域と連携した除伐や下刈りによる緩衝林帯の整備	521,580
37	川西町	①	里山景観美化事業	地域と連携したマツ枯れ材のチップ化及びチップ敷きの実施	1,762,200
38	庄内町	③	風車村わんぱくの森整備事業	風車村周辺の森林を町民等が「森に親しめる空間」として整備し、自然体験学習やレクリエーション活動を推進する。	493,460
39	三川町	③	森の恵み体験事業	小学生に原木しいたけの植菌作業及び収穫作業を体験してもらい、特用林産に対する理解を深める。	71,990
40	鶴岡市	③	つるおか森林環境教育推進事業	市内小学校等への自然環境学習の支援を行う	2,889,219
41	鶴岡市	③	きのこ植菌体験事業	循環的な森林資源利活用への関心向上のため、きのこ植菌体験及び精木養生に関する講座を実施する	41,029
42	鶴岡市	③	挿山（小国城跡）自然と歴史学習事業	挿山（小国城跡）において、自然環境への理解を深める学習会を開催する。	253,000
43	鶴岡市	③	森林活動体験創出事業	間伐現場の見学や下刈り・木工体験を通して林業への興味を引き立て、新規就業者の確保を図る。	790,039
44	庄内町	③	森林空間利活用事業	板敷山古道や北月山登山道の整備と森林講話を交えたトレッキングの実施	1,199,810
合計					36,266,869

※下線：新規事業

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【市町村里山再生アクションプラン事業】

NO	市町村名	項目	事業名	事業概要	実績額(円)
1	山形市	①	みんなの森づくり活動	山形市市有林での市民を対象とした植樹や森林環境学習	1,545,961
2	山形市	③	森林に親しむ学習会	公共施設での一般を対象とした森林散策や木工クラフト体験	1,094,379
3	山形市	④	小・中学校への市産材の普及啓発	中学校等での学生等を対象とした市産スギ材加工	1,640,923
4	山形市	①	里山環境保全整備	地域住民と協働で西蔵王市民の森林の下刈りや散策路の整備等を実施	184,700
5	上市市	①	森林環境学習事業	学校林での小学生及び保護者を対象としたヒメサユリの播種及び自然環境学習	67,351
6	上市市	①	市民と協働の森づくり事業	西山及び三吉山周辺での市民を対象とした散策道の整備	893,549
7	上市市	③	もりのきょうしつ事業	保育園等での園児を対象とした森林散策及び市産材木工クラフト体験	105,100
8	上市市	④	市産材ふれあい事業	市産スギ材加工及び市内への市産木製品の整備	417,000
9	天童市	③	木工体験教室	市内での市民を対象とした県産材木工教室及び自然環境学習	208,320
10	天童市	④	森林環境保全意識の醸成事業	中学校での学生を対象とした県産材加工及び自然環境学習	1,272,739
11	山辺町	①	豊かな里山保育事業	トレッキング等で利用されている里山林での地元住民を対象とした刈払い等	466,500
12	山辺町	④	県産材普及啓発事業	小学校での木工授業等による児童への普及啓発活動	369,922
13	中山町	①	町民協働による健全な森林育成事業	高取山での青少年育成町民会議会員等を対象とした刈払い及び病害虫被害木処理	554,092
14	中山町	③	自然学習事業	豊田地区での小学生を対象としたヒメサユリの播種及び環境学習	121,000
15	寒河江市	④	里山振興県産材利用促進事業	「いこいの森」での木製ベンチ、テーブルの製作と環境学習	1,263,050
16	寒河江市	④	里山資源木質ベレット普及促進事業	公共施設での一般向けベレットストーブのPR及び環境学習	144,950
17	河北町	④	木と触れ合い機会創出事業	町の大型イベントでの参加者を対象とした木工クラフト体験	866,000
18	西川町	③	ブナの森自然学校事業	月山等での小学5年生を対象とした自然体験活動	228,000
19	西川町	④	地元産木材活用推進事業	公共施設での幼児から中学生を対象とした西山杉木工教室、各種表彰における西山杉の顔縁使用及び学習会	1,344,000
20	朝日町	①	豊かな森再生事業	町内での地域住民を対象とした病害虫被害防止と環境学習	137,500
21	朝日町	③	森林の学び推進事業	小学校等での児童を対象とした森林環境学習及び植樹	50,460
22	朝日町	④	木づかい事業	公共施設での町民を対象とした西山杉の木工クラフト	577,220
23	大江町	④	西山杉工作事業	中学校での中学生を対象とした西山スギ材木工制作及び森林環境学習	318,000
24	大江町	④	いきいきぬもり事業	町内での寿賀祝賀者や町政表彰者を対象とした西山杉顔縁提供と緑環境のPR	682,000
25	村山市	①	豊かな森づくり事業	河島山等での地元住民を対象とした里山林整備、植樹及びヒメサユリ保護活動等	321,725
26	村山市	③	自然環境体験事業	市内四ヶ所での幼児等を対象とした自然体験学習	333,958
27	村山市	③	緑の少年団事業	公共施設での緑の少年団を対象とした木工クラフト	305,317
28	村山市	④	県産材利用促進事業	中学校での中学生を対象とした県産スギ材提供及び森林環境学習	261,000
29	東根市	①	豊かな森づくり活動事業	市民を対象とした病害虫被害防止の樹幹注入と森林病害虫に関する講演会実施、伐倒除断作業	1,209,000
30	尾花沢市	①	絆の森林保全対策事業	長根山公園での地域住民を対象とした松くい虫被害予防対策	880,000
31	尾花沢市	③	森々子育て支援事業	長根山運動公園での「おーばん等の森」参加者を対象とした森林学習会	330,753
32	尾花沢市	③	森の学校自然学習事業	保育園及び小学校での幼児から小学生までを対象とした森林環境学習	296,247
33	大石田町	④	希少野生生物生息地保全活動	川前地区での地域住民を対象としたギョウチョウ等の生息地の整備及び自然学習会	255,000
34	大石田町	④	県産材利用促進事業	中学校での中学生を対象とした県産スギ材提供及びお年寄りへの木製品贈呈	497,000
35	新庄市	②	里山林保全活動	福宮境周辺の里山林を整備し、希少生物がすみやすい環境をつくり、併せて森林環境教育を実施する。	297,602
36	新庄市	③	陣峰市民の森森林学習会	中学生等を対象とした森林環境学習会を開催し、森林環境保全の大切さを学ぶ。	632,453
37	新庄市	④	県産材利用促進事業	県産材を利用した木札を新庄まつり等で配布し、木の温かみや良さを感じてもらう。	247,000
38	金山町	④	間伐材利用促進事業	町内の間伐材製品取扱業者と連携し、間伐材製品の普及PRや展示、木工体験イベントを行い、間伐材製品の利用拡大につなげる。	253,600
39	金山町	③	地域連携学習事業	町民の森林・木材等への関心を高めるため、こども園、小・中学校等と連携した、森林・自然学習や木工クラフト体験、森林整備体験活動等を実施する。	126,450
40	最上町	③	奥羽山芭蕉の森「里山文化の伝承の森づくり」	荒廃した里山林を保全するため、森づくり活動への支援を実施する。	800,000
41	最上町	③	前森里山保全と親子森林ふれあい散策事業	ボランティアによる親子森づくり活動を実施する。	35,000

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【市町村里山再生アクションプラン事業】

NO	市町村名	項目	事業名	事業概要	実績額(円)	
42	最上町	②	「白川桜の散歩道」保育・整備事業	これまで植樹した桜の保育作業とその周辺の緑化整備を地域の子どもたちとともに実施する。	181,000	
43	最上町	④	もがみの木質資源利活用推進事業	間伐材等を地域での学習やイベントで活用してもらうとともに、新生児に高校生が製作に携わった積み木をプレゼントし、家族と一緒に木のぬくもりを感じてもらった。	347,000	
44	舟形町	③	菓師の森の自然学習会	「菓師の森」は町内でも自然を残している箇所であり、保全活動のほか小中学生等を対象にした自然学習会を開催し、森の豊かさや自然の大切さを感じてもらった。	328,000	
45	舟形町	②	長尾町内会の協働による念仏の松の保全事業	「念仏の松」を森林学習及び整備のシンボルとして位置づけ、町内会と協働で保全活動・学習会を実施する。	123,000	
46	舟形町	②	洲崎町内会と町の協働による桜の木保全事業	地域住民が主体となって、これまで植樹した桜の保育作業と保全に関する学習会やその周辺の緑化整備を子どもたちとともに実施する。	20,000	
47	舟形町	④	舟形小学校森の積木広場活動	舟形小学校の生徒等を対象に森の積木広場を開催し、積み木にふれ木材のすばらしさを感じるとともに、森林資源保全の意識醸成を図る。	38,000	
48	舟形町	④	町内ベンチの木製化プロジェクト	地元中学生が主体となって木製ベンチを作成し、町内公共施設等に配布することを通じて、県産木材の活用等について学習を行う。	218,800	
49	舟形町	④	幼児の木製おもちゃふれあい事業	子育て支援センターの利用者等を対象に、木製おもちゃに触れ、木育の推進につなげるため、県産材を利用したおもちゃ開発、親子教室等を行う。	116,200	
50	真室川町	③	自然環境学習	各小学校児童を対象に、出前「木工クラフト教室」及び「森林環境学習会」を実施し、自然との関わりや森林施策の意味・多面的機能等を学習する。	53,000	
51	真室川町	④	特用林産・県産材利活用	県産材を活用して製作した木製品を町の公共施設へ設置し県産材PRと地産地消を図る。また、町発祥の「原木なめこ」の魅力をPRし消費拡大につなげる。	1,111,000	
52	真室川町	①	野生生物との共生	野生動物との共生を目指し緩衝林整備等を実施する。	261,000	
53	真室川町	①	ナラ枯れ被害林再生	地元住民と小学生がナラ枯れ被害と森林機能について学びながら、荒廃した森林の再生を図る。	40,000	
54	大蔵村	①	森林体験学習事業	村民を対象とし、森林整備の必要性や里山のあり方について考える機会とするため、園芸栽培体験、病虫害防止研修等を行う。	826,904	
55	大蔵村	③	蕨茸栽培・森林体験学習事業	小学生を対象に森林体験学習や植樹・収穫作業を行うことで森の恵みを感じ、里山再生の必要性について学ぶ。	80,090	
56	大蔵村	④	木育推進事業	木育を推進するため、保育園園児を対象とした木のおもちゃを作成し、子供たちにも木の良いところを伝える。	167,006	
57	鮭川村	④	鮭川村木育推進事業	乳児食教室に参加した親子を対象に県産材を使用した積み木ややまがた緑環境税と木質の趣旨を掲載したメッセージ等を配布しながら、幼少期から木に触れるきっかけづくりを行う。	153,936	
58	戸沢村	④	木質バイオマスエネルギー地産地消費及拡大プロジェクト	役場内にベレットストーブを展示し、再生可能エネルギーの普及啓発を行う。	26,918	
59	戸沢村	③	森林環境学習	村内の児童・生徒を対象に、炭焼き体験や里山散策等の森林環境学習を実施し、森林に対する理解を深めてもらう。	120,000	
60	戸沢村	④	森林資源の活用・普及・体感大作戦	村内の産業まつり等で著作りやコースター作りなどの体験活動を通して、一般の方々に、森林の有効利用について楽しく学び森林への意識を高める機会を増やす。	52,982	
61	戸沢村	①	桜生プロジェクト	地域住民等と協働で桜の保全活動を実施する。	1,003,100	
62	米沢市	③	里山体験事業	市民を対象とした森の施設等での森林体験等の実施、広報による税事業のPR	1,719,000	
63	米沢市	④	木工品普及啓発事業	小学生等を対象とした笹野一刀彫の絵付け体験や木製品作成体験等の実施	886,000	
64	長井市	①	水源の森復活事業	地域と連携した21世紀不伐の森における植樹及び下刈活動の実施	1,026,001	
65	南陽市	④	木材利活用推進事業	シェルターなんようホールを会場とした木の良さをPRするイベントの開催、木製玩具による遊び体験の実施等	1,204,000	
66	高島町	①	まほろばの里絆の森活動支援事業	企業と協働による遊歩道整備、森林整備、植樹活動の実施	285,933	
67	高島町	②	まほろばの里緩衝林帯保全活動事業	屋内遊戯場と連携したポット苗作成体験の実施	86,000	
68	高島町	③	まほろばの里森林学習事業	地域と連携したクマ注意喚起幟旗の設置	緩衝林帯の整備	128,196
69	高島町	④	地産産木材利用拡大事業	高島小学校における森林学習、きのこ植樹体験の実施	449,871	
70	川西町	①	里山再生プロジェクト	町内幼児施設、小学校、中学校、高等学校での木工教室、きのこ植樹体験の実施	481,928	
71	川西町	②	自然共生プロジェクト	地域と連携した里山の環境保全整備（下刈り、倒木処理、枯損木処理等）の実施	38,182	
72	川西町	③	森林体験プロジェクト	希少動植物等への理解を深めるための学習会や観察会等の開催	217,221	
73	小国町	②	森林セラピー推進事業	町民を対象としたきのこ植樹体験の実施、児童高生を対象とした森林整備体験の実施	352,000	
74	小国町	③	白い森づくり体験事業	森林セラピー基地における環境整備、森林体験プログラムの企画・運営、ツアーの実施	581,993	
75	小国町	③	生涯学習講座開設事業	小学生を対象としたきのこ植樹体験の実施、地域と連携した森づくり活動の実施	5,568	
76	小国町	④	森から拓く次代の生業づくり事業	幼児、児童、地域住民を対象とした森の乗校、森のようちえん、木づかい講座の開催	238,700	
77	小国町	④	白い森みらいづくり創生事業	三歳児親子を対象とした木育クラフトワークショップの開催	120,000	
78	白鷹町	④	ファーストイ事業	9か月健診児を対象に町産スギ製積木の贈呈と桜を対象とした自然環境学習イベントの開催	437,000	

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【市町村里山再生アクションプラン事業】

NO	市町村名	項目	事業名	事業概要	実績額(円)
79	白鷹町	④	木工体験事業	町産業フェアにおける木工体験、木工技術展示の実施 小学校における木工教室の実施 中学校の技術教材として町産材の提供	586,000
80	飯豊町	①	いいで豊かな森づくり事業	地域との連携による八幡山桜の森内の除草、ニセアカシアの除根	621,500
81	飯豊町	②	いいで自然環境保全事業	地域材を活用した水芭蕉園の遊歩道整備及び除草等の実施	495,000
82	飯豊町	④	いいで森林自然環境学習事業	児童を対象としたミニ上様式の開催	268,840
83	鶴岡市	①	企業の森づくり事業	「JTの森鶴岡」、「神の宿る森はぐろ」等における森林整備活動の支援	204,247
84	鶴岡市	①	魚の森づくり事業	子どもたちとともに良好な漁場環境を支える豊かな森づくり活動の実施	222,257
85	鶴岡市	①	つるおかの広葉樹の森再生事業	熊野長峰における里山広葉樹の森づくり	720,111
86	鶴岡市	③	山の活動体験事業	サラリーマン等を対象にした間伐体験会等	111,717
87	鶴岡市	①	添川地区山林景観保全事業	地域住民との協働による山道の環境整備	171,920
88	鶴岡市	①	松ヶ岡開墾場景観保全事業	国指定史跡松ヶ岡開墾場における森林病虫害防除	118,800
89	鶴岡市	①	大山公園下池側景観保全事業	住民との協働による樹木の適正な維持管理	489,500
90	鶴岡市	③	森林文化都市構想推進事業	散策等の活動により市民に対して森林に親しむ機会と環境を提供	193,205
91	鶴岡市	②	庄内自然博物館構想推進事業	市民の主体的参画と協働による自然環境の保全と自然環境学習の実施	1,850,762
92	酒田市	①	森林ボランティア育成事業	森林整備や学習会を行うボランティア事業の支援	924,328
93	酒田市	④	さかた木づかい夢ネット事業	さかた材の活用拡大のためのPR活動等の実施	2,046,731
94	三川町	③	木のぬくもり体験事業	県内における森林散策体験の実施	0
95	三川町	④	みかわ木育推進事業	杉の積み木ができるまでの循環等のチラシ配布や説明と共に県産木材積み木を配布、また町民向け木エクラフトを実施	582,450
96	庄内町	③	森づくり・森林環境学習事業	地域住民を対象とした下刈・間伐等体験や森林環境・森の恵み利用学習の実施	454,947
97	遊佐町	①	森林景観保全事業	町事業対象地区外での保育作業の一環として支障木の伐倒及び破砕作業の実施	500,000
98	遊佐町	①	公益の森100年計画事業	地元住民や小学生とのクロマツ苗の植林活動の実施	178,860
99	遊佐町	③	「共存の森」再生事業	共存の森の散策道の整備及び町民を対象に森の資源を活用した体験事業の実施	56,980
合計					45,958,505

※下線:新規事業

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型）の取組事例】 村山総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施団体名
海味区（西川町）
- ◇事業名
地域で取り組む“いこいの森”空間づくり
- ◇事業内容（4月～11月）
・地区の森林の整備（草刈、植樹等）



草刈研修状況

2 自然環境保全活動

- ◇実施団体名
特定非営利活動法人里山の水と緑を守る会（大石田町）
- ◇事業名
ギフチョウ・ヒメギフチョウの生息環境整備
- ◇事業内容（7月～11月）
・ギフチョウ・ヒメギフチョウの食草植物を育成更新するための下草刈り等を実施。



保全地草刈状況

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施団体名
蔵王緑の騎士団（上山市）
- ◇事業名
持続可能な森林づくりのできる人材の育成
- ◇事業内容（4月～3月）
・森林の役割と大切さを体感し、森林を活用した各種研修の実施。



参加者森林学習状況

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施団体名
うっでいくらぶもくもく（大江町）
- ◇事業名
地元産西山杉を使った木のおもちゃを使つての木育活動
- ◇事業内容（7月～11月）
・西山杉を使用した木育を行い、交流人口増加を図る。



参加者集合写真

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型）の取組事例】 最上総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施団体名
真室川町野々村地区
- ◇事業名
豊かな森づくり活動 in 白鳥の里野々村
- ◇事業内容
最上管内唯一の白鳥飛来地である「野々村ため池」周辺の里山で、散策道周辺の刈払いや、児童生徒を対象にした環境学習や木工教室を実施



刈払い作業

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施団体名
嶺山探究会
- ◇事業名
「塩根川学校の森」森づくり活動と森林・自然環境学習
- ◇事業内容
地域住民等の憩いの場となっている「塩根川学校の森」で、下刈り・歩道整備や児童生徒等を対象にした枝払いや伐採作業の見学、木工体験等を実施



枝払い体験活動

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施団体名
遊び工房プロジェクト
- ◇事業名
「こどもハウス」づくりワークショップ
- ◇事業内容
県産材を活用し、地域の子供たちが楽しめる木の家（こどもハウス）づくりや、木のおもちゃづくりを行うワークショップを開催



こどもハウスづくり

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型）の取組事例】 置賜総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施団体名
吉野をさくらいっぱいにする会
- ◇事業名
地域緑化のための植樹事業と植栽木保全事業
- ◇事業内容
- ・桜の植樹
 - ・植栽箇所周辺の下刈り、支障木撤去



桜の植樹

3 森や自然とのふれあい活動

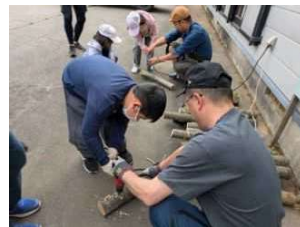
- ◇実施団体名
二井宿わくわくプロジェクト
- ◇事業名
里山環境整備による森林自然との体験交流推進
- ◇事業内容
- ・トレッキング（山野草等の観察）
 - ・遊歩道の下草刈り、倒木撤去



山野草の観察

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施団体名
中村ビッキーズ
- ◇事業名
子供たちに受け継ぐ里山再生活動
- ◇事業内容
- ・キノコの植菌体験
 - ・動植物の環境保護学習
 - ・間伐材の利用体験（薪づくり、焚火体験）



キノコの植菌体験

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型）の取組事例】 庄内総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施団体名
荒倉散策道愛護会（鶴岡市）
- ◇事業名
荒倉山散策道及び森林の環境整備・森林自然環境学習
- ◇事業内容
地域住民とともに荒倉山の森林及び散策道（総延長10km）の環境整備、上郷小学校と連携した体験学習で桜の植樹、森林散策、講師による自然環境学習を実施



桜の植樹後に記念看板と

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施団体名
関未拓の会（鶴岡市）
- ◇事業名
しなの木の森づくり体験事業
- ◇事業内容
- ・シナノキの保育活動（下刈り・除伐）
 - ・しなの木の保育体験（枝打ち）
 - ・あつみ小学校児童による皮はぎ体験
 - ・一般参加者による皮はぎ体験イベント
 - ・シナノキ苗木の植樹



シナノキの皮はぎ体験

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施団体名
朝日軍道を復活する会（鶴岡市）
- ◇事業名
生業の山の恵み体感事業
- ◇事業内容
猿倉山周辺の登山道整備、市民を対象とした山菜や木の実等の森の恵みを体感するイベントや山の利用と作業道の役割等を学ぶ学習会を開催



秋のトレッキング

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村提案型）の取組事例】村山総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施市町名：尾花沢市
- ◇事業名
バッファゾーン設置事業
- ◇事業内容
市内4地区での地域住民による下刈り作業と安全講習会を実施



下刈り作業実施状況

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施市町名：村山市
- ◇事業名
ふるさと教育の森事業
- ◇事業内容
「教育の森」中学生を対象とした植林及び間伐や炭焼き体験及び観察会等の森林環境学習



植林作業状況

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施市町名：山形市
- ◇事業名
間伐材等を利活用した森林環境学習
- ◇事業内容
地域住民を対象とした市産材の提供及び学習会の実施、公共施設へのベレットストーブの提供



市産材活用状況

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村提案型）の取組事例】最上総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施市町村名：新庄市
- ◇事業名
やまがた森の感謝祭 2025
- ◇事業内容
新庄市民スキー場を会場に、県内各地の緑の少年団や新庄市内の児童、森林・林業関係者等が参加して、式典・コナラの植栽等を実施。



コナラの植栽

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施市町村名：最上町
- ◇事業名
最上町森林資源利活用システム学習事業
- ◇事業内容
町内の児童・生徒が、間伐作業やバイオマスチップ工場・バイオマスボイラの見学・森林環境学習を実施。



林業機械の見学

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施市町村名：金山町
- ◇事業名
遊学の森森林体験活動事業
- ◇事業内容
遊学の森をフィールドに自然観察教室や木育体験など、町民等を対象にした参加型の森づくり活動を実施。



かたくりの観察

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村提案型）の取組事例】 置賜総合支庁

1 豊かな森づくり活動

◇実施市町村：川西町

◇事業名

里山景観美化事業

◇事業内容

- ・下小松古墳群周辺において地区のボランティア団体等の協力を得ながら松枯れ材の集積、チップ処理を実施
- ・チップは、下小松古墳群でのイベント時に参加者が敷設



チップ敷設の状況

2 自然環境保全活動

◇実施市町村名：長井市

◇事業名

野生生物との共生環境保全事業

◇事業内容

地域団体（西根森づくりの会）による、野生動物と人との生活圏を分離するための緩衝帯整備（刈払い）



地域団体による緩衝帯整備（刈払い）

3 森や自然とのふれあい活動

◇実施市町村名：南陽市

◇事業名

「森へ行こうよ」自然環境学習事業

◇事業内容

市内保育施設園児等を対象に、専門家（NPO 法人うつくしいやまがた森林活動支援センター他）を講師に招き、自然環境学習や体験活動を実施



保育園児を対象とした自然観察

4 木に親しむ環境づくり

◇実施市町村：米沢市

◇事業名

木工品普及啓発事業

◇事業内容

- ・学童クラブの小学年児童が、市内木材加工会社を訪問
- ・工場見学と端材による箸作り体験を通し、木材の良さや、地元の木材産業を学習



工場見学の様子

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村提案型）の取組事例】 庄内総合支庁

1 豊かな森づくり活動

◇実施市町村：鶴岡市

◇事業名

森林活動体験創出事業

◇事業内容

森林・林業の魅力を体感できる植林や下刈り作業等の体験、間伐等森林作業現場の見学、および木造建築物の見学や木工体験（マイ箸づくり）を実施



高性能林業機械作業見学

3 森や自然とのふれあい活動

◇実施市町村：庄内町

◇事業名

風車村わんぱくの森森林体験事業

◇事業内容

地域住民や東北芸術工科大学の学生との協働による「風車村わんぱくの森」等へのチップ敷、およびツリークライミング体験等のもりを楽しむイベントを実施



遊歩道へのチップ敷

3 森や自然とのふれあい活動

◇実施市町村：三川町

◇事業名

森の恵み体験事業

◇事業内容

町内栽培農家で原木しいたけの生産工程を学び、植菌・収穫体験および収穫したしいたけの調理と試食を実施



栽培農家の見学

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村里山アクションプラン）の取組事例】村山総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施市町名：山辺町
- ◇事業名
豊かな里山保育事業
- ◇事業内容
山林散策路等で利用されている里山林での
地元住民を対象とした刈払い等を実施



刈払い実施状況

2 自然環境保全活動

- ◇実施市町名：大石田町
- ◇事業名
希少野生生物生息地保全活動
- ◇事業内容
川前地区での地域住民等を対象としたギフ
チョウ・ヒメギフチョウが生息地の整備や
自然学習会の実施



希少生物の学習状況

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施市町名：中山町
- ◇事業名
自然学習事業
- ◇事業内容
豊田地区の小学生を対象としたヒメサユリの植
栽及び環境学習



ヒメサユリ植栽状況

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施市町名：朝日町
- ◇事業名
木づかい事業
- ◇事業内容
公共施設での町民を対象とした西山杉の木エ
クラフト



クラフト実施状況

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村里山アクションプラン）の取組事例】最上総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施市町村名：大蔵村
- ◇事業名
森林体験学習事業
- ◇事業内容
地域住民等を対象に、里山での植菌体験やほだ
木管理、桜への施肥や樹木管理の森林体験活動を実施



植菌体験

2 自然環境保全活動

- ◇実施市町村名：丹形町
- ◇事業名
長尾町内会と町の協働による念仏の松の保全事業
- ◇事業内容
長尾町内会と協働で「念仏の松」周辺の刈払い
等の保全作業や学習会を実施



刈払い作業

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施市町村名：戸沢村
- ◇事業名
森林環境学習
- ◇事業内容
村内の児童生徒を対象に、炭焼き体験や里山散
策、木工クラフト体験等の森林環境学習を実施



里山散策

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施市町村名：真室川町
- ◇事業名
特用林産・県産材利活用
- ◇事業内容
県産材を活用した木製品を作成し、保育園児等
が木に触れる木育活動等を実施



木製棚の設置・活用

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村里山再生アクションプラン）の取組事例】置賜総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施市町村：飯豊町
- ◇事業名
いいで豊かな森づくり事業
- ◇事業内容
地域住民が、放棄された採草地である八幡山で、ブナの植樹及び植栽木周辺の除草作業を実施



植栽木（支柱付近）周辺の刈払い

2 自然環境保全活動

- ◇実施市町村：小国町
- ◇事業名
森林セラピー推進事業
- ◇事業内容
 - ・森林の持つ癒やし効果を活かし、心身の健康づくりとストレスの軽減を図る取組
 - ・地元マタギや山のプロなど個性豊かなアテンダントが案内



森林セラピーの実施（現地解説の状況）

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施市町村名：高畠町
- ◇事業名
まほろばの里森林学習事業
- ◇事業内容
高畠小学校3、4年生を対象にした小学校林内での森林学習の開催（樹木・植物等の観察）



森林学習（講師の解説）の状況

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施市町村：白鷹町
- ◇事業名
木工体験事業
- ◇事業内容
 - ・商工会建工部会と連携して白鷹町産業フェアにて木工体験を実施
 - ・町産木材を活用した踏み台、木造の人形等を作成



木工体験（踏み台製作状況）

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村里山7アクションプラン）の取組事例】庄内総合支庁

1 豊かな森づくり活動

- ◇実施市町村：遊佐町
- ◇事業名
公益の森100年計画事業
- ◇事業内容
地元住民や小学生による耕作放棄地等へのクロマツ苗の植林を実施



海岸林での植林

2 自然環境保全活動

- ◇実施市町村：鶴岡市
- ◇事業名
庄内自然博物館構想推進事業
- ◇事業内容
多種多様な動植物が生息する高館山、大山上池・下池、都沢湿地で、市民の主体的な参画・協働による自然環境学習および保全活動を実施



都沢湿地保全活動

3 森や自然とのふれあい活動

- ◇実施市町村：鶴岡市
- ◇事業名
森林文化都市構想事業
- ◇事業内容
地域住民を対象に、森林散策イベント「つるおか森の時間」の開催、市民に森の楽しみ方を伝える「森のソムリエ」の養成、散歩道の整備を実施



森林散策・観察の様子

4 木に親しむ環境づくり

- ◇実施市町村：酒田市
- ◇事業名
さかた木づくり夢ネット事業
- ◇事業内容
 - ・庄内森とみどりのフェスティバルへの出展、
 - ・酒田の木で家づくり無料相談会の開催
 - ・地域材を活用した遊具の作成・活用



酒田の木で家づくり無料相談会

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	2-2
事業名	やまがた絆の森づくり推進事業		
事業費	833 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
1 目的	企業等が実施する継続的な森づくり活動により、環境貢献と地域交流による里山地域の活性化を図る。 また、森林整備の実績に応じた CO₂森林吸収量を数値化し認証することで、企業等が行った森づくり活動による環境貢献の成果を目に見える形にし、参加企業の森づくり活動へのモチベーションの増大を図る。		
2 事業概要と実績	(1) やまがた絆の森協定 県がコーディネーターとなり、企業等と森林所有者とのマッチングや、森づくり活動をサポートし、地域交流や里山資源の利活用による地域活性化を推進する。 (絆の森協定締結企業 42 社・40 地区) ・令和 7 年度協定締結企業 ① くのり協同和楽の森【置賜建設(株)】 ② ヤマト運輸の森【ヤマト運輸(株)】 ・企業等による森づくり活動 (2) やまがた絆の森づくり交流会の開催 やまがた絆の森づくり交流会を開催し、参加企業等間の交流を図る。 ・令和 7 年 4 月 23 日開催 参加企業等数：14 社 (3) やまがたの森づくり発表会の開催 やまがたの森づくり発表会で、やまがた絆の森協定締結企業による森づくり活動についてのポスターセッションにより、絆の森づくりを広く周知する。 ・令和 7 年 11 月 20 日開催 パネル展示：30 社 (4) やまがた絆の森パンフレットの作成 企業等による森づくり活動の内容などを紹介した PR パンフレットの作成・配布 ・令和 8 年 3 月完成 印刷部数：1,000 部 (5) 山形県 CO₂森林吸収量認証制度 企業・団体が行った森づくり活動で整備した森林の CO₂吸収量を評価し認証 ・令和 7 年度申請件数：33 件 CO₂森林吸収量認定量：680,04 t-CO₂/年		
3 成果と課題	【成果】 (1) やまがた絆の森協定 企業等の森づくり活動への要望に合わせコーディネートを図り、2 企業との協定締結をすることができた。今後も要望に答えられるよう調整していく。 (2) (3) やまがた絆の森づくり交流会及び森づくり発表会の開催 企業等への情報提供や企業等間の交流により、さらに充実した活動への展開を支援することができた (4) やまがた絆の森パンフレットの作成 パンフレットを配布することで企業等が行う森づくり活動を広く発信できた。 (5) 山形県 CO₂森林吸収量認証制度 企業等が行った森づくり活動の成果を数値化することで活動へのモチベーションの増加に寄与した。 【課題】 森づくり活動を楽しみ続けようするため、適切な助言やアイデア提供を行っていく必要がある。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和 7 年度やまがた絆の森づくり推進事業の取組事例】

やまがた絆の森づくり 企業の取組み

ミドリオートレザーやまがた絆の森

(令和 7 年 10 月 3 日開催 ミドリオートレザー(株))



集合写真



森林整備の様子

パネル展 (活動の PR)

森づくり発表会でのパネル展示
11/20 山形ビッグウイング

絆の森づくり交流会

絆の森づくり交流会
4/23 参加企業 14 社

「やまがた絆の森協定」の締結について

令和 7 年 8 月 26 日
置賜建設(株)・九里学園令和 8 年 1 月 7 日
ヤマト運輸(株)山形主管支店・山形市

『やまがた絆の森協定』締結企業一覧

	設置 (事業) 年度	地区名 (名称)	所在地 (協定箇所)	企業名・団体名	協定 面積 (ha)	当初の 協定期間 年	協定期間 年	協定 更新 年数 (年)	累計 協定 年数 (年)	協定 回数	内 容	森林所有者	認証 区分
1	H21	JTの森 鶴岡	鶴岡市	日本たばこ産業株式会社	25.33	※ (H21.3)	{H21.4.1～R6.3.31} R6.4.1～R9.3.31	3	15	4	植栽・植樹・伐 倒・下刈・施肥・ 本数調整等	山形県 鶴岡市 下川生産森林組合	実践
2	H21	ウンノハウス企業の森	飯豊町	株式会社ウンノハウス	0.59	※ (H21.10)	{H21.10.22～ R6.3.31} R6.4.1～R11.3.31	5	15	4	植栽・下刈、森 林レクリエーショ ン、森林環境学 習等	山形県	実践
3	H21	荏菈かねやま絆の森	金山町	株式会社荏行銀行	49.65	H22.3	{H22.4.1～R5.3.31} R5.4.1～R8.3.31	3	14	4	植樹、下刈、枝 打ち	有限会社三葉クラフト 金山町	実践
4	H21	ぐるっと花笠の森【山形】	山辺町	株式会社山形銀行 山形信用金庫	2.50	H22.3	{H22.4.1～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	5	14	3	植樹、下刈	山形県	実践
5	H21	ぐるっと花笠の森【米沢】	米沢市	株式会社山形銀行 米沢信用金庫	2.00	H22.3	{H22.4.1～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	5	14	3	植樹、下刈	米沢市	実践
6	H21	しんきん輝の森・ぐるっと 花笠の森【新庄】	新庄市	新庄信用金庫 株式会社山形銀行	22.00	H22.3	{H22.4.1～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	5	14	3	植樹、下刈	東草山管理組合 新庄市 NPO法人 バイオマスものがみの会	実践
7	H21	ぐるっと花笠の森【鶴岡】	鶴岡市 羽黒町	株式会社山形銀行 鶴岡信用金庫	11.00	H22.3	{H22.4.1～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	5	14	3	植樹、下刈	鶴岡市	実践
8	H21	かねやま絆の森	金山町	富士タイムスB1山形株式会社	4.38	H22.3	{H22.4.1～R5.3.31} R5.4.1～R8.3.31	3	14	5	植樹、下刈、枝 打ち、環境学習	有限会社三葉クラフト 金山町	実践
9	H22	南陽「草木の森」	南陽市	国土防災技術株式会社	75.85	H22.7	{H22.7.6～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	5	14	3	植樹、下刈、枝 打ち、環境学習	公益財団法人 やまがた 森林と緑の推進機構	実践
10	H22	やまぎん蔵王 園定公園の森	山形市 上山市 他 12市町村	株式会社山形銀行	511.20	H22.9	{H22.9.7～R4.3.31} R4.4.1～R13.3.31	9	14	3	間伐	公益財団法人 やまがた 森林と緑の推進機構	費用 負担
11	H22	Nソフト・こもれびの郷	南陽市	NDソフトウェア株式会社	3.00	H23.2	{H23.2.8～R3.3.31} R3.4.1～R8.3.31	5	13	3	植樹、間伐、下 刈、枝打ち	南陽市	実践
12	H22	おーばん等の森	尾花沢市	株式会社おーばん	10.00	H23.2	{H23.2.8～R3.3.31} R3.4.1～R8.3.31	5	13	3	植樹、下刈、枝 打ち森林環境学 習	尾花沢市第1財産区	実践
13	H22	山形県トラックの森	山辺町	公益財団法人 山形県トラック協会	2.67	H23.2	{H23.2.8～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	5	13	3	植栽、刈払い等	尾谷地区23名共有地	実践
14	H23	神の囀る森はぐろ	鶴岡市 羽黒町	一般財団法人田川建設会 館	60.07	H24.2	{H24.2.8～R4.3.31} R4.4.1～R8.3.31	4	12	3	間伐、枝打ち、 刈り払い	手向生産森林組合 鶴岡市	実践
15	H23	にしかわ絆の森	西川町	日東ベスト株式会社	1.70	H24.2	{H24.2.8～R4.3.31} R4.4.1～R9.3.31	5	12	3	植栽、下刈、道 歩道整備、地域 交流	沼山区 西川町	実践
16	H23	天童・不思議の森	天童市	株式会社湯の湯ホテル (東北バイオニア株式会社) 株式会社デンソーFA山形 株式会社 新東京ジオ・システム 株式会社天童木工	13.9	H24.2	{H24.2.8～R4.3.31} R4.4.1～R9.3.31	5	12	3	間伐、枝打ち、 下刈、キノコ鑑 賞、間伐材製品 製作	公益財団法人 やまがた 森林と緑の推進機構	実践
17	H24	朝日相扶絆の森 白鹿	白鹿町	株式会社朝日相扶製作所	4.10	H25.2	{H25.2.14～R3.3.31} R3.4.1～R8.3.31	5	11	3	下刈、除・間伐、 キノコ鑑賞、炭 焼き体験、森林 散策	白鹿町	実践
18	H25	みはらしの丘未来の森	山形市	岡崎医療株式会社	1.42	H26.3	{H26.3.27～R3.3.31} R3.4.1～R8.3.31	5	10	2	植栽、下刈、キ ノコ鑑賞	松原共有財産 維持管理組合	実践
19	H26	JA山形市の「のんきな殿さ ま」絆の森	山形市	山形市農業協同組合	15.26	H26.8	{H26.8.22～R6.3.31} R6.4.1～R11.3.31	5	10	3	下刈、進歩道整 備	山形市小自川財産区 (山形市) 小自川山形組合	実践
20	H26	企業界絆の森月山仁田山	西川町	山形県企業局	10.71	H26.9	{H26.9.30～R5.3.31} R5.4.1～R8.3.31	3	10	4	下刈、間伐	西川町 本蓮寺地区会	実践
21	H26	笑顔いっぱい ひがしね	東根市	アイジー工業株式会社	4.60	H27.3	{H27.3.8～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	5	9	2	下刈、枝打ち、 間伐、除伐	東根市栗根財産区 (栗根市)	実践
22	H27	もくロックの森	南陽市	株式会社 ニューテックシンセイ	5.90	H28.2	{H28.2.10～R3.3.31} R3.4.1～R8.3.31	5	8	2	下刈、施肥、森 林散策	南陽市	実践
23	H28	ステージアサンブル東北 北「まほろばの里絆の森」	高森町	株式会社 ステージアサンブル東北	3.60	H29.2	{H29.2.7～R5.3.31} R5.4.1～R8.3.31	3	7	3	植栽、下刈、散 策進歩道	高森町	実践
24	H28	R48しあわせ街道 学びの森	東根市	有限会社双神工業	4.20	H29.2	{H29.2.7～R4.3.31} R4.4.1～R9.3.31	5	7	2	植栽、除伐、下 刈、地域交流、 薪づくり、林道 の整備	一般財団法人 関山愛称公益金	実践

『やまがた絆の森協定』締結企業一覧

	設置 (事業) 年度	地区名 (名称)	所在地 (協定箇所)	企業名・団体名	協定 面積 (ha)	当初の 協定期間 年月	協定期間	協定 更新 年数 (年)	累計 協定 年数 (年)	協定 回数	内 容	森林所有者	認証 区分
25	H28	ハイブリッド基金の山形 トヨペットの森	山形市	株式会社山形トヨペット	0.25	H29.2	{H29.2.8～R4.3.31} R4.4.1～R9.3.31	5	7	2	植栽、下刈、森 林環境学習、地 域交流	山形市	実践
26	H28	モンテディオ山形 未来の森	天童市	株式会社モンテディオ山形	2.00	H29.2	{H29.2.17～R5.3.31} R5.4.1～R8.3.31	3	7	3	植栽、下刈、森 林環境学習、地 域交流	天童市	実践
27	H28	ニッサンの森 【Asahi】	朝日町	山形日産自動車株式会社 日産プリンス山形販売株式 会社	4.60	H29.3	{H29.3.27～R4.3.31} R4.4.1～R8.3.31	5	7	2	苗木づくり、植 栽、下刈、森林 環境学習、地域 交流	朝日町	実践
28	H28	ニッサンの森 【朝日白倉】	朝日町	山形日産自動車株式会社 日産プリンス山形販売株式 会社	87.00	H29.3	{H29.3.27～R7.3.31} R7.4.1～R11.3.31	4	7	2	間伐 5年間で 606CO ₂ -1の森 林吸収量を目指す	公益財団法人 やまがた 森林と緑の推進機構	費用 負担
29	H30	あいおいニッセイ同和損 害の森【西川沼山】	西川町	あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社	1.00	H31.2	{H31.2.14～R6.3.31} R6.4.1～R10.3.31	5	5	2	苗木づくり、植 栽、下刈	西川町 沼山区	実践
30	H30	あいおいニッセイ同和損 害の森【西川鎌倉】	西川町	あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社	33.50	H31.2	{H31.2.14～R7.3.31} R7.4.1～R10.3.31	3	5	2	間伐	公益財団法人 やまがた 森林と緑の推進機構	費用 負担
31	R3	PELLET WATARAI エネルギーの森	鶴岡市	株式会社鎌倉電気土木	50.00	R3.7	R3.7.13～R8.3.31	5	3	1	間伐 5年間で50haの 間伐間伐	公益財団法人 やまがた 森林と緑の推進機構	費用 負担
32	R3	エルデックの森	酒田市 庄内町	株式会社エルデック	50.00	R3.7	{R3.7.13～R7.3.31} R7.4.1～R12.3.31	4	3	1	間伐 4年間で50haの 間伐間伐	公益財団法人 やまがた 森林と緑の推進機構	費用 負担
33	R3	花玉の森 おおはま	酒田市	花玉株式会社酒田工場	3.39	R3.7	{R3.7.13～R8.3.31} R8.4.1～R10.3.31	3	3	2	歩道整備、下刈 り、枝打ち、つる 切り、森林環境 学習	酒田市 山形県(港湾事務所)	実践
34	R4	リコージャパン なないろの森	山形市	リコージャパン株式会社 山形支社	4.55	R4.8	R4.8.1～R9.3.31	5	2	1	下刈り・植栽・ 歩道整備・森林 レクリエーション	門佐生産森林組合	実践
35	R4	棒山ほんわかのもり	米沢市	株式会社SUMCO 米沢工場	5.80	R5.2	R5.2.7～R10.3.31	5	1	1	下刈り・間伐等 植栽木施肥	地縁団体棒山区会	実践
36	R5	でん六 幸せの森	上山市	株式会社でん六	1.25	R6.2	R6.2.13～R11.3.31	5	0	1	下刈り・間伐・植 栽・社内イベン トの開催等	小倉生産森林組合	実践
37	R6	ミドリオートレジャー やまがた絆の森	山形市	ミドリオートレジャー株式会社	0.40	R6.11	R6.11.29～R12.3.31	6	0	1	下刈り・刈り払 い・不要木除 伐・植樹	山形市	実践
38	R6	エコフォレスト八谷の森	米沢市	エコマネジメント株式会社	35.93	R7.2	R7.2.13～R12.3.31	5	0	1	間伐 5年間で35.93ha の間伐間伐	一般財団法人 田沢自衛会	費用 負担
39	R7	くのり協同和東の森	米沢市	置陽建設株式会社	0.50	R7.8	R7.8.26～R12.3.31	5	0	1	下刈り・刈り払 い・森林環境学 習・進歩道整備 等	学校法人九皇学園	実践
40	R7	ヤマト運輸の森	山形市	ヤマト運輸株式会社山形主 管支店	0.60	R8.1	R8.1.7～R13.3.31	5	0	1	下刈り・つる切・ 歩道整備・森林 環境学習	山形市	実践
計		40地区		42社(団体)	1,125.44						地区・企業等数の内訳 ・費用負担型 6地区 7社(団体) ・実践型 34地区 39社(団体) ※実践型と費用負担型の企業等は重複があるため、企業等数 は並べとなっている。		

※ 1、2については、当初は従来の企業の森で協定を締結しているが、県との協定であり、活動内容が絆の森づくりの趣旨に合致しているため、やまがた絆の森として扱っている。
協定期間及び協定年数のカッコ内の数字は、過去の協定の累計期間及び年数を示す。

番号	企業等名称	整備箇所・名称等	森づくり内容	整備面積 (単位:ha)	森林吸収量 t-co ₂ /年
1	新庄信用金庫	しんきん結の森・ぐるっと花笠の森【新庄】	下刈	0.03	0.21
2	株式会社山形銀行	しんきん結の森・ぐるっと花笠の森【新庄】	下刈	0.03	0.21
3	株式会社荘内銀行	荘銀かねやま絆の森	下刈り、枝打ち	0.30	3.11
4	富士フイルムBI山形株式会社	かねやま絆の森	下刈り、枝打ち	0.30	4.83
5	株式会社山形銀行	ぐるっと花笠の森【山形】	下刈	0.14	0.87
6	山形信用金庫	ぐるっと花笠の森【山形】	下刈	0.14	0.87
7	株式会社山形銀行	ぐるっと花笠の森【米沢】	下刈	0.07	0.33
8	米沢信用金庫	ぐるっと花笠の森【米沢】	下刈	0.07	0.33
9	国土防災技術株式会社山形支店	南陽・「草木の森」	下刈・クズ処理	0.36	2.00
10	株式会社山形銀行	やまぎん蔵王国定公園の森	間伐	29.37	216.83
11	公益社団法人山形県トラック協会	山形県トラックの森	下刈、獣害防止 薬剤散布	0.78	4.81
12	日本たばこ産業株式会社山形支社	JTの森鶴岡	植栽、下刈、つる 切り	0.84	2.82
13	株式会社ウンノハウス	ウンノハウス企業の森	下刈、枝打ち、除 伐	0.56	3.91
14	一般財団法人田川建設会館	神の宿る森はぐろ	下刈	0.84	6.76
15	岡崎医療株式会社	みはらしの丘未来の森	下刈、補植	0.64	2.79
16	アイジー工業株式会社	笑顔いっぱい森 ひがしね	下刈	0.12	0.51
17	株式会社ニューテックシンセイ	もくロックの森	下刈	1.04	4.37
18	有限会社双伸工業	R48しあわせ街道学びの森	植栽、下刈	0.32	1.36
19	山形トヨベツ株式会社	ハイブリッド基金の山形トヨベツの森	下刈	0.06	0.30
20	山形日産自動車株式会社日産プリンス山形販売株式会社	ニッサンの森【Asahi】	下刈	0.04	0.07
21	山形日産自動車株式会社日産プリンス山形販売株式会社	ニッサンの森【朝日白倉】	間伐	11.41	80.33
22	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	あいおいニッセイ同和損保の森【西川沼山】	下刈	0.07	0.24
23	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	あいおいニッセイ同和損保の森【西川陸合】	間伐	9.55	78.37
24	株式会社渡会電気土木	PELETT WATARAI エネルギーの森	間伐	15.13	94.11
25	株式会社エルデック	エルデックの森	間伐	10.59	112.81
26	花王株式会社酒田工場	花王の森 おおはま	下刈、つる切り、 除伐	0.07	0.54
27	株式会社でん六	でん六 幸せの森	下刈	0.41	1.43
28	ミドリオートレザー株式会社	ミドリオートレザーやまがた絆の森	下刈、除伐	0.40	1.87
29	第一貨物株式会社	創生の森	下刈	1.35	8.89
30	三鷹市	白鷹町大字中山入嶽四2587-1他(5林班ハ ー7-1)	下刈、植栽	3.05	9.28
31	JX金属株式会社	JX金属・龍樹の森	下刈、施肥、植栽	2.28	9.83
32	吉野石膏株式会社	吉野石膏の森	下刈、除伐、植栽	1.29	5.48
33	エコマネジメント株式会社	エコフォレスト八谷の森	主伐、間伐	3.08	20.17
合計			33件	94,530	680,040

項 目	みどり豊かな森林環境づくりの推進	No	2-3
事業名	森づくりサポート体制推進事業		
事業費	12,407 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
1 目的	「やまがた緑環境税」を活用した県民参加による森づくり活動を推進するため、地域住民や市町村、企業による森づくり活動を総合的に支援する。 - 県内の森づくり活動を幅広く普及啓発し参加者の拡大を図る。		
2 事業概要と実績	○ 森づくりサポート体制推進事業（公益財団法人森林と緑の推進機構に業務委託） (1) 森づくり活動団体支援業務 ① 「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」実施団体への活動支援（15回） - 現地指導、活動内容の提案・アドバイス ② 森づくり指導者派遣（6回） - 指導者の派遣 (2) やまがた絆の森づくり活動支援業務 ① 企業の社会貢献（CSR）活動としての森づくり活動の支援（23回） - 現地指導、活動内容の提案・アドバイス ② 森づくり指導者派遣（7回） - 指導者の派遣 (3) 森づくり活動推進 ① 森づくり活動の推進 - 森づくり指導者研修会（森の案内人研修） 10/23 最上地域で開催 24名 - 森づくり活動安全研修会 村山 6/24 寒河江市で開催 8名 最上 5/19 舟形町で開催 6名 置賜 5/27 飯豊町で開催 5名 庄内 6/4 酒田市で開催 5名 - 森づくり発表会 11/20 開催 山形国際交流プラザ山形ビッグウイング（山形市） 79名 ② 森づくり活動に関する情報収集及び提供 （主にHPによる）活動情報、イベント情報、機材等情報 - 相談窓口の設置		
3 成果と課題	【成果】 - 森づくり活動を支援することで、活動の充実を図ることができた。 - 各種研修会の開催を通して、森づくり指導者の技術力向上と団体間のネットワーク化の推進に繋げることができた。 【課題】 - やまがた緑環境税を活用した森づくり活動について様々な方法で周知を図り、新たな参加者の確保を目指す。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度森づくりサポート体制推進事業の取組事例】

森づくりサポート体制推進事業

森づくり団体の活動支援



指導者派遣、安全指導、技術指導

やまがた絆の森づくりの推進



企業の森づくり活動支援

森づくり活動の推進



森づくり活動安全研修会



森づくり発表会 11/20

森づくり活動に関する情報発信



活動紹介パネル展示



やまがた森林と緑の推進機構 HP

項 目	みどり豊かな森林環境づくりの推進	No	2-4
事業名	生物多様性戦略推進事業		
事業費	6,274 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
1 目的	森林生態系を始めとする自然環境について、総合的なモニタリング調査を実施して、早期に異変等を把握し、必要に応じて保全対策を実施し、「多様な生態系を育む、みどり豊かな山形」を未来に継承していく。また、調査結果等を蓄積するとともに、広く県民に情報提供を行い、生物多様性の保全と持続可能な活用に向けた意識の醸成や普及啓発を実施する。		
2 事業概要と実績	(1) レッドデータブック改訂事業 - レッドデータブック改訂のための希少野生植物の分布調査を実施。 (フロラ山形 村山地域及び最上地域の一部) (2) 自然生態系保全モニタリング調査 - 森林を取り巻く自然環境の異変等を早期に察知するため、動植物の生育・生息動向などの自然環境の変化の継続的なモニタリングを実施。 (環境科学研究センター 県内5箇所) (3) ブナ・ナラ豊凶調査 - 動物の生息動向に大きな影響を与えるブナ等堅果類の豊凶について調査を実施。 (環境科学研究センター 県内約30箇所) - クマの被害防止のため、ブナ・ナラ豊凶調査では、調査結果を県HP等で公表し、広く県民に周知を図るとともに、秋の注意喚起通知等に活用。 (4) 自然環境モニタリング総合検討委員会の開催 - 自然環境モニタリング調査の方法の検討や結果の分析、対策の検討を実施。 (5) 希少野生植物の植生調査 - ニホンジカによる県内の希少野生植物の食害が懸念されるため、モニタリング調査を実施。(山形大学理学部 県内5箇所)		
3 成果と課題	- レッドデータブック改訂のための希少野生植物情報の収集ができた。自然生態系保全モニタリング調査との共有により、情報の充実や10年ごとの更新でなく1年度ごとの更新ができないかなど、引き続き検討している。 - 自然生態系保全モニタリング調査により、以前に確認された希少種が概ね今回も確認でき、大きな環境変化は見られなかった。調査結果は今後、生態系の保全対策に活用していく。 - 自然環境モニタリング総合検討委員会では、専門家から有効な助言が提供されている。1年間の調査内容についての助言であるため3月に開催される。そのため、内容の反映に時間がかかる場合がある。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度 生物多様性戦略推進事業の取組事例】

希少野生植物分布調査

(レッドデータブックやまがた改訂のための植物調査)

ハコネシダ (県CR)



イワヒバ (県VU)



自然生態系保全モニタリング調査

(特定の場所における動植物の総合的なモニタリング)

イワヒバリ (県VU)



ブナ・ナラ豊凶調査

【県内30箇所】



ブナ実生(調査は花芽や種子数を計測)



作業風景(種子の回収)

ブナ豊凶結果



HPで情報発信



自然環境モニタリング総合検討委員会



自然環境モニタリング調査の手法や実施箇所等の見直しについて検討を行う。

項 目	みどり豊かな森林環境づくりの推進	No	2-5
事業名	野生鳥獣保護事業		
事業費	2,347 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
1 目的	人と自然が共生する森づくりの一環として、森林生態系を支える多様な野生鳥獣の保護のため、傷病等で救護又は捕獲された大型鳥獣の治療訓練、移送、放鳥獣等を行う。		
2 事業概要と実績	野生鳥獣の専門家（獣医師等）を擁する事業所に委託し、傷病等で救護又は捕獲された野生鳥獣の放野等を実施。 - 県内各地で救護又は捕獲された野生鳥獣に対し、必要に応じて現場で治療を行い、地域住民等の協力を得て、安全な奥山等へ移送し放鳥獣を実施。 - 県内の野鳥救護所及び野生鳥獣類救護所で救護され、状態が落ち着いた野生鳥獣を救護所から引き受け、必要に応じて総合的な治療訓練を行い、安全な奥山等へ移送し放鳥獣を実施。		
○ 令和7年度実績	- 通報を受けて、現地確認し、治療等を行い、放鳥獣を実施。 放獣 21 件（ツキノワグマ 8 件、カモシカ 12 件、ニホンザル 1 件） - 市街地に出没したツキノワグマの緊急対応を実施。 （有）ワイルドライフ・ワークショップ、個人の獣医師に委託し実施		
	処理後放獣	救護所へ移送	現場確認（治療）
巡回			死亡※
通報	21		4
合計	21		4
			電話対応のみ
			3
			合計
			39

※麻酔銃で保定後、駆除されたもの（ツキノワグマ）も含む

3 成果と課題

【成果】

- 通報を受け現場で治療等を行うことにより、野生動物の保護に寄与した。

【課題・対応】

- 増加しているツキノワグマの市街地出没やイノシシ用のわなに錯誤捕獲された大型獣への対応等、各地域に人材を置くことが重要である。
- 今年度、麻酔銃の取扱者向けの研修を実施したことで本業務を担う人材が確保されたが、現場における関係者の連携など、引き続き、県内における野生鳥獣の救護業務を担う人材の育成を図る必要がある。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度 野生鳥獣保護事業取組事例】

救護又は捕獲された野生鳥獣の処置状況



R7.5.14 撮影

東根市の市街地に出没し負傷したニホンカモシカを救護・放獣



R7.9.27 撮影

麻酔により不動化された山形市で錯誤捕獲されたカモシカ

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3
事業名	3-1 やまがた木育推進事業 3-2 みどりの循環県民活動推進事業 3-3 山形の山魅力満点（マウンテン）プロジェクト事業 3-4-1 むらやま木育普及体制強化事業 3-4-2 もがみ遊学の森活動推進事業 3-4-3 おきたま源流の森づくり活動推進事業 3-4-4 出羽庄内公益の森づくり事業 3-5 やまがた森林ノミクス県民会議 3-6 やまがた緑環境税評価・検証委員会		
事業費	23,770 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
	3-1 やまがた木育推進事業 一人ひとりが森と共に生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こすことができる人づくりを目的として、人材の育成や教材の作成を行う。 3-2 みどりの循環県民活動推進事業 「緑の循環システム」体験メニューにより、森と暮らしのつながりを感じる取組みを進め、また、やまがた緑環境税に関する普及啓発を行う。 3-3 山形の山魅力満点（マウンテン）プロジェクト事業 オオシラビソの再生に向けた研究開発及び育苗圃場の維持管理等を行う。 3-4-1 むらやま木育普及体制強化事業 地域森林資源の有効利用と森林ノミクスの推進につなげるため、木に触れる体験を通じて地域材利用の意義や森林への理解を深めてもらう。 3-4-2 もがみ遊学の森活動推進事業 最上地域の豊かなみどりを守り育む意識を醸成するために、幅広い森づくり活動を実施できる人材を市町村と連携して育成する。 3-4-3 おきたま源流の森づくり活動推進事業 源流の森の来場者による森づくりなど体験活動の支援を行う人材を養成。また、企業や県民が参加できる森づくり活動フィールドの環境を整備する。 3-4-4 出羽庄内公益の森づくり事業 海岸林など庄内地域の森林を健全な状態で次世代に引継いでいくことを目的に、多様な主体の協働による森づくり活動を推進する。 3-5 やまがた森林ノミクス県民会議 やまがた森林ノミクスをより加速化させていくため、やまがた緑環境税や森林環境贈与税の効率的な活用等も含めた幅広い視点で意見交換等を行う。 3-6 やまがた緑環境税評価・検証委員会 やまがた緑環境税を活用する施策を適正かつ効果的に進めるため、「やまがた緑環境税評価・検証委員会」を開催。また、令和8年度の見直しに向けた評価・検証を令和7・8年度の2年で行う。		

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-1
事業名	やまがた木育推進事業		
事業費	5,855 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
	1 目的 県民ひとり一人が森とともに生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こすことができる人づくりを目的として「やまがた木育」に取組み、県民の豊かなみどりを守り育む意識を醸成する。 2 事業概要と実績 (1) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進 やまがた木育推進委員会や教育関係者の意見を参考に年齢に応じた教材の提供 ① 小学校低学年向け（配布先：各総合支庁等） ・「ブナのしずくストラップ素材」500 個 ・「スギストラップ素材」500 個 ② 小学校高学年向け ・副教材「やまがたの森林」10,000 部（配布先：県内全ての小学5年生） ・ポケット版教材「森のたんけん手帳」5,000 部 （配布先：県内小学校、森づくり活動団体等） (2) 県民みんなでやまがた木育の推進 やまがた木育の指導者を養成するやまがた木育人材養成講座の開催 【スタートアップ】一般希望者対象（7月17日、28日開催参加者25名） 【スキルアップ】スタートアップ修了者対象 （10月30日、11月6日開催参加者15名） 【ハイバースキルアップ】スキルアップ修了者対象 （2月19日、26日開催参加者8名） (3) 県民の森の木育拠点施設としての機能充実 4地域の県民の森の学習展示館等に木質化スペースや木製遊具等を導入 3 成果と課題 【成果】 (1) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進 ① 小学校低学年向けとして、県内各地の図書館やイベント等でブナやスギのストラップを活用した「やまがた木育」の実践により、子どもが木に触れ、木で創る体験機会を提供することができた。 ② 小学校5年生の森林に関する授業内容の補足として、山形県の森林に特化した内容の副教材「やまがたの森林」を配布し、身近な森林に関する学習を深めることができた。「森のたんけん手帳」は県内小学校等からの要望に応じて配布し、総合的な学習の時間等に活用され、子供の森林への興味を醸成することができた。 (2) 県民みんなでやまがた木育の推進 スタートアップ研修により、参加者に「やまがた木育」の考え方や取組みを広めることができた。また、スキルアップ、ハイバースキルアップ研修受講者は、今後のやまがた木育を支える人材として必要な知識と経験を得ることができた。 (3) 県民の森の木育拠点施設としての機能充実 各施設で木質化スペースの整備や木製遊具、木工機材等の導入を進めた。 【課題】 やまがた木育の更なる展開のため、教育現場や子育て支援施設等との連携や木育拠点施設の強化、指導者の継続的な育成が必要である		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

やまがた木育人材養成講座の開催

【スタートアップ】令和7年7月17日（木）最上会場 7月28日（月）置賜会場



やまがた木育の理念や目的
について説明

小班に分かれ意見交換
（ブナのしずくストラップ制作）

【スキルアップ】令和7年10月30日（木）庄内会場 令和7年11月6日（木）村山会場
スキルアップ講座を修了した講師による地域に合わせた森林散策と木エクラフト研修



森に入る前の注意点について学ぶ



森林散策にて
木エクラフトで使うスギについて学ぶ参加者



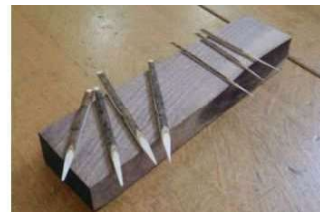
修了証の授与



講座修了者、講師との集合写真



スギのお香（庄内会場）



クロモジの爪楊枝（村山会場）

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

教材の提供

○ブナのしずくストラップ（小学校低学年向け）



ヤスリで仕上げる

○副教材・ガイドブック、森のたんけん手帳（小学校高学年向け）



県民の森の木育拠点施設としての機能充実



源流の森（飯豊町）
フローリング貼り



遊学の森（金山町）
木もれび館木育玩具の設置



幼児、児童やその保護者が、木材に触れられる木質化スペースを整備

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-2
事業名	みどりの循環県民活動推進事業		
事業費	14,383 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
1 目的	(1) みどりの循環県民活動の推進 植樹や木製品の利用など「森を守り、育て、暮らしに活かす緑の循環システム」を体験できるメニューにより、森と暮らしのつながりを感じる取組を年間通して進めていく。 (2) やまがた緑環境税の普及啓発 やまがた緑環境税に関する普及啓発を実施する。		
2 事業概要と実績	(1) みどりの循環県民活動の推進 6/7 やまがた森の感謝祭 2025（新庄市） 410 名 - 地区感謝祭の開催 - 村山 10/2 西川小学校（西川町） 活動人数 90 名 - 置賜 9/27 飯豊少年自然の家（飯豊町） 活動人数 184 名 - 庄内 10/18, 19 小真木原公園（鶴岡市） 活動人数 653 名 11/3 八幡体育館（酒田市） 活動人数 94 名 - やまがた木育プログラム体験会開催 19 箇所 活動人数 800 名 - 森づくりリレーの実施（6～3月） (2) やまがた緑環境税の普及啓発 - 新聞広告（山形新聞 5/4, 7/26, 9/27, 10/24, 11/30 5回掲載） - 東北芸術工科大学とのプロモーション事業実施（グラフィックデザイン学科学生によるキャンペーンロゴのデザイン、企画構想学科の学生による動画制作・SNSへの投稿） - Instagramによる動画広告（11月中旬～1月末） - Instagram、Facebookによる情報発信 - 普及啓発物品の活用 「森林やまがた特集号」を活用した広報・周知（3月発行 5,000 部） - やまがた環境展（10/18, 19）、林業まつり（10/18, 19）などのイベントや図書館などの公共施設や子育て支援施設でのパネル展示 7 箇所 - 広報誌「もりしあ」（B5判）夏号（8月）20,000 部、春号（3月）18,000 部発行 設置先は、公共施設や金融機関、ショッピングセンターなど。		
3 成果と課題	【成果】 (1) 森と暮らしのつながりを感じる体験イベントを開催して、県民の方々に参加していただき、森づくりの大切さを実感してもらえた。 (2) 広報誌「もりしあ」を発行し、やまがた緑環境税の趣旨や森づくり活動などを紹介することで、県民に対して広く普及啓発することができた。 (3) SNSを活用し広告を掲載することで、認知度の低い若年層へやまがた緑環境税の名前や趣旨を普及啓発することができた。 (4) 大学生と連携して事業を実施したことで、若年層へも普及啓発することができた 【課題・対応】 集客が見込めるイベント等と連携しながらやまがた木育プログラム体験会などのワークショップ、パネル展を組合せるとともに、様々な広報媒体（新聞、インターネット広告など）を活用することで、やまがた緑環境税の周知を図る。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度みどりの循環県民活動推進事業の取組み事例】

みどりの循環県民活動推進事業

やまがた森の感謝祭 2025（新庄市）



コナラの苗を植樹



副知事と新庄市内小学校の皆さんの森づくり宣言

やまがた木育プログラム体験会

子育て支援施設のほかにイベント等で開催



スギのペン立てづくり



スギのストラップづくり

やまがた緑環境税の普及啓発

新聞広告による普及啓発

5月4日みどりの日を皮切りに5回の広告を山形新聞に掲載



やまがた緑環境税を活用した取組み 【令和7年度みどりの循環県民活動推進事業の取組み事例】

やまがた緑環境税の普及啓発

東北芸術工科大学3年生とプロモーション事業を実施

若年層の認知度向上のため、東北芸術工科大学のグラフィックデザイン学科と企画構想学科の学生とプロモーション事業を実施。グラフィックデザイン学科の学生は、親しみを感じられるキャンペーンロゴをデザイン。企画構想学科の学生は「森林を守らないと私たちの生活はどうか？」をメインテーマとして動画を制作し、SNS（Instagram）で発信。



キャンペーンロゴ

広報誌による普及啓発

森と人をつなぐ情報誌「もりしあ」の発行



Vol. 27



Vol. 28

体験イベントの開催とパネル展示

森林に普段触れる機会の少ない市街地にお住まいの方を対象に、森林のはたらきややまがた緑環境税の意義について知ってもらうイベントを開催。



県立図書館



イオンモール山形南



モンテディオ山形ホームゲーム



環境展



やまぎん県民ホール



各総合支庁

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-3
事業名	山形の山魅力満点（マウンテン）プロジェクト事業		
事業費	1,190 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
1 目的	山形の観光のシンボル、蔵王の樹氷については、もととなるオオシラビソ（アオモリトドマツ）の枯死により、その景観が失われることが懸念されている。オオシラビソ林は自然再生が見込めないため、人為的な再生に向け、試験研究及び育苗等の取組みを行う。		
2 事業概要と実績	- 県森林研究研修センターによる、オオシラビソ林再生に向けた試験研究。 - 樹氷復活県民会議による、蔵王温泉スキー場ユートピアゲレンデ近隣に設置した圃場での種からの育苗。 - 子どもたちや樹氷復活サポーターによる稚樹移植体験。 ○ 令和7年度実績 - 県森林研究研修センターが、試験地においてオオシラビソの育苗や播種等の試験研究を行った。 - 樹氷復活県民会議が、圃場に播種を行い、育苗を行った。 - 樹氷復活県民会議が、樹氷復活サポーター企業・団体を対象に親子参加の自生稚樹移植体験を実施した。		
3 成果と課題	【成果】 - 試験研究については、オオシラビソ林再生に向けた技術的知見の蓄積が行われた。 - 育苗については、圃場に播いたオオシラビソの種2,400粒から、約500本の稚樹が育っている。令和5年度から育苗している稚樹約90本は、高さ13cmほどに成長している。 8月に実施した移植体験では14本の自生稚樹を地蔵岳山頂付近の試験地に移植した。 【課題】 - オオシラビソ林の再生は全国的に例がないため、引き続き試験研究を行い、技術的知見の蓄積を行っていく必要がある。 - オオシラビソの育苗は試験研究で蓄積された技術的知見を踏まえて行う必要がある。 - 今夏の猛暑・少雨により多くの苗が枯れてしまったことから、暑さ対策が必要である。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度山形の山魅力満点（マウンテン）プロジェクト事業取組事例】

○オオシラビソ林再生に向けた試験研究



○オオシラビソの育苗



(播種作業 R7.6)

○樹氷復活サポーターによる稚樹移植



(高梨沙羅選手)



(R5年度からの苗)



(移植作業 R7.8)

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-4-1
事業名	むらやま木育普及体制強化事業		
事業費	294 千円	担 当	村山総合支庁 森林整備課
1 目的	身近に木に触れる体験を通じて、素材としての木の良さや木を使うことの大切さを伝えることにより、県民に地域材利用の意義や森林への理解を深めてもらい「県民参加の森づくり」の機運を高めるとともに、充実してきた地域森林資源の有効利用と森林ノミクスの推進につなげていく。		
2 事業概要と実績	木の良さを感じ、木を使うことの大切さを学ぶ木育プログラムの普及を実施。		
(1) 木育プログラムの拡充	大人を対象とした新たな木育プログラムを開発し試作検討研修会を実施。		
○ 令和7年度実績	新規メニュー 木の家づくり（試作）		
(2) 木育インストラクターの育成と技術向上	木育インストラクターに対し、新たに開発した大人を対象とした木育プログラムの習得や技術指導、展開方法に関する研修会を実施。		
○ 令和7年度実績	11/18 むらやま木育新規プログラム試作検討研修会（参加7名） 新規メニューの「木の家づくり」について、木育インストラクターとともに試作を行い、今後の展開や普及方法等の研修会を実施。		
(3) 県民の森における木育の普及	木育拠点施設である県民の森において「フィールド活動」と「木材とのふれあい」による木育を同時に展開するため、森の案内人が木育の指導を行えるよう養成講座を実施。		
○ 令和7年度実績	9/13～14 森の案内人養成講座（参加10名、うち登録者8名） 県民の森の利用者へ案内や体験活動等を支援する森の案内人養成講座において、木育の説明と木育プログラムの体験活動を実施。		
3 成果と課題	【成果】 木育拠点施設である県民の森で、木育インストラクターへ大人を対象とした新規木育プログラム「木の家づくり」の試作検討研修会を実施した。カンナやノコギリを使って材料作製から体験することで技術の向上が図られた。また、今後の展開方法について積極的な意見等があり、有意義な研修会となった。 【課題・対応】 新たな木育プログラム開発を進めながら、今後は企業や木造公共施設等で体験会を開催し普及啓発を図りたい。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度むらやま木育普及体制強化事業の取組事例】

大人を対象とした木育プログラムの開発及び木育インストラクターの育成、森の案内人養成講座の開催

1 木育プログラムの拡充

大人を対象とした新規プログラム開発試作（木の家づくり）



2 木育インストラクターの育成と技術向上

むらやま木育新規プログラム試作検討研修会の実施状況



3 県民の森の案内人養成講座

養成講座の実施状況



項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-4-2
事業名	もがみ遊学の森活動推進事業		
事業費	319 千円	担 当	最上総合支庁 森林整備課
1 目的	最上地域の豊かなみどりを守り育む意識を醸成するために、森を守り、育て、暮らしに活かす、幅広い森づくり活動を実施できる人材を育成する。また、森林に触れる機会の少ない中学生以上の若者に対し、森林に関心を持つきっかけとなる体験会を開催する。		
2 事業概要と実績	(1) 「養成講座」の開催 ○ 令和7年度実績 ・ 遊学の森の活動を支える森づくりリーダーを育成するため、森づくり活動や自然環境教育等の指導者として必要な知識と技術を取得するための養成講座を開催。 場 所：山形県遊学の森(金山町) 受講者：春の講座 5月17日開催 13名参加 受講者：夏の講座 6月15日開催 18名参加 受講者：秋の講座 11月3日開催 16名参加 受講者：冬の講座 2月28日開催 19名参加 ※参加者66名のうち、8名が案内人登録 (2) 若者を対象とした森林・林業体験会の開催 ○ 令和7年度実績 ・ 森づくり活動等にふれあう機会の少ない中学生以上の若者を対象に、集成材工場の見学やブナ材を使ったストラップづくりによる木育体験会を開催。 場 所：協和木材株式会社新庄工場及び東北農林専門職大学 参加者：7月28日開催 9名参加		
3 成果と課題	【成果】 (1) 「養成講座」の開催 ・ 森づくりリーダー（森の案内人）として、必要な基礎的知識や技術を得得することができた。 (2) 若者を対象とした森林・林業体験会の開催 ・ 体験会を通じて、森林・林業に関心を持ってもらうきっかけづくりができた。 【課題・対応】 (1) 「養成講座」の開催 ・ 森づくりリーダー（森の案内人）の高齢化等で、活動のできる指導者が減ってきていることから、継続して講座を開催し、森づくりリーダーを増やしていく。 (2) 若者を対象とした森林・林業体験会の開催 ・ 将来の森林・林業の担い手確保に向けて、多くの若者に参加してもらうために、東北農林専門職大学や最上地域の高校、林業事業体等の産学連携により、継続して体験会を開催する。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度もがみ遊学の森活動推進事業の取組事例】

(1)「養成講座」の開催

【春の講座】



～もがみの山菜講座～

【夏の講座】



～樹木講座～

【秋の講座】



～ブナの森自然講座～

【冬の講座】



～冬の森講座～

(2) 若者を対象とした森林・林業体験会の開催



～集成材工場の見学～



～ブナのストラップづくり～

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-4-3
事業名	おきたま源流の森づくり活動推進事業		
事業費	279 千円	担 当	置賜総合支庁 森林整備課
1 目的	- 源流の森の来場者による森づくりなど体験活動の支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）の養成 - 源流の森で、企業、団体及び県民が森づくり活動に気軽に参加できるよう、活動フィールドの環境整備・体験活動の実施		
2 事業概要と実績	源流の森の新たな森づくり活動推進事業 (1) 源流の森「森の案内人」養成講座 - 令和7年度実績 開催日：5月31日（春の講座 17名）、11月1日（秋の講座 8名）（参加者25名のうち1名が案内人登録） 場所：山形県源流の森（飯豊町） 対象者：森づくり活動等に興味がある方 (2) 源流の森「森の案内人」の能力向上講座の開催 - 令和7年度実績 開催日：11月22日 参加者15名 場所：山形県源流の森（飯豊町） 対象者：源流の森インタープリター（森の案内人） (3) 森づくり体験プログラムの実施 - 令和7年度実績 「おきたまの森」ホームキャンプ 開催日：10月12日 参加者 親子等9組 場所：山形県源流の森（飯豊町） 「森の文化祭」イベントにおいて実施 対象者：「森の文化祭」参加者 「使う」「植える」「育てる」の森林資源の循環利用を体験できるプログラムを実施した。参加者は、来秋、育てた苗木を源流の森地内で植樹する予定。 - 森づくり体験フィールドの整備 場所 山形県源流の森内旧イオンの森 下刈り 0.55ha		
3 成果と課題	【成果】 - 源流の森インタープリターの森林案内等のスキルアップを行うことで、源流の森が提供するサービスの質の向上に資することができた。 - 森と接する機会が普段あまりない県民の方々に、森林資源の循環利用を考えるきっかけづくりができた。 - 森づくり体験フィールドの整備が進んだ。 【課題】 - 県民のニーズに合わせた「森の案内人」養成講座の講座内容の検討 - 源流の森の活用及び新規インタープリター獲得に向けてPRの推進 - 森林・自然学習及び森づくり活動への更なるサポート体制の充実 - 県民が気軽に、継続的に森づくり活動に参加出来るフィールド整備・体制づくり - やまがた絆の森協定後の森づくりや企業の森づくり活動等への誘導		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度おきたま源流の森づくり活動推進事業の取組事例】

森の案内人養成講座

源流の森



養成講座 「春の源流の森を巡る森林観察」

源流の森で森づくりなど体験活動を支援する人材（源流の森「森の案内人」）を養成するため、一般県民を対象とした養成講座（5月31日、11月1日）を開催した。

一方、源流の森「森の案内人」を対象として、多様化する利用者のニーズに対応するためにスキルアップを図った能力向上講座（11月22日）では、野外活動時の安全管理等について研修を行った。

「おきたまの森」ホームキャンプ

源流の森



ドングリのポット苗づくり

置賜地域産スギ材を使用した苗木育成ポットにドングリを植えて持ち帰ってもらい、次年度以降森づくり体験として現地に植栽してもらう。

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-4-4
事業名	出羽庄内公益の森づくり事業		
事業費	409 千円	担 当	庄内総合支庁 森林整備課
1 目的	先人が公益の精神に基づき築き上げてきた海岸林をはじめとする庄内地域の森林を、健全な状態で次世代に引き継いでいくため、多様な主体による協働の森づくり活動を促進し、地域一体となった保全体制を構築するもの。		
2 事業概要と実績	(1) 出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催 - 庄内海岸林を一体的かつ健全に保全するため、多様な主体間のネットワークを構築し、参加団体相互の意見・情報交換を実施。(年3回開催) - 開催日 第1回 7/28、第2回 11/17、第3回 2/27 - 参加団体 森林ボランティア団体5、林業関係団体2、教育機関3、国・県・市町等8(計18団体) (2) 森づくり活動の推進 - 県民参加の森づくり活動を推進するため、企業、ボランティア団体等を対象とした森づくり活動の開催や、森づくり活動実施者への支援を実施。(年18回実施) (3) 森林環境教育の支援 - 森林を守り育てる意識の醸成を図るため、小・中・高校生等を対象に、庄内海岸林の歴史や森林の働き等についての講義、現地での森林整備体験活動の指導を実施。(年40回実施) (4) 森づくり活動リーダー研修 - 地域住民等による森林整備活動において、現地で技術指導、安全管理等の指導的役割を担う人材の技術向上研修を実施。(年1回実施) - 研修内容：森づくり活動におけるクマとの向き合い方について 1/16 32名 (5) 森の案内人養成研修 - 森林環境教育支援者として幅広く活動し、森づくりの普及啓発を行う「森の案内人」の養成研修を実施。(年2回実施、森の案内人登録4名) - 研修内容：森林案内、木工クラフト(樹名板製作・設置) 7/13 5名 樹木講座、ネイチャーゲーム講座 8/31 7名 ※参加者12名のうち4名が案内人登録		
3 成果と課題	【成果】 - 出羽庄内公益の森づくりを考える会を開催し、庄内海岸林の現状や再生に向けた課題、今後の方向性等について関係者間で認識を共有した。 - 森づくり活動の開催や森林ボランティアへの支援、出前講座を通じた森林環境教育の実施により、地域住民の森林を守り育てる意識の醸成が図られた。 【課題】 - 森林ボランティア団体の高齢化が進んでおり、次世代を担う実践者の確保と育成が喫緊の課題となっている。このため、「森づくり活動リーダー研修」及び「森の案内人養成研修」を継続的に実施し、持続可能な活動体制を構築する。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度出羽庄内公益の森づくり事業の取組事例】

(1) 出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催

協働による海岸林の保全活動等に関する意見・情報交換【年3回開催(7/28、11/17、2/27)】

※11/17は現地視察も実施

参加団体 森林ボランティア団体、森林関係団体
境域機関、国、県、市町 計18団体



(2) 森づくり活動の推進

森づくり活動の企画・運営、実践者への現地指導等【年18回実施】



(3) 森林環境教育の支援

海岸林等に関する講義、森林整備体験活動の指導等【年40回実施】



(4) 森づくり活動リーダー研修の開催

現地で技術指導・安全管理等を行う人材の養成【年1回実施(1/16)】



(5) 森の案内人養成研修の開催

森づくり活動の普及啓発を行う環境教育支援者の養成【年2回実施(7/13、8/31)】



項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-5
事業名	やまがた森林ノミクス県民会議		
事業費	135 千円	担 当	農林水産部森林ノミクス推進課
1 目的 やまがた緑環境税や森林環境譲与税の効率的な活用等も含めて幅広い視点で総合的な意見交換、連携促進、情報共有を行い、やまがた森林ノミクスを一層加速化させていくことを目的として、やまがた森林ノミクス県民会議を開催。 2 事業概要と実績 やまがた森林ノミクス県民会議の開催 ○ 令和7年10月20日開催 ○ 内容 ① 取組状況の報告 ・ やまがた森林ノミクスの取組みについて ・ やまがた緑環境税の取組状況について ② 報告事項等に関する意見交換 3 成果と課題 【成果】 様々な立場の委員から幅広い視点での意見（森林に関する県民理解や事業評価の重要性等）をいただくなど、やまがた森林ノミクスややまがた緑環境税等の現状と課題について意見交換を行うことができた。 【課題・対応】 やまがた森林ノミクスの取組み等について、県民に対して広く知っていただく必要があり、今後も継続して SNS 等を活用した発信を行うとともに、県民会議を開催し、やまがた森林ノミクスの加速化に向けた意見交換を行い、県の施策や取組に反映させていく。			

やまがた緑環境税を活用した取組み
【令和7年度やまがた森林ノミクス県民会議の取組】

令和7年度やまがた森林ノミクス県民会議（山形県庁講堂 10月20日）



（吉村知事による挨拶）



（会議の様子）

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	No	3-6
事業名	やまがた緑環境税評価・検証委員会		
事業費	906 千円	担 当	環境エネルギー部 みどり自然課
1 目的	やまがた緑環境税を活用する施策を適正かつ効果的に進めるため、次の業務を担う外部委員の第三者機関として「やまがた森林ノミクス県民会議」の内部に「やまがた緑環境税評価・検証委員会」を設置する。 (1) 基金充当事業の効果についての評価、検証 (2) 施策等の制度・仕組みの点検、見直しに関する協議 (3) 県民参加の森づくりの普及啓発の推進 など また、国の森林環境譲与税の創設に伴う影響と課題の整理を行い、やまがた緑環境税制度全般の点検等を実施する。		
2 事業概要と実績	やまがた緑環境税評価・検証委員会の開催（3回開催） ○ 第1回：7月3日 - やまがた緑環境税関係の概要 - 令和6年度やまがた緑環境税活用事業の実績について - 令和7年度やまがた緑環境税活用事業の概要について - 県内における森林環境譲与税の取組状況について - やまがた緑環境税の評価・検証について ○ 第2回：9月3日 - やまがた緑環境税の評価・検証について ①平成29年度～令和6年度までのやまがた緑環境税活用事業の取組状況について ②評価・検証について - 森林整備事業等の現地視察（置賜地域） ○ 第3回：3月24日 - 令和7年度やまがた緑環境税活用事業の実施状況について - やまがた緑環境税基金の積立状況について - 令和8年度やまがた緑環境税活用事業の概要について - 令和8年度みどり豊かな森林環境づくり推進事業の審査結果について - やまがた緑環境税の評価・検証について ○ やまがた緑環境税の評価・検証のため、PT会議を2回とWG会議を5回（書面開催を含む）開催		
3 成果と課題	【成果】 - やまがた緑環境税評価・検証委員会による税事業の評価・検証により、透明性の高い事業執行がなされている。 【課題・対応】 - 引き続き、税事業に係る評価検証の内容の透明性を確保し、事業効果や目標の達成状況などについて、県民の理解向上を図っていく必要がある。 このため、ホームページ上で情報公開していくほか、税事業について多様な広報媒体を通じて情報発信していく。		

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度やまがた緑環境税評価・検証委員会の取組】

第1回やまがた緑環境税評価・検証委員会（7月3日）



第2回やまがた緑環境税評価・検証委員会（9月3日）



会議状況



現地視察（白鷹町）

第3回やまがた緑環境税評価・検証委員会（3月24日）



やまがた緑環境税を活用した森づくり活動等関連記事

【令和7年度山形新聞掲載】

県民みんなで支える森づくり



環境エネルギー部みどり自然課

新聞記事目次（R7.4月～R8.3月）

ページ	掲載年月日	タイトル	実施団体名等	事業名等
1	令和7年4月14日	薄紫色のかれんな姿 カタクリ開花 米沢・早坂山	早坂山あるき隊	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
2	令和7年4月17日	美しい古里を未来につなぐ	やまがた森林と緑の推進機構	その他
3	令和7年4月23日	酒田・光ヶ丘地区きれいに 市民がウォーキング楽しみごみ拾い	万里の松原に親しむ会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
4	令和7年4月27日	トントン原木なめこ植菌 西郷小児童 ほだ木に打ち込む	杉島里やまの会 村山市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
5	令和7年5月4日	J2モンテ ホーム戦に合わせ緑の募金活動展開 村山産業校生ら	やまがた森林と緑の推進機構 他	森づくりサポート体制推進事業
6	令和7年5月4日	森とみどりを未来につなごう わたしたちのやまがた緑環境税	山形県	みどりの循環県民活動推進事業
7	令和7年5月5日	生活守る身近なクロマツ 枝打ちや植林体験	鶴岡市立西郷小	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
8	令和7年5月8日	史跡、自然巡り活動充実 記者も古道散策 魅力実感 発信もつと	二井宿わくわくプロジェクト	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
9	令和7年5月13日	真剣 枝打ち体験 庄内・立川小児童	風車村エコランド実行委員会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
10	令和7年5月17日	チップかき分け宝探し 上山 木と触れ合うイベント	やまがた山の恵み研究会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
11	令和7年5月22日	森林の保全へ枝払いを体験 鶴岡でJTと市民	鶴岡市 日本たばこ産業(JT)	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
12	令和7年5月28日	地域の緑化のため県に苗木など贈る 山形トヨベント	山形トヨベント	みどりの循環県民活動推進事業
13	令和7年6月4日	舗道 ふるさと教育の森	村山市教育委員会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
14	令和7年6月6日	街かどアラカルト 能中峰を草刈り	田辺町 玉虫散策道能中峰を良くする会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
15	令和7年6月8日	コナラの苗木植える 新庄、森の感謝祭	山形県、新庄市	みどりの循環県民活動推進事業
16	令和7年6月8日	おいしく育て思い込め 農林業体験 シイタケ「駒打ち」楽しい 小国小5年生	小国町	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
17	令和7年6月10日	森の大切さ体験し実感 鶴岡・鼠ヶ関小児童	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
18	令和7年6月11日	きれいな開花願ひ 荒倉山に桜を植樹 鶴岡・上郷小6年生	荒合散策道愛護会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
19	令和7年6月13日	「ニッサンの森」で草刈り、落ち葉拾い 朝日・グループ社員ら	山形日産自動車((株) 日産プリンス山形販売((株)	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
20	令和7年6月13日	鶴岡「山五十川の玉杉」周辺で保護活動 草刈り、遊歩道整備に汗	山五十川玉杉保護会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
21	令和7年6月15日	アオモリドマツ植まき樹木再生へ 蔵王山で山形西RC	山形西ロータリークラブ	山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業
22	令和7年6月17日	アオモリドマツ 再生願う 樹木復活県民会議 蔵王山で植まき	樹木復活県民会議	山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業
23	令和7年6月17日	10周年 祝福の音色楽しむ シェルターなんようホール記念公演	南陽市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
24	令和7年6月17日	「教育の森」再生へ 住民ら草刈りに汗 白鷹・鮎貝小裏山	鮎貝松ヶ丘教育の森管理会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
25	令和7年6月24日	クロマツ林整備 住民らが汗流す 酒田・光ヶ丘地区	酒田市、庄内総合支庁	出羽庄内交差の森づくり事業
26	令和7年6月26日	散策楽しみ 知識深める 鶴岡・温海 小国城跡など学習会	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
27	令和7年6月30日	育てたブナ苗 高く伸びて 羽黒小5年生、市有地に植樹	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
28	令和7年7月2日	駆除した外来生物活用への試み学ぶ 鶴岡「里山学講座」	庄内自然博物館構想推進協議会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
29	令和7年7月4日	舗道	ねずがせき魚の森づくりの会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
30	令和7年7月7日	枝打ち体験 森の役割を学ぶ あつみ小5年生	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業

新聞記事目次（R7.4月～R8.3月）

ページ	掲載年月日	タイトル	実施団体名等	事業名等
31	令和7年7月7日	ヨモギニヤパーク 白い森づくり体験 循環利用 森の大切さ知る	小国町	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
32	令和7年7月16日	海のために森を作る 「緑の少年団」ら植樹や下草刈り	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
33	令和7年7月26日	やまがた絆の森づくりって知っていますか？ やまがた木育プログラム体験会を実施します！	山形県	みどりの循環県民活動推進事業
34	令和7年7月26日	触れて感じて「西山形」の魅力 地元有志、子供向け教室スタート	木育ひろば うっでいくらぶ もくもく	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
35	令和7年8月1日	木の風合い楽しみ 箸づくり 児童が体験	米沢市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
36	令和7年8月4日	くらしの疑問 相談亭	山形県	その他
37	令和7年8月8日	より良い地域社会に向けて連携を通したまちづくり	日本たばこ産業(JT)	やまがた絆の森づくり推進事業
38	令和7年8月19日	暗がりの中 いろんな生き物 鶴岡・夜の自然散策会	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
39	令和7年8月22日	クロマツ林保全へ 酒田市が協定結ぶ 東北エブソンと	酒田市 東北エブソン	その他
40	令和7年8月27日	舗道	東根市立高崎小学校	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
41	令和7年8月27日	置賜建設、九里学園 県と「絆の森協定」	置賜建設、九里学園、山形県	やまがた絆の森づくり推進事業
42	令和7年8月31日	樹木再生願ひ 稚樹移植 山形蔵王山 ジャンプ高梨選手も	樹木復活県民会議	山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業
43	令和7年9月2日	アイジー工業 55年目の加速 教育スポーツ、自然 多様な社会貢献	アイジー工業	やまがた絆の森づくり推進事業
44	令和7年9月20日	樹木再生へ種子採取	林野庁山形森林管理署、山形県	山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業
45	令和7年9月25日	「もっくる」の感謝祭	やまがた森林と緑の推進機構	森づくりサポート体制推進事業
46	令和7年9月27日	私たちは、遊歩道・散策道の整備や子供たちとの森林環境学習に取り組んでいます!!	山形県	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
47	令和7年10月6日	大きく育ちますように 森の感謝祭、児童が植樹	村山総合支庁	みどりの循環県民活動推進事業
48	令和7年10月18日	森林整備資金援助 4社に感謝状贈る 山形で推進機構	やまがた森林と緑の推進機構	やまがた絆の森づくり推進事業
49	令和7年10月19日	本年度の環境やまがた大賞 「鬼越の森プロジェクト」に スギ林間伐や古道復元	山形県	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
50	令和7年10月21日	森林/マクス 県内再造林率90% 昨年度人手不足で進まず	山形県	その他
51	令和7年10月21日	森林整備の予算確保 労働力育成など要望	やまがた森林と緑の推進機構、県森林組合連合会、県木材産業室同組合	その他
52	令和7年10月22日	「ニッサンの森」で環境保護	山形日産グループ	やまがた絆の森づくり推進事業
53	令和7年10月23日	体験や旬の特産物家族連れなど集う つるおか大産業まつり実行委員会	つるおか大産業まつり実行委員会	みどりの循環県民活動推進事業
54	令和7年10月24日	私たちは、間伐材を活用した活動や森林の環境整備と森林学習等を行っています！	山形県	みどりの循環県民活動推進事業
55	令和7年10月24日	付近で目撃情報 市植樹祭を中止 西蔵王公園	山形市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
56	令和7年10月27日	シイタケ植菌おおきくなれ 高島小4年生	高島町	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
57	令和7年11月1日	サンザシの実を児童たちと収穫 酒田、松原に親しむ会	万里の松原に親しむ会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
58	令和7年11月7日	紅葉眺め名所巡り 高島・大洞山 観音岩トレッキング	二井宿わくわくプロジェクト	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
59	令和7年11月9日	舗道	酒田市、庄内総合支庁	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
60	令和7年11月11日	園庭で遊ぶの楽しみ 長井めぐみ幼稚園 ビオトープなど整備	長井めぐみ幼稚園、やまがた森林と緑の推進機構	その他

新聞記事目次（R7.4月～R8.3月）

ページ	掲載年月日	タイトル	実施団体名等	事業名等
61	令和7年11月16日	日曜インタビュー 豊かな里山の風景を再び	鬼越の森再生プロジェクト	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
62	令和7年11月21日	蔵王の樹木どう守る？ 山形で「森づくり発表会」	山形県	森づくりサポート体制推進事業
63	令和7年11月30日	何度も挑戦できる場 提供	NPO法人 明日のたね	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
64	令和7年11月30日	やまがた緑環境税を財源に荒廃のおそれがある森林の整備等を行っています！	山形県	みどりの循環県民活動推進事業
65	令和7年12月3日	遡上サケの生態学びつづきみ取り 鶴岡市 あつみ小	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
66	令和7年12月23日	一人暮らし高齢者に弁当などプレゼント いこいの会	大石田町	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
67	令和8年1月8日	地域交流や活性化 県が「絆の森協定」 ヤマト運輸支店、山形市と	ヤマト運輸支店、山形市、山形県	やまがた絆の森づくり推進事業
68	令和8年1月22日	酒田の木材で家づくり 「夢ネット」が無料相談会	酒田市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
69	令和8年1月22日	やまがた緑の機構に整備費100万円を寄付 あいおいニッセイ損保	あいおいニッセイ同和損害保険	やまがた絆の森づくり推進事業
70	令和8年1月24日	ハクチョウの生態詳しく 鶴岡で講座 調査の手法を紹介	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
71	令和8年1月25日	日曜随想 故郷と自然に救われて	やまがたもりもりの森	その他
72	令和8年1月26日	国土緑化・育樹運動ポスター 小学校の部 佐藤さん(長井小1年)全国最高賞	国土緑化推進機構	その他
73	令和8年1月27日	地元木材の魅力やぬくもりに触れる 酒田・家づくり相談会	酒田市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
74	令和8年2月8日	木のぬくもり感じ作品作りに挑戦 ワークショップ	やまがた山の恵み研究会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
75	令和8年2月8日	【日曜随想】 己を剥き出しに向き合う	鬼越の森再生プロジェクト	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
76	令和8年2月8日	「やまがたいきいきライフ」 多世代交流地域に笑顔	仲山 常吉	その他
77	令和8年2月8日	木の温もり感じ作品作りに挑戦 ワークショップ	やまがた山の恵み研究会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
78	令和8年3月1日	日曜随想 おばあちゃん 私も作るよ	やまがたもりもりの森	その他
79	令和8年3月8日	「戻ってきてね」 あつみ小4年生 サケの稚魚放流	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
80	令和8年3月10日	自然や歴史テーマ調べた結果を紹介 鶴岡・ほとりあで発表会	鶴岡市	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
81	令和8年3月17日	万世人路継承 活動の道程評価 米沢 国交省「手づくり郷土賞」選定	歴史の道土木遺産萬世人路保存会	みどり豊かな森林環境づくり推進事業
82	令和8年3月28日	庄内海岸林再生へー丸 産官学民のプロジェクト会議 松くい虫被害状況や課題共有	庄内総合支庁	その他



山中でかれんに咲く薄紫色のカタクリ＝米沢市・早坂山

**薄紫色のかれんな姿
カタクリ 開花**

米沢市街地の南東部に位置する早坂山で春を告げるカタクリが咲き始め、薄紫色のかれんな姿を見せている。

やまがた緑環境税を活用して山道の整備や自然に触れるイベント開催などに取

米沢・早坂山

り組む「早坂山あるき隊」の樋渡敏彦隊長(70)によると、今年は例年より1週間以上、見頃が遅れている状況だが、山全体では4月下旬まで観察できる見通しという。

13日には同隊によるカタクリの観察会が現地で開かれ、約20人が参加。時折強い風に吹かれながらも、登山道脇に愛らしくたたずむカタクリを楽しんだ。他にも、フクジュソウやキクザキイチゲ、シヨウジョウバカマがまだ雪の残る山中に彩りを添えている。

(斎藤健太)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年4月14日 山形新聞

**美しい古里を
未来につなぐ**

山形「緑の募金」出発式

県内の緑化事業の推進に役立てる「緑の募金」運動の出発式が16日、山形市のやまぎん県民ホールで行われ、参加者が協力を呼びかけた。写真。

主催者である「やまがた森林と緑の推進機構」の今井敏雄理事長は、昨年度の募金額が1956万円に上ったとし、「次世代の子どものために、緑あふれる美しい古里を引き継いでいく」とあいさつ。キンダー

こども園(山形市)の年長児24人が「大好きな山形を豊かな緑ときれいな花でいつはいにしよう」とメッセージを披露した。

出発式後、参加者はJR山形駅の東西自由通路で街頭募金活動を行った。集め



た善意は森林づくりや森林環境教育に役立てられる。

(小田信博)

【その他】

令和7年4月17日 山形新聞

酒田・光ヶ丘地区きれいに
市民がウォーキング楽しみごみ拾い

酒田市の「山をきれいに」ウォーキングをしながら「ごみ」を拾う参加者
同市光ヶ丘地区周辺で行われ、参加者がウォーキングを楽しみながら、沿道のごみを拾い集めた。
同市が2000年度から



ごみを拾う「山をきれいに」する運動として万里の松原に親しむ会（浦武会長）と市衛生組織連合会と共に始め、ごみの減少に伴い05年度から現名称に変更。森林浴とウォーキングをセットにする中で森林保全や環境美化の意識高揚につながると実施している。改称してから21回目の今回は松陵・泉小学区の親子連れや、酒田一中、酒田光陵高

などの生徒、東北公益文科大学の学生、主催団体の関係者ら計約160人が参加した。

この日は気持ちの良い晴天となり、参加者は加藤緑葉光ヶ丘プールをスタートに松林の遊歩道を歩き、桜を眺めながら、約1時間にわたり沿道に落ちているお菓子の空き袋、空き缶、ペットボトルなどを拾い集めた。

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】
令和7年4月23日 山形新聞

トントン 原木ナメコ植菌
西郷小児童、ほだ木に打ち込む

村山市西郷小3、4年生28人が22日、同市西ため池近くの河島山で、原木ナメコを植菌する子どもたち＝村山市



で、原木ナメコを植菌した。河島山の保全に取り組む「杉島里やまの会」（高橋昭代表）が、子どもたちが自然に親しみ、山で遊んでもらおうと、県のみどり環境税交付金を活用して実施した。県村山総合支庁森林整備課職員がフリップを使いキノコとは何かや、栽培方法を教えた。

子どもたちは会のメンバーから指導を受け、穴を空けたクルミのほだ木に木づちで駒菌を打ち込んだ。3年須藤伊織さん（8）は「意外と簡単に菌を入れることができた。食べられるようになるのが楽しみ」と話した。（伊藤匠）

紙面編集・後藤恵美

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】
令和7年4月27日 山形新聞

やまがた緑環境税
森とみどりを未来につなごう!

わたしたちの やまがた緑環境税

森には暮らしを支える大切なたからきがあります。かけがえのない森や自然を未来の子ども達に引き継ぐため、県では「やまがた緑環境税」を活用して森づくりを進めています。

問い合わせ先 〒990-8570 山形市松波2-8-1 (山形県庁内)
 〈県民参加の森づくり・税の使い道〉 環境エネルギー部みどり自然課 TEL.023-630-2207
 〈森林の整備〉 農林水産部森林ノミクス推進課 TEL.023-630-3217
 〈税の仕組み〉 総務部税政課 TEL.023-630-2005

詳しくは、山形県ホームページをご覧ください。
 やまがた緑環境税 検索 県ホームページ Instagram

ホーム戦に合わせ
緑の募金活動展開
村山産業高生ら
やまがた森林と緑の推進
機構や村山産業高、ガール
スカウト県連盟は3日、サ
ッカーJ2・モンテディオ
山形のホーム戦に合わせ、
会場の天童市のNDソフト
スタジアム山形前で緑の募
金活動や木エクストラ体験
会を展開し、環境保全の大
切さを呼びかけた。

ブースに募金箱を設置
し、5000円以上の募金者
に特製ピンバッジをプレゼ
ントした。同校生や同連盟
団員は「緑の募金への協力
をお願いします」などとア
ピールした。

同校みどり活用科3年松
浦隼さん(17)は「山の大切
さを知ってもらうため自
分たちが行動しないといけ
ない」、同連盟団員の山形
五中一年細谷春子さん(12)

は「力を合わせて森を大切
にする」と話した。木エ
クストラでは子どもたちがカ
スタネットを作った。
集まった善意は同機構が
緑化活動などに活用する。
国土緑化推進機構(東京)
によると、プロサッカーチ
ームと連携した募金活動は
全国的に珍しいという。
(小田信博)

緑の募金への協力を呼びかけ
る村山産業高の生徒やガール
スカウト県連盟の団員、天童
市・NDソフトスタジアム山
形

【 森づくりサポート体制推進事業】

R7. 5. 4. 山形新聞

やまがた緑環境税
森とみどりを未来につなごう!

わたしたちの やまがた緑環境税

森には暮らしを支える大切なたからきがあります。かけがえのない森や自然を未来の子ども達に引き継ぐため、県では「やまがた緑環境税」を活用して森づくりを進めています。

問い合わせ先 〒990-8570 山形市松波2-8-1 (山形県庁内)
 〈県民参加の森づくり・税の使い道〉 環境エネルギー部みどり自然課 TEL.023-630-2207
 〈森林の整備〉 農林水産部森林ノミクス推進課 TEL.023-630-3217
 〈税の仕組み〉 総務部税政課 TEL.023-630-2005

詳しくは、山形県ホームページをご覧ください。
 やまがた緑環境税 検索 県ホームページ Instagram



2 みどり豊かな森林環境づくりを支えます

- 県民みんなで支える森づくりを進めます
- 自然環境を守るための調査をしています

3 豊かなみどりを守り育てる意識を育みます

- 森林・自然環境学習を進めます
- 森づくりの大切さを伝えています

【 みどりの循環県民活動推進事業】

R7. 5. 4. 山形新聞

実際のマツを観察しながら、学習に取り組んだ児童たち
(写真はいずれも西郷小提供)



鶴岡・西郷小のじまん
松林の役割、松枯れの原因学習

鶴岡市の西郷小（斎藤浩一校長）は4年生がクロマツの保護に向けた学習をしています。総合的な学習の時間を活用し、年間を通じて松林の役割や松枯れの原因について理解を深めています。

敷地内にクロマツがあることや庄内海岸林が近くにあることから、県森林整備課の職員の協力を得て実施しています。昨年度は14人が活動に取り組み、松林が砂の飛来、強風、塩

害を防ぐことや、松の皮を食べるカミキリムシに寄生する線虫が木の中に入り込んで細胞を壊すことなどを学びました。

クロマツの枝打ちや植林なども体験し、昨年度学習に取り組んだ、ともに5年の新堀楓さん（10）は「身近にあるマツが私たちの生活を守っていることを初めて知った」、遠藤歩和さん（10）は「これからも松枯れを防ぐ方法を考えていきたい」と話していました。（真壁慶次）

生活守る身近なクロマツ 枝打ちや植林体験



松枯れの原因について理解を深めました



クロマツの保護に向け、枝打ちを体験しました



松林の役割について学びました

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年5月5日

山形新聞

高畠・二井宿わくわくプロジェクト結成10年

話題の 十字路

同プロジェクトは2014年、地域の活性化を図ろうと結成された。地元に残る三十三観音などを巡る「観音道トレッキング」を16年にスタート

史跡、自然巡り活動充実

記者も古道散策 魅力実感発信もっと

トさせ、古道トレッキングの他、同町指定文化財「小湯山石神石仏」にスポットを当てた「小湯山（800）トレッキング」を企画している。県みどり環境税交付金を活用し、ルートでの草刈り、急な

県内外から多くの人が参加した「古道トレッキング」＝高畠町二井宿



階段の補助用ロープや史跡の案内板設置などに取り組んでいる。交流サイト（SNS）などを活用し、各トレッキングへの参加者を募っており、交流人口拡大にも一役買っ

高畠町で、地域の史跡や豊かな自然を見て回るトレッキングイベントを企画している「二井宿わくわくプロジェクト」（神保一雄代表）は、昨年で結成から10年となった。二井宿の住民有志で組織し、大きな節目を経て、さらに活動を充実させている。地元を走り尽くしたガイドによる案内が好評で、県外からの参加者も多い。東郷都出身の記者も5日、「古道トレッキング」に参加した。

の散策を楽しんだ。史跡の他にも、道中では山野草についてもガイドが教えてくれる。「これは食べられるの」との問いにも、同プロジェクトの文化環境部長、島津淳さん（69）がすぐに答える。島津さんは、オドリコソウをそつと揺つながら「踊り子のような見た目からこの名が付いたんです」などと解説した。

記者を含め34人が参加し、このうち4人は県外からだった。宇都宮市から訪れたアルバイト従業員武蔵さん（68）は「史跡だけでなく、清流などの自然の景色も楽しめて、歩きやすくて整備されていて、また来てみたいと思った」と語った。

この日の参加者の年齢は記者を除いて40～70代。島津さんは「もともと若い世代にも参加してもらえようようにしたい」と話していた。4時間ほどの行程で、心地よい汗もかき、いい運動になった。体を動かして地域の魅力を知り、感じることで、各トレッキングの魅力を幅広い年代に受け入れられると感じた。

（南陽支社・甲斐根敬亮）

真剣枝打ち体験

庄内・立川小児童

庄内町の風車村エコランド実行委員会（柿崎寿一委員長）は9日、同町立立川小の児童を対象とした森林整備体験学習会を風車村のスギ林で開催した。同校の5年生20人が参加し、間伐や枝打ちを通して森林の大切さを学んだ。

体験学習に先立ち、担当者から森林について「土砂の流出を防ぐほか、空気の浄化や貯水の役割を担っている」と説明した。児童は4班に分かれ、成木の妨げとなる枝や幹を切つたり、伐採した木を規定の長さに切断したりした。海藤

山新 嶋貴さん10は「小さい枝を切ると木が大きく成長できる」と話し、一生懸命にのこぎりを動かしていた。学習会では、森づくりを通して子どもたちに森林の機能や重要性を知ってもらおうと企画され、2回目。県のやまがた緑環境税を活用して実施している。（仲野海音）



真剣な表情で枝を切る児童＝庄内町・風車村

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年5月8日 山形新聞

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年5月13日 山形新聞

ウッドチップをかき分けてカプセルを探す園児
 〓上山市・モスガーデン

新チップかき分け 宝探し
 上山木と触れ合うイベント

本との触れ合いを楽しむイベントが4日、上山市のモスガーデンで開かれ、子どもたちはウッドチップのプールでの宝探しなどを満喫した。

宝探しは、乾燥したスギのウッドチップの中にあるカプセルを見つけるゲーム。子どもたちは木片に敷き詰められたチップを手でかき分け、探し当てると「あった」と大興奮し、カプセルの中の書札と交換してお菓子やおもちゃなどを手に入れた。

焼きマシニコロの振る舞いや、ヤギへの餌やり体験



もあった。蔵主めぐみこども園(山形市)年長の清野菜羽ちゃん(5)は「宝探しが楽しかった。チップがいい匂いだったと話していた。」

県民有志でつくる「やまがた山の恵み研究会」(板垣芳之代表)が初めて主催し、今年4日にも開催した。(手塚秀雄)

クロマツの枝払いを体験する参加者〓鶴岡市下川

森林の保全へ 枝払いを体験
 鶴岡でJと市民 日本たばこ産業(JT)や鶴岡市民らが協力して整備する「Jと森 鶴岡」(約36ha)の森林保全活動が17日、同市下川の保安林で行われ、参加者が松枯れ

被害の原因などに理解を深めた。同社員やその家族のほか、関係者ら約160人が参加した。県内総合支庁の担当者から松枯れの原因について、松の皮を食べるカミキリムシに寄生する線虫が木の中に入り込んで細胞を壊していると説明。下川生産森林組合の職員が実際に被害のあるクロマツの伐倒作業を披露し、初めて見たという鶴岡緑の少年団の相馬彩和さん(8)〓同市鶴引西小3年〓は「迫力があってすごかった。これから木を守っていききたい」と話した。参加者はクロマツの枝払いも体験した。

自然環境保全活動の一環で、Jと市が2009年から行っている。

(真壁慶次)



【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年5月17日 山形新聞

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年5月22日 山形新聞



(伊藤匠)

●村山市の中学生が植林活動などを体験する「ふるさと教育の森」が3日、同市檜石の国有林で始まった。初日は葉山中の2、3年生約90人が少花粉スギの苗330本を植えた。写真。

●山形森林管理署の職員らが「20、30センチの穴を開け、苗木を真つすぐ立てて土をかけて」とアドバイスした。2年大室心咲さん(13)は「大変な作業をして森林を守っている人がいることが分かった。立派に大きく育ってほしい」と話した。

●市教育委員会が主催し44回目、自然の大切さを学ぶのが目的。5日までの3日間で市内の中学2、3年生計約310人が参加する。4、5日は植岡中の2、3年生がスギ約800本とブナ50本を植える。

地域の緑化のため
県に苗木など贈る
山形トヨベツト(山形市)
鈴木政康社長は3日、地



コナラの苗木を手渡す鈴木政康社長(左) 県庁

域の環境保全と緑化の推進に役立ててもらおうと、県にコナラの苗木150本とヘルメット100個を寄贈した。

同社は「ふれあいグリーンキャンペーン」と銘打ち、1976(昭和51)年から毎年県内の自治体に樹木や花を寄贈しており、今年で50年目となる。鈴木社長と高橋恭治常務が県庁を訪れ、高橋副知事に苗木などを手渡し「里山の生態系を維持するために、植栽などの適切な管理が重要となる。今後も長く活動を続けたい」と語った。

同キャンペーンの寄贈は計約7800本となった。コナラとヘルメットは、6月7日に新庄市民スキー場周辺で開かれる「やまがた森の感謝祭」の植栽活動で使われる。(吉村瑛人)

【 みどりの循環県民活動推進事業】

R7. 5. 28 山形新聞

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月4日 山形新聞

コナラの苗木植える

新庄、森の感謝祭

豊かな自然を次世代に継承しようと、やまがた森の感謝祭が7日、新庄市五日町の市民スキー場の一角で開かれ、緑の少年団員や林業関係者ら約400人がコナラの苗木約1500本を植栽した。

県などの主催で2004年度に始まり、20回目。村山・最上・置賜・庄内の4地域持ち回りで、毎年6月の第一土曜日「やまがた森の日」に開催している。

この日、高橋徹副知事と



コナラの苗木を植える参加者
＝新庄市民スキー場

山科朝則市長があいさつ。新庄市内の小学校と義務教育学校に通う児童らが森づくり宣言をした。その後、山形県農業さん（う）は「地

域の人たちと協力してできた。大きくなつてね」と願っていた。

会場では、最上地域森林・林業功労者として新庄市の林業小関一也さん、同市のマルカ林業、もがみバイオマス発電を、感謝祭のテーマを考案したとして新庄市秋野学園6年の伊藤元康さんをそれぞれ表彰した。

森づくりに取り組む企業・団体を代表し、新庄信用金庫に県CO₂森林吸収量認証書を授与した。（山崎哲）

街かど アラカルト

能中峰を草刈り

山辺 山辺町の麓、山から玉田沼まで続く散策道「能中峰（のちゅうみね）」の整備活動が1日、同所で行われ、ボランティアの町民らが草刈りなどに取り組んだ。写真（町教育委員会提供）

町民有志でつくる「玉田散策道能中峰を歩く会」（玉田文博会長）が主催。会員や町職員、山辺町民総合体育館を練習拠点とするバスケットボール男子・リーグ2部のバスラボ山形ワイヴァンズの選手ら計25人ほどが参加した。能中峰約8・6㌔に生い茂る草を刈り、通行に支障を来す木の枝を伐採する（左）、散策しやす

供。

（柴崎愛）

【 みどりの循環県民活動推進事業 】

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月6日 山形新聞

R7. 6. 8. 山形新聞

シイタケ「駒打ち」楽しい
5小国小

【小国】小国町小国小（後藤和枝校長）の5年生34人が4日、同校でシイタケの菌を伐採木に植え付ける「駒打ち」を体験した。

町森林組合の職員の説明を受け、児童は長さ1メートルほどのナラの本に電動ドリルを使って穴開け作業に挑戦した。10カ所以上開けた後、菌を培養した木片をトンカチで黙々と打ち込んでいた。作業後は、林野庁 置賜森林管理署の職員が講話し、森林の機能や役割について学んでいた。

駒打ちした木は町内の森で保管され、2年ほどでシイタケが育つという。本間崇介さん（10）は「初めてだったけど打ち込むのが楽しかった。大きく育ってほしい」と話した。「白い森づくり体験事業」として町が主催し、毎年自然に親しむ授業を行っている。（根本光輝）



シイタケの駒打ちを体験する児童＝小国町・小国小

おいしく育て思い込め
農林業体験

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月8日 山形新聞

森の大切さ
体験し実感

鶴岡・鼠ヶ関小児童

鶴岡市鼠ヶ関小（真坂敦子校長）の森林学習が5日、同市小名部地区で行われ、5年生6人が森の役割や管理の大切さについて学びを深めた。
地元の温海町森林組合職員が講師を務め、木が根を



杉の枝払いを体験する児童＝鶴岡市小名部

張ることで洪水や山崩れを防ぎ、生物の住む環境を保っていると説明した。児童は近くの山「日本国」で伐採作業を見学したほか、のこぎりを使った枝払いや、丸太の輪切りを体験した。クイズを通して、適切な時期に伐採や植え付けを行うことで、持続可能な形で木材資源を確保していることも学んだ。
「間伐や枝払いは大変な作業だけど、目立たない良さが森にとって大切だと分かった」と話した。
森林学習は児童の郷土愛を育む自然学習の一環で、海の資源について学ぶ漁業体験と合わせて同校が毎年行っている。（省原杏佳）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月10日 山形新聞

「ニッサンの森」で
草刈り、落ち葉拾い

朝日・グループ社員ら
山形市、朝日町の社員と家族が8日、朝日町のAsahi自然観察地内にある「ニッサンの森」で環境保全活動に取り組んだ。

山形日産自動車（山形市、小関一社長）、日産プリンス山形販売（同、同）から計約100人が参加。県や町などの担当者から指導を受け、鎌で下草を刈ったり、のこぎりで立木を切ったりした他、森につながる歩道の落ち葉を拾い集めた。

初めて参加した山形日産自動車寒河江店の小野浩太さん（23）は「自然の中で社員と交流を深められる。心

環境保全活動に取り組む参加者
朝日町・Asahi自然観察地



身ともにリフレッシュできた」と晴れやかな表情だった。同グループは2017年に県と「やまがた絆の森」協定を結び、この森をニッサンの森として年2回活動している。

（森谷亮）

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

令和7年6月13日 山形新聞

きれいな開花願
荒倉山に桜を植樹

鶴岡市上郷小6年生
鶴岡市の上郷小（近藤行寛校長）の6年生15人が6日、地元住民とつくる荒倉散策道愛護会（平田充広会長）の会員とともに、近くの荒倉山で桜を植樹した。同会が育てた2鉢ほどの

苗木7本を用意した。児童は7班に分かれ、会員の指導を受けながら散策道沿いに桜を植え、土をかぶせた。初めて植樹したという伊藤祐季さん（11）は「大きく育つてきれいな花を咲かせてほしい」と話した。引き続き地元住民を講師に迎え、児童は山の植生や動物の生態などを学びながら山頂まで登った。

同校の総合学習の一環。植樹は県のやまがた緑環境



桜を植樹する児童
鶴岡市・荒倉山

税を活用し、「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」として毎年行っている。

（真壁慶次）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月11日 山形新聞



鶴岡「山五十川の玉杉」周辺で保護活動
草刈り、遊歩道整備に汗

鶴岡市温海地域の山五十川にある国指定天然記念物「山五十川の玉杉」の保護活動が8日、玉杉の周辺で行われ、山五十川地区住民らが草刈りや遊歩道の整備

に汗を流した。地区住民でつくる山五十川玉杉保護会（伊藤利喜会長を中心に約50人が参加。8班に分かれ、チエーンソーやなたで除草したり、木の根元に栄養剤を補給したりしてゐた。玉杉に続く石りしてゐた。玉杉に続く石り段と木製の遊歩道は、傷んだ箇所を補修した。伊藤会長(68)は「玉杉は地域住民

の心のよりどころのような存在。なるべく長く残せるとして保護活動が続けたい」と話した。

玉杉は樹齢1500年ほどで高さ約40m、根回り約20m。半球状に枝を張った外観から「玉杉」と呼ばれ、毎年6月から10月に整備している。

(柳井さとみ)

の心よりどころのような存在。なるべく長く残せるよう保護活動を続けたい」と話した。

(棚井さとみ)



アオモリトドマツ
種まき樹氷再生へ
蔵王山で山形西RC
フ(RC、遠藤靖彦会長
は14日、山形市の蔵王ロー
プウェイ地蔵山頂駅付近
で、アオモリトドマツの種

山形市の蔵王で枯死被害が深刻なアオモリトドマツ(アオシラヒン)を育て、蔵王の樹水を産生させようと、山形西ロータリークラブが参加。標高約1677メートルの蔵王に、アオモリトドマツをまいた。

同RCCが中心となり、村山産業高生や上山アルペンスポーツ少年団などから計75人が参加。標高約1677メートルの蔵王に、アオモリトドマツをまいた。

同RCの種まきは昨年に続き2回目。遠藤会長は「山形のシンボルである樹水がなくならないよう、活動の輪を広げながら地道に取り組んでいきたい」と話した。

(奧本愛菜)

【 山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業 】

令和7年6月15日 山形新聞

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月13日 山形新聞



10周年 祝福の音色楽しむ

シエルターなんようホール 記念公演

弦楽奏者12人による「100万人のクラシックライブ」
＝南陽市・シエルターなんようホール

シエルターなんようホールの開館10周年記念事業の一つ「新しい森のカタチコンサート」が14日、南陽市の同ホールで開かれた。多くの弦楽奏者らが美しい音色を響かせ、多くの聴衆を魅了した。

同ホールは「最大の木造コンサートホール」としてギネス世界記録を持つ。弦楽奏者12人が出演した「100万人のクラシックライブ」では世界各地の古典を中心に一流の演奏を披露した。続いて地元吹奏楽団がアニメソングなど親しみやすいメロディーを奏でた。公演前にはカスタネット作りや楽器体験などもあり、多くの子どもたちが参加した。木製のアルプホルンの音出しに挑戦した仙台市の小学5年鈴木史登さん（10）は周囲が苦戦する中、見事に成功させた。「力任せでなく、口を震わせることが大事」と誇らしげに話した。（甲斐根敬亮）

アオモリトドマツ 再生願う

樹氷復活県民会議 蔵王山で種まき



樹氷再生に向け、アオモリトドマツの種をまく参加者

＝山形市・蔵王山

山形市の蔵王山で樹氷を形成し、枯死被害が深刻なアオモリトドマツ林の再生に向け、官民一体の組織「樹氷復活県民会議」は16日、現地の試験圃場で種子2400粒をまいた。

県や山形市の担当者など、同会議のワーキングチームに所属する約20人が参加した。圃場は標高約1400mの蔵王ロープウェイ樹氷高原駅近くにある。2003年に現地で採取し、冷凍保存していた種子を準備。参加者はスミナギに種子を食べられないように金網を設置し、300粒ずつ8カ所に分けて埋めた。県民会議による種まきは

今年で3回目。昨年も2400粒まき、雨で流されるなどしたが、約400粒から身が出た。植栽が可能なら20年程度に育つまで、最低でも6年はかかるという。

アオモリトドマツは虫の食害に遭い、特に地蔵山頂駅周辺の約16haは枯死木のみとなっている。

（小田信博）

【 山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業 】

令和7年6月17日 山形新聞

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月17日 山形新聞

**クロマツ林整備
住民らが汗流す**
酒田・光ヶ丘地区

酒田市光ヶ丘地区で21日、松林整備と環境美化のボランティア活動が開催された。地域住民など約20人がクロマツ林の下草刈りや公園のごみ拾いなどに汗を流した。写真。

活動は2000年から実施。松食い虫による被害拡大防止や森林整備の作業性向上、周辺の景観保全などを目的に毎年行われている。市民自らの手で松林を守り育てようという趣旨で、近隣地域の住民のほか、酒田一中や酒田光陵高の生徒、企業単位のグループなどが参加している。

この日、光ヶ丘公園近くの国有林「万里の松原」では、膝ほどに伸びた雑草を、



参加者が鎌を使って刈り取った。初参加の酒田光陵高1年小松未唯奈さん(15)は「下草刈りはちよつと疲れたけど、改めてマツの木を大事にしたいと思った」と話していた。
(阿久津誠)

**「教育の森」再生へ
住民ら草刈りに汗**
白鷹町・鮎貝小裏山

白鷹町鮎貝小の裏山に広がる「鮎貝松ヶ丘教育の森」の草刈り作業が15日、同所で行われ、森の再生に向けて住民らが汗を流した。

「教育の森」は1978(昭和53)年に整備された。約8haに散策路やアスレチックなどさまざまな設備が

あり、学校行事などで使われていたが、活用や整備の規模が縮小して荒廃が進んでいた。復活を望む声が高まり、鮎貝松ヶ丘教育の森管理会(会長・江口信利・鮎貝小校長)が主体となり昨年度から3年計画で整備を進めている。

この日は雨が降る中、同校PTA会員や地区住民計60人が参加した。草刈り機で、傾斜部分に生い茂るサ



森の斜面で草刈りをする参加者 白鷹町鮎貝

サなどを約2時間かけて刈り取った。江口会長は「子どもたちが自然に親しむ経験ができるよう、今後も整備を頑張りたい」と話した。
(根本光輝)

【 出羽庄内公益の森づくり事業 】

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月17日 山形新聞

R7. 6. 24 山形新聞

鶴岡市温海地域の山間部に位置する国指定史跡の小国城跡や、山の植物について理解を深める学習会が22日、現地で開かれ、市内外からの参加者約50人が初夏の散策と学びを楽しんだ。

小国城跡は集落に隣接する楯山（標高348.5㍍）の山頂部にあり、越後と庄内を結ぶ街道の要所として栄えた。地元の小国城址保存会の五十嵐収一会长（73）らがガイドを務め、参加者は土塁で囲ま

散策楽しみ 知識深める

鶴岡市温海 小国城跡など学習会

れた本丸跡、城の出入り口を守る施設だった駒立場跡を見学した。植物は付近の広葉樹や花、山菜について特徴を確認した。

同市平京田の会社員長谷川昌一さん（71）は「新しい発見が多く、傾斜はきつかったが楽しんで歩けた」と話した。自然や文化財の保護に関心を持ってもらおうと、市教育委員会と同保存会が連携し開催した。

（斎沢杏佳）



参加者が城跡や植物を見て回った学習会＝鶴岡市小国

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月26日 山形新聞

育てたブナ苗 高く伸びて 羽黒小5年生、市有地に植樹

鶴岡市

（八瀬宗一郎校長）の5年生30人が25日、

羽黒地域にある「田代谷地ため池」近くの市有地で、自ら育てたブナの植樹に汗を流した。

児童は昨年から校内で生育を見守ってきた苗木を持参した。水土ネット笹川（笹川土地改良区）の職員



ブナの苗木を植える子ども＝鶴岡市

や保護者らのサポートを受け、スコップで穴を掘り、丁寧に土をかぶせた。「高くのびろ」「天まで元気に」などメッセージ付きの名札を添え、神林美枝利さん（11）は「作業は大変だったが、大きく育ってほしいと願いを込めた」と話していた。

旧羽黒一小が環境教育の

一環として2000年度に「一環として取り組んでい始め、統合後の羽黒小が引き継いだ。総合的な学習の」（相原健佑）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年6月30日 山形新聞

駆除した外来生物
活用への試み学ぶ
鶴岡「里山学講座」
鶴岡市自然学交流館は
とりあの「里山学講座」
が6月28日、同施設で開か
れ、市民らが外来生物のア
メリカザリガニを活用する



取り組みを学んだ。
同館は郡沢湿地で駆除し
たアメリカザリガニを利用
しようと、2023年度か
ら山形大農学部と協同で、
2人が講師を務め、松山
准教授は飼料の一つとして
与えたところニワトリが好
んで食べたこと紹介。黄身の
色が濃くなる傾向があり、
甲殻類の色素物質で抗酸化
作用が期待される「アスタ
キサンチン」が移行した可
能性を説明した。詳しい分
析を行う考えも示した。
このほか地域内循環型農
村経済圏の構築を目指す同
大の「庄内スマート・テロ
ワール事業」を紹介した。
同館を運営する庄内自然博
物園構想推進協議会が主催
し、約20人が聴講した。
(相原健佑)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年7月2日 山形新聞

●…宋養分豊
かな水が海に注
ぐ環境づくりに
つなげようと
鶴岡市温海地域の漁業者や
住民でつくる「ねすがせぎ
魚の森づくりの会」（飯塚
厚司会長）が3日、地元鳳
ヶ岡地区の山林で保全活動
を繰り広げた。写真。

●…同会が市と連携して
2014年に始めた。広さ
約4平方メートルの山林を「ね
すがせぎ魚の森」とし、年
2回の頻度で植樹や環境整
備活動をしている。

●…この日は会員のほ
か、市職員や温海町森林組
合の職員など約30人が参加
した。散策道沿いの草を刈
ったほか、歩きやすくな
るよう腐材で作った
スギのウッドチップを
敷いた。飯塚会長（75）
は「すぐに効果が分か
るものではないが、子
どもや孫の代まで豊か
な海を守れるよう続け
ていきたい」。雨水が
森林の土壌に染み込
み、海へと流れる悠々
の時に思いをはせた。
(真壁慶次)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年7月4日 山形新聞



おぐに 小国小のじまん

小国町の小国小（後藤和枝校長）では毎年、森林の循環利用について学ぶ「白い森づくり体験」を行っています。今年は木を伐採して丸太にする玉切り作業を見学し、シイタケの菌を木に植え付ける「駒打ち」を体験しました。

同町は面積の約9割が森林です。森の大切さを知り、親しみを持ってもらうようと、親子行事として2010年度にスタートしました。最近では5年生の総合的な学習の授業の一環で行っています。

今年は5年生34人が参加しました。町民の森で町森林組合の職員がチェンソーで木を倒す現場を見学し、長さ1メートルほどのナラの木に穴を開けて、シイタケの菌を培養した木片をトンカチで打ち込みました。森林の役割を学ぶ授業も受けました。木村宝さん（10）は「駒打ちが初めてで楽しかったです。森に関わる仕事に興味を持った」と話していました。

（根本光輝）

座学も
したよ



座学で森林の役割などを学びました＝小国小

白い森づくり体験 循環利用 森の大切さ知る



玉切りする様子を見学する児童＝小国町

玉切り見学 駒打ち挑戦



シイタケの駒打ちを体験しました＝小国小



【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年7月7日

山形新聞

枝打ちなどに取り組んだ森林整備活動。鶴岡市・温和の森



枝打ちなどに取り組んだ森林整備活動。鶴岡市・温和の森

枝打ち作業体験 森の役割を学ぶ

あつみ小5年生

鶴岡市あつみ小（佐藤英吾校長）の5年生19人が3日、

学校近くにある「温和の森」で、森林整備活動に取り組んだ。間伐作業の見学や枝打ちを通して森の役割につ

いて理解を深めた。

県庄内総合支庁の担当者
が「森林に日光を入れるた
め、光を遮る木や枝を切る
必要がある」などと説明し
た後、温海町森林組合の職
員が伐採作業を上演。つい
て児童が4班に分かれ、の

こぎりで枝を切り落とした
ほか、同組合の職員と一緒
にチェーンソーを使って伐
採した木の幹をスライス状
に切った。初めてチェン
ソーに触れたという五十嵐
武玄さん（10）は「難しかっ
たけど、上手に切れた」と
笑顔を見せた。

体験を通して地域の農林
水産業に関心を持つてもら
おうと、市温海庁舎が20
12年から始めた「天鳴山
森林自然教室」の一環。8日
には同市の大川漁港から
漁船に乗るほか、イカのさ
ばき方を学ぶ。（重盛慶次）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年7月7日 山形新聞

丘陵地に植樹を行ってもらった鶴岡市油戸



海のために森をつくる

「緑の少年団」ら 植樹や下草刈り

鶴岡市あつみ小（佐藤英吾校長）の5年生19人が3日、

学校近くにある「温和の森」で、森林整備活動に取り組んだ。間伐作業の見学や枝打ちを通して森の役割につ

いて理解を深めた。

県庄内総合支庁の担当者
が「森林に日光を入れるた
め、光を遮る木や枝を切る
必要がある」などと説明し
た後、温海町森林組合の職
員が伐採作業を上演。つい
て児童が4班に分かれ、の

こぎりで枝を切り落とした
ほか、同組合の職員と一緒
にチェーンソーを使って伐
採した木の幹をスライス状
に切った。初めてチェン
ソーに触れたという五十嵐
武玄さん（10）は「難しかっ
たけど、上手に切れた」と
笑顔を見せた。

体験を通して地域の農林
水産業に関心を持つてもら
おうと、市温海庁舎が20
12年から始めた「天鳴山
森林自然教室」の一環。8日
には同市の大川漁港から
漁船に乗るほか、イカのさ
ばき方を学ぶ。（重盛慶次）

（相原健佑）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年7月16日 山形新聞

山形県では「やまがた緑環境税」を活用した事業を行っています

やまがた絆の森づくりって知っていますか？

森林の保全や活用を通して企業の皆様と地域の方が絆を深め、地域活性化に結び付く「やまがた絆の森づくり」を進めています。

令和7年4月1日現在、県内各地で38企業・団体と協定を結び40地区で森づくり活動が行われています。

この「やまがた絆の森づくり」では、企業・団体の皆様に森づくり活動による環境貢献の成果を実感していただけるように、山形県独自でCO₂森林吸収量認証書を作成し、森づくり活動の見える化にも取り組んでいます。



協定締結式

山形県CO₂森林吸収量認証書

やまがた木育プログラム体験会を実施します！

森林に出かける機会の少ない親子を対象として、気軽に本物に「触って」「創って」「知る」「やまがた木育プログラム体験会」を実施しています。

触れる 創る 知る

環境エネルギー部みどり自然課
〒990-8570 山形市松波2-8-1
TEL.023-630-2432

各種SNSで情報発信中です！

今後の予定はこちら
(公財)やまがた森林と緑の推進機構でつくりかた

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年7月26日 山形新聞

触れて感じて 「西山杉」の魅力

地元有志、子ども向け教室スタート

大江 力を感じてもらうと、同町の林業、建設業関係などの有志21人が木と触れ合う教室「木育ひろば」をスタートさせた。毎月3回、同町中央公民館に西山杉を使ったおもちゃを置いて、工作スペースを設けたり、子どもたちが自由に遊べる場を提供する。

西山杉は同公民館や昨秋、パズルや積み木リニューアルオープンしたなどのおもちゃを製作。工場の駅おえの建材に使われるなど、町は豊富な資源に活用し、パズルや積み木の需要拡大を推進している。クリなどの木の美も用意した。子どもたちを対象とした。初回は今年6月に開催した「アビールの場」が少なかったため触れ合い教室を企画した。

有志たちは西山杉の廃材が参加した。子どもたちは木の感触を楽しみながら、手作りおもちゃ工作スペース 遊べる場提供

夢中になって遊んでいた。ペンダント作りのコーナーもあり、輪切りの木材に木の実やシール、リボンなどを施し、思い思いの作品に仕上げている。同町にじい保童園年少の林和奈ちゃん(3)は「木がつるつる。ペンダントは、かわいくできた」とうれしそう。同町から工作担当の菊地くみ子さん(54)は「町内の豊かな自然が当たり前ではないと伝えたかった。子どもたちの笑顔を見てほっとした」と話していた。工作は毎回異なるテーマで取り組む。くみ子さんは11月まで毎月第1・3の日曜日、午前10時から開く。(森山晃)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年7月26日 山形新聞

くらしの疑問 相談亭

・519

（問）孫と外出する機会が増えました。一緒に森や自然の良さを感じたいのですが、気軽に訪れるところがある場所やイベントはありますか。

（答）県は「森や木に触れる」「知る」「知る」をコンセプトとする「やまがた木育」を推進しています。やまがた木育を体験できる場所として、県民の森（山辺町）、

Q 気軽に自然楽しめる場所、催しある？

遊学の森（金山町）、源流の森（飯豊町）、眺海の森（酒田市）の県内4地域の「県民の森」があります。

各県民の森では、野外学習やレクリエーション活動など多彩な自然体験プログラムを用意しています。

「県民の森」や体験会ぜひ

ます。四季折々の山の魅力を感じながら、自然に触れることができます。

県民の森の屋内施設では、木の美や枝を使って昆虫の模型やキーホルダー、リースといった木工クラフトを作ることができ

ます。四季折々の山の魅力を感じながら、自然に触れることができます。

県民の森の屋内施設では、木の美や枝を使って昆虫の模型やキーホルダー、リースといった木工クラフトを作ることができ

ます。四季折々の山の魅力を感じながら、自然に触れることができます。

県民の森の屋内施設では、木の美や枝を使って昆虫の模型やキーホルダー、リースといった木工クラフトを作ることができ



ます。四季折々の山の魅力を感じながら、自然に触れることができます。

県民の森の屋内施設では、木の美や枝を使って昆虫の模型やキーホルダー、リースといった木工クラフトを作ることができ

【その他】

R7. 8. 4. 山形新聞

木の風合い楽しみ箸作り 児童が体験

【米沢】夏休み中の児童による箸作り体験が29日、木製サッシなどを製造販売するアルス（米沢市、高橋風人社長）で開かれ、子どもたちが木の風合いを楽しみながら製作に挑戦した。写真。

県のやまがた環境税を活用した事業で、米沢市内



の「学童保育クラブ米沢西部みどりの家」を利用する西部小の児童8人が同社を訪れた。同社製品の製造過程で出たヒバの端材をかなで削り、杵波を塗って仕上げた。また、工場内を見学したほか、社員による説明を通じて同社の木製サッシが高い断熱性と防火性を備えていることなどを学んだ。

同小6年遠藤桜和さん（12）は「木を加工し、さまざまな特長を教えるのもうたいて、木のすばや可能性を感じた」と話していた。（斎藤健太）

【みどり豊かな森林環境づくり推進事業】

令和7年8月1日 山形新聞

より良い地域社会に向けて 連携を通したまちづくり

都道府県や市町村といった行政体と企業や団体などが連携し、より良い地域をつくらうとする動きが各地で盛んになっています。取り組みが長期に及び、成果を挙げている事例も多くあります。日本たばこ産業（JT）は山形県をはじめ全国で行政体と歩調を合わせてさまざまなまちづくり活動に取り組んでいます。行政と企業の連携の在り方などについて吉村美栄子知事と藤井早央里JT山形支社長が語り合いました。

広告

企画・制作／山形新聞社広告局

日本たばこ産業（株）山形支社 支社長
藤井早央里（ふじい・さおり）氏共創×挑戦で
未来を切り拓く

「山形県は企業など他の主体との連携をどのように進めていますか。」

吉村 多様な主体と連携する際の共通指針として、今年3月に策定した「産業経済分野の施策展開の方向を示す山形県産業振興ビジョン」があります。この中で、2035年に実現を目指す未来の姿を「多様な「人財」が活躍し、国内外で価値を創出し、成長し続ける産業社会」とし「共創×挑戦で未来を切り拓く」このスローガンを掲げています。これに基づき、激しく変動する社会・経済情勢の中でも必ずしも成長発展できる、足腰の強い産業の構築を目指し、各方面と連携し施策を展開しています。

「山形県をはじめ全国で事業を展開する企業のJTはどのようなパーパス（志）を掲げていますか。」

藤井 JTのグループパーパスは「心の豊かさを、もっと」です。山形支社も

「山形県にいる全ての方が快適に過ごせる社会を実現する」という固有のパーパスを自指し、山形県の皆さんに心豊かな時を過ごしていただけるよう取り組んでいるところです。

「JTの森」や
「山形県フェア」

「県とJTが連携した取り組みはどのようなものがありますか。」

藤井 「JTの森鶴岡」の植林・森林保全活動が挙げられます。「やまがた絆の森」として県と協定を締結しており、吉村知事が就任した09年から継続しています。今年は5月17日に約200人が参加し、植栽や枝打ちなどの作業を行いながら松くい虫被害の現状などについて理解を深めたところです。

吉村 スタート当初からJTにご協力いただいている「やまがた絆の森」は現在、40の企業と協定を結んで継続的な森づくり活動を行っています。昨年度は2200人を超える人にご参加いただきました。今後もこうした活動の輪が広がることを期待しています。

山形県知事
吉村美栄子（よしむら・みえこ）氏

待っています。

藤井 もう一

つ、東京の本社で

5月26日から5

日間、「おいしい

山形県フェア」を

開催しました。県の方々と

打ち合わせを重ね、県産品の販

売やランチの提供などを行

い好評でした。山形県は人

を引き付ける資源がたくさん

ある県なので、こうした形

でアピールすることで振興

に貢献できたのではないで

しょうか。

吉村 山形県は今年、サク

ランボなどフルーツの苗木

が導入されて150周年の

節目に当たります。酒蔵48カ

所、ワイナリー22カ所がある

美食・美酒県であることも

に「ラーメン県」を王冠は

商標登録しています。35市町

村全てに温泉が湧出してい

る温泉県でもあります。「お

いしい山形県フェア」のよう

な取り組みを通して山形県

の魅力を知っていただき、

人でも多くの人にお越し

ただければうれしいです。

県と企業が協働し
明るい未来めざす

「企業と県の連携が奏功した例といえそうですね。」

吉村 そうですね。行政に対するニーズが多様化している中、県単独でさまざまな課題に的確に対応するのは困難です。そこで多様な主体と連携を図っていますが、特に民間企業との連携では、行政が持っているノウハウやネットワークを活用させていただいています。これからは民間企業との相互連携と協働で新しい価値を生み出すことで、県民サービス向上や地域活性化を図ってきたいです。

藤井 JTはさまざまなパートナーと一緒に社会貢献活動を行っており、それを「Ret thinkプロ

JT本社ビルで行われた
「おいしい山形県フェア」

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

令和7年8月8日

山形新聞

暗がりの中 いろんな生き物

8/19 山新

夜の自然にはどんな生物がいる？ 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ周辺で、7月に開催された「夜の散策会」。目を輝かせ、暗がりに飛び込んだ親子たちに同行した。（相原健佑）

鶴岡・夜の自然散策会



夕暮れの中、散策に出かける子どもたち＝鶴岡市

観察時は安全に注意

ほとりあ副館長兼学芸員 上山さん



上山剛司さん

自然に触れる学習の場は、どこにでもあります。ほとりあの副館長兼学芸員の上山剛司さん（43）に、夏から秋にかけて夜の観察を楽しむポイントについて聞いた。

家族などの少人数で実施する際の注意点は安全確保▽服装と虫対策▽マナー▽天候の四つ。足元が暗いために懐中電灯やヘッドライトを使用し、滑りにくい運動靴や長靴の着用を勧める。近隣住民に迷惑をかけない行動を心がける。

街灯や外灯の下、樹液や花、果実がある植物の周囲などに昆虫が集まりやすい。光に集まる昆虫を観察する場合、白い布にライトを当てて待つ方法も効果的だという。上山さんは「事前に観察できそうな生き物や鳴き声を調べておく、楽しみが倍増する」「同じ場所でも時間や天候で見られる生き物が変化する。複数回訪れると新しい発見がある」となると助言する。

ほとりあ周辺の都沢湿地では生息数の回復を目的に、ホタルや水生昆虫などは元の位置への放虫をお願いしている。別の地域でも条例やルールを確認し、持ち帰りは採取者の飼育環境、能力に合わせて検討する。



セミの羽化を目撃

- 【持ち物】
- 懐中電灯・ヘッドライト
 - 虫よけスプレー
 - かゆみ止め
 - 飲み物
 - タオル
 - ウェットティッシュ
 - 観察ノートと筆記具
 - カメラ・スマートフォン
 - 捕虫網・虫かご

約20人が参加し、ほとりあ副館長が講師を務めた。事前に施設内でへびやカエル、ホタルの種類、特徴などについて学習。特定外来生物のウシガエルなども間近で観察した。

散策会の本番は午後7時過ぎにスタート。夕暮れの中、施設近くの大山下池や都沢湿地の周辺を巡った。足元に注意しながら、

くさむらではセミの羽化の場面も。子どもたちがカフトムシの観察に集中していた数十分で、白く柔らかそうな体ははつきりと見えてきた。

2時間の散策を終え、同市朝陽小学校5年生藤澤帆さん（11）は「夜の雰囲気、生き物の見え方は昼と全く違っていた」とにっこり。母陽子さん（44）は子ども時代に母親とホタルを見たことが心に残っていたといい、2人は「ホタルも見ることができて、親子でいい夏の思い出ができた」と口をそろえた。



カフトムシを捕まえて大喜び



ウシガエルを観察する子どもたち



日中とは違った雰囲気が漂う大山下池周辺



子どもたちに人気だったザトウムシ

「キリッ写真館」は随時掲載で、小学生までの子どもを親が撮影した写真に限ります。とっておきの表情を捉えた一枚をお待ちしています。応募の際は、お住まいの市町村、電話番号、親が氏名（ペンネーム）と年齢、子は長男・長女など続柄と年齢（月齢）を明記していただく。いただいた写真はお返しません。

〒980-0800 山形市旅籠町2-5の12 山形新聞社編集局「子育て」係 メールアドレス amagata-np.jp

【みどり豊かな森林環境づくり推進事業】

●東根市高崎小(阿部玲子校長、53人の3、4年生14人が26日、学区内にあるキッズドリムランド里山館で、高崎地区の伝統産業「関山炭」の窯出しを行った。住民の手ほどきを受け、今後の販売に向けて準備を進めた」写真。

●関山炭は地元の関山製炭公社(大江善博理事長)が生産を引き継ぎ、同校は2003年から体験学習を続ける。この日は、先月下旬に窯入れして焼き上がった約340kgの炭を窯から取り出し、のこぎりで切りそろえたり、箱詰めをしたりした。

●炭は火持ちの良さから人気が高く、今年は10月下旬に同校で販売予定。4年大泉譲さん(10)は「きれいに形が残ったまま炭になった。買った人に喜んでもらいたい」と、好調な売れ行きに期待を込めた。

(伊豆田哲)



クロマツ林保全へ酒田市が協定結ぶ

東北エフソンと酒田市と東北エフソン(同市、斎藤社長)は19日、地方創生と地域の持続可能な開発目標(SDGs)の推進のため、事業連携協定を結んだ。松枯れ被害が

拡大している市内のクロマツ林の整備・保全などに協力する。

協定は、地域の森林や公園、緑地の整備や保全のほか、地域創生の推進、地域資源の活用などに連携して取り組む内容。市役所で協定書を交わした斎藤社長は「自然環境の保全は気候変動の影響と相まってスピー

ドを上げて取り組んでいかねければならない」とあいさつした。矢口市長は「協定に基づき、具体的なプロジェクトが実現することを願っている」と語った。

(鈴木悟)



自然環境の保全推進などを目的とした酒田市と東北エフソンの事業連携協定締結式

同市役所

【その他】

R7. 8. 22 山形新聞

【みどり豊かな森林環境づくり推進事業】

令和7年8月27日 山形新聞

樹氷再生願い 稚樹移植

山形・蔵王山 ジャンプ高梨選手も



アオモリトドマツの稚樹を移植する
高梨沙羅選手

山形市の蔵王山で樹氷を形成し、枯死被害が深刻なアオモリトドマツ林の再生を目指す官民一体の組織「樹氷復活委員会」主催の稚樹移植体験が30日、現地で終わった。ノルディックスキー・ジャンプ女子の高梨沙羅選手(28)は、同プロジェクトが初めて参加し、稚樹の採取や移植に取り組んだ。

参加者は6班に分かれ、標高約1400mで自生する稚樹を14本掘り出した後、同約1600mの蔵王山の植栽地に移植した。霧が立ちこめ、強い風や雨が吹きつけるあいにくの天候だったが、風雨が落ち着くのを見計らい、協力しながら手際よく植えた。高梨選手にとって蔵王はワールドカップ(W杯)で初優勝するほど縁が深い。移植後、高梨選手は「6月に観察した時に枯れている光景を見てショックを受けた。みんなで植樹することに意味があり、こういう意識を持った人の輪を広げることが大事だ」と話していた。

樹氷再生の一手として期待が高く、山形新聞「山形放送の8大事業」みどりの学び蔵王樹氷再生プロジェクトをはじめ、官民による再生活動が広がりをみせている。今回を含め、これまでに稚樹約330本が植えられ、おむね順調に育っている。(小田信博)

置賜建設、九里学園 県と「絆の森協定」

学校林保全へ連携

県は26日、置賜建設(米沢市、川野敬太郎社長)、九里学園(同市、九里広志理事長)と、森づくり活動を通じた地域活性化などを目的とする「やまがた絆の森協定」を締結した。九里学園高の学校林の保全活動に連携して取り組む。

同市万世町桑山の学校林約0・5haは、戦時中に整備された。1999年に男女共学となつて以降、新校舎の建材に学校林のスキが使われたほか、地域活性化を目的に桜の植樹などが行われてきた。近年は新型コロナウイルス禍などで保全活動が滞っていた。



協定書を掲げる(左から)
川野敬太郎社長、吉村英栄
子知事、九里広志理事長

県庁

協定期間は2029年度末まで。学校林を「くもり協同和楽の森」と銘打ち、置賜建設の社員が下草刈りなどを行うほか、測量用ドローンを活用し、同校の生徒と協力して植栽や遊歩道整備に取り組む。九里幼稚園の園児や地域住民を交え

た環境・防災学習での学校林活用も見据える。県は技術支援などを行う。

川野社長が「建設業でのクロスリァティー(XLR)活用事例なども生徒に伝えたい」とあいさつした。九

里理事長は「明治天皇が命名された『万世大路』など古里の歴史を学び、自然を愛する心が育まれる場になりたい」と述べた。協定締結は41企業・団体目で、活動地区は39カ所となった。(吉村英人)

【 山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業 】

令和7年8月31日 山形新聞

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

令和7年8月27日 山形新聞

アイジー工業

55年目の加速



▶草刈りや植樹、階段や広場の整備などを行っている



▲家族工場見学会では、社員が協力して準備や受け付けを行う

アイジー工業が行っている社会貢献について、主なものを紹介します。

教育振興 創業者の故・石川昇氏からの寄付金（アイジー基金）運用事業の一環で1988年に創造性豊かな常設に創意工夫する児童・生徒の育成を図る事業として「東根少年少女発明クラブ」を発足させました。その後、工場や研究センターのある寒河江市、朝日町、茨城県城里町でもアイジー基金を設置し、教育振興に役立てています。

教育・スポーツ・自然 多様な社会貢献

スポーツ振興 モンテディオ山形のオフィシャルパートナーとしてチームの運営を支えています。プロ野球・楽天イーグルスが、少年野球チームや福祉団体の方々を公式戦に招待する「ドリームシート」にも協賛しています。

緑化促進 やまがた絆の森活動に参加し、堂の前公園（東根市）に隣接する森林を「笑顔いっぱい森ひがし」と命名し、2015年3月に東根市と協定を締結。森林資源の有効活用への取り組みを継続しています。

家族工場見学会 全国の社員の家族が普段見ることのできない製造現場を見学する家族工場見学会を年に1回開催しています。抽選会などのお楽しみもあつて毎回好評です。



樹氷再生に向けてアオモリトドマツの種子を採取する
＝山形市県職員

樹氷再生へ種子採取

山形県林管理署蔵王山、アオモリトドマツ林野庁山形森林管理署（添谷裕義）は19日、樹氷を形成し、枯死被害が深刻化しているアオモリトドマツ林再生に向け、山形市の蔵王山で種子の採取を実施した。種子は乾燥選別を経て来年6月ごろに同管理署や県の圃場にまき、将来的な稚樹移植活動での活用を見据える。

蔵王山では山形新聞山形放送の8大事業「ひとりの学び」蔵王樹氷再生プロジェクトをはじめ、稚樹移植によるアオモリトドマツ林再生活動が進められていて、種子の採取は活動拡大を見据えて苗木の確保を図る播種試験の一環で、2016年から実施する。

アオモリトドマツの種子は、長さ約10・20センチの楕円形の球果（松かさ）一つに300個ほど入っている。このうち6・7年後に移植可能なサイズの苗木となるのは10本程度という。

この日は球果3000個の採取を目標に、同管理署や県の職員約10人が、標高約1400メートルの蔵王温泉スキー場ユートピアゲレンデ周辺で作業に当たった。同管理署の五十嵐伸哉主任森林整備官が「球果が成熟して落果する前の、9月中下旬に採取の必要がある」となどと説明する。樹高10メートル前後の成木の上部になる球果を、先端にやいばが付いたさおを使い切り落とした。アオモリトドマツは虫の

被害に遭い、標高1600メートル以上の蔵王ロープウェイ地蔵山頂駅周辺の約16センチが枯死木のみとなっている。添谷署長は「樹氷再生活動の加速には苗木の育成が欠かせない。苗木の大量生産のノウハウを確立させる必要がある」と語った。

（吉村 瑛人）

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

R7.9.2

山形新聞

【 山形の山魅力満点(マウンテン)プロジェクト事業 】

令和7年9月20日 山形新聞

「もつくる」の感謝祭
高 皇 高皇町屋内遊戯
開設6周年を記念した感謝祭が
20日、同所で開かれ、来場者が
イベントを楽しんだ。写真
本工芸イベントでは、
スプレーやフォークの柄に木片
を差し込み、絵を描いた。家族
3人で訪れた高皇町高小6年の
横山巧さん(11)は楽しかった。
日常使いできるのがいいと話
した。
甲斐根敬亮



【 森づくりサポート体制推進事業 】

R7.9.25

山形新聞

私たちは、遊歩道・散策道の整備や
子供たちとの森林環境学習に取り組んでいます!

森とみどりを
未来につなごう!
やまがた緑環境税

花見山プロジェクト
奥山さん 加藤さん

歴史の道萬世大路(栗子山)の散策路を整備し、米沢市立万世小学
校5年生や地域住民を対象に、森林・自然環境学習を行っています。

歴史の道土木遺産
萬世大路保存会
会長 菊地政信さん

県では、やまがた緑環境税を活用し、市町村や県民の皆様が地域と連携して取り組む森づくり活動を支援す
る「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」を実施しています。
令和7年度は、子どもたちに対する森林・自然環境学習や里山林の保全活動など、202事業が行われています。

問い合わせ先 〒990-8570 山形市松波2-8-1 環境エネルギー部みどり自然課 TEL023-630-2432

環境みんなの
未来をつなごう

やまがた緑環境税

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年9月27日 山形新聞

大きく育ちますように

森の感謝祭 児童が植樹



「むらやま地 域森の感謝祭2025」が2日、西川町西川小で開かれ、寒河江市白岩小と同校の児童計32人が、植樹を通して森林の大切さを再確認した。

児童たちは西川小にあるビオトープ（生物生息空間）の指定された所にコナラ、トチノキなど6本を植えた。協力して苗木

に土をかけ、大きく育つよう願いを込めた。西川小4年掛田和夏さん（10）は「自然を大切にしよう」という思いが強まったと話した。

村山地方の豊かな自然に感謝し、森づくりの大切さを理解してもらおうと、県村山総合支庁が2007年度から管内14市町と協力し、各市町持ち回りで毎年開催している。参加者には西山杉のコースター、会場となった西川小には西山杉を使ったベンチと机の8セットが贈られた。

（奥本愛菜）

森づくり活動で植樹に取り組む児童たち
＝西川町・西川小

森林整備資金援助 4社に感謝状贈る

山形で推進機構

やまがた森林と緑の推進機構（山形市、今井敏理事長は17日、同機構が所有する森林の整備に協力している山形日産自動車（山形市、小関賢一社長）と日産プリンス山形販売（同、あいおいニッセイ同和損害保険山形支店（山形市、吉尾賢一支店長）、エルデック（酒田市、佐藤清社長）の4社



感謝状を受け取った（右から）小関賢一社長と吉尾賢一支店長、佐藤清社長、山形市・やまがた森林と緑の推進機構

に感謝状を贈った。

いずれも県を含めた里山保全の連携協定「やまがた絆の森」協定」を締結しており、本年度の契約更新に合わせて謝意を示した。

3期目（1期4年）の山形日産自動車と日産プリンス山形販売は朝日、大江両町

の76杉、3期目（1期3年）の同支店は西川町の54杉、2期目（1期5年）のエルデックは酒田、庄内両市町の64杉の森林整備に対し資金援助している。

同機構で贈呈式が行われ、今井理事長が「健全な森林の育成に向けて引き続き支援をお願いしたい」とあいさつ。小関社長、吉尾支店長、佐藤社長に県産イチヨウ材を使った感謝状を手渡した。（近岡国史）

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

【 みどりの循環県民活動推進事業 】

令和7年10月6日 山形新聞

R7. 10. 18

山形新聞



森林整備の予算確保
労働力育成など要望

関係3団体、県に
やまがた森林と緑の推進
機構（今井敏理事長、県
森林組合連合会（佐藤景一
郎会長）、県木材産業協同
組合（安部雄祐理事長）は
20日、森林整備に関する県
予算の確保や県産原木の輸
出支援などを要望した。
他に、ツキノワグマによ

る樹木の皮剥ぎ被害予防
策の支援制度創設、情報通
信技術や高性能林業機械の
活用による木材の効率的な
生産、林業労働力の確保・
育成などの推進を求めた。
やまがた緑環境税について
は、社会情勢に応じた使途
の見直しを要望した。
この日、今井理事長、佐
藤会長、安部理事長が県庁
を訪れ、高橋和博県農林水
産部長に要望書を手渡し
た。今井理事長は「やまが
た緑環境税など独自の財源
をつまぐ活用してほしい」、
高橋部長は「予算の確保と
ともに効率的な事業の推進
にも取り組みたい」と話し
た。（近岡国史）
要望する（中央から左）今
井敏理事長、佐藤景一朗会長、
安部雄祐理事長 県庁

【 その他 】

R7. 10. 21

山形新聞

「ニッサンの森」で環境保護

朝日・自然観敷地内 社員と家族ら



環境保護活動に取り組む参加者
朝日町・ニッサンの森

山形日産グループの社員と家族が13
日、朝日町のAsahi自然観敷地内に
あるニッサンの森で、環境保護活動
に取り組んだ。参加者は、これまで植樹
した木が大きく育つよう願いを込め、下
草を刈った。
山形日産自動車（山形市、小関眞一社
長）と日産プリンス山形販売（同）から
計11人が参加した。懇話会も行われ、
端材を使った子ども用の椅子作りに挑戦
した。日産プリンス山形販売花沢店（米
沢市）の金子優貴さん（31）は「空気のお
いしい朝日町に貢献できたとうれし」と
と汗を流していた。
同グループは2017年に県と「やま
がた絆の森」協定を結んだ。この森をニ
ッサンの森と付け、森林を維持するた
め定期的に活動している。（奥本愛菜）

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

R7. 10. 22

山形新聞

体験や旬の特産物
家族連れなど集う
つるおか大産業まつり
鶴岡市の農林水産業や商
工業をアピールする「つる
おか大産業まつり」が18、
19の両日、同市小真木原公
園で開かれた。果物や海産
物など旬の特産品の販売、
木工の体験ブースが並び、
家族連れでにぎわった。



約70の企業・団体が参加
し、庄内柿やキノコ、だだ
ちや豆ごはん、カニ汁のほ
か、木製品などを扱うブー
スを設けた。体験コーナー
で小箱作りにも挑戦した同市
藤島小5年五十嵐叶さん
⑩は「少し難しかったけ
どうまくできた。楽しかつ
たと話した。
市などで行う実行委員
会が主催した。姉妹都市の
北海道小臼町と岩手市の
ほか、鶴岡市と同様に国連
教育科学文化機関（ユネス
コ）創造都市ネットワーク
認定都市の大分県臼杵市、
兵庫県丹波篠山市の特産品
販売のブースもあった。
（真壁慶次）

森とみどりを
未来につなごう
やまがた緑環境税

私たちは、間伐材を活用した活動や 森林の環境整備と森林学習等を行っています！

県では、やまがた緑環境税を活用し、市町村や県民の皆様が地域と連携して取り組む森づくり活動を支援する「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」を実施しています。
令和7年度は、子どもたちに対する森林・自然環境学習や里山林の保全活動など、202事業が行われています。

森の楽器の会
（最上町）

藤倉山ブナ林保存会（鶴岡市）

間伐材等を活用した手作り楽器の製作体験や演奏活動を通して、子ども達に森の大切さを伝えています。
森から生まれたやさしい音色を、ぜひ一緒に奏でてみませんか？

藤倉山の森林が地域にもたらす恵みなどを後世に継承するための環境整備と市民登山・学習散策を行っています。

問い合わせ先 〒990-8570 山形市松波2-8-1 環境エネルギー部みどり自然課 TEL:023-630-2432

環境みんなど
を元をきつくり

【 みどりの循環県民活動推進事業 】

R7. 10. 23 山形新聞

【 みどりの循環県民活動推進事業 】

R7. 10. 24 山形新聞

付近で目撃情報
市植樹祭を中止

山形市は昨日、同市の西蔵王公園付近でクマの目撃情報があったことを受け、28日に近隣の市有林で予定していた市植樹祭を中止すると発表した。クマは19日夜に公園入り口駐車場から西に約800m付近で目撃されている。

(小林達也)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年10月24日 山形新聞

菌植タケシイ
大きくなあれ

高畠小4年生



「簡単に打ち込めて面白い。またやりたい」と笑顔を見せた。ほふ木は各自で管理し、成長を見守る。収穫までは1年以上かかるという。

(甲斐根敬亮)

町が米沢地方森林組合(米沢市)の協力を得て、毎年実施している。この日は児童約50人が木づちを使ってナラの木に菌を打ち込んだ。石田玲燈さん(10)は

高畠町高畠小
(太田和広校長)

高畠小4年生が22日、同校でシイタケの菌植体験に取り組んだ。

町が米沢地方森林組合(米沢市)の協力を得て、毎年実施している。この日は児童約50人が木づちを使ってナラの木に菌を打ち込んだ。石田玲燈さん(10)は

木づちでシイタケの菌を木に打ち込む児童
＝高畠町・高畠小

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年10月27日 山形新聞



サンザシの実を 児童たちと収穫

酒田、松原に親しむ会

酒田市の「万里の松原に親しむ会」(三浦武会長)は、30日、万里の松原自然観察と自然観察に訪れており、教育林で、同市松陵小の児童と一緒にサンザシの赤い実を収穫した。写真。同会

がジャムに加工し、児童に給食で味わってもらう。教育林には友好都市の中国唐山市から贈られたサンザシが植樹され、同会が維持管理を行っている。毎年、松陵小の3年生が収穫体験と自然観察に訪れており、この日は22人の児童が参加した。子どもたちは会員の指導を受け、たわむれに実った真っ赤な実を丁寧にもぎ取った。村井玲鳳さん(8)は「楽しかった。食べるのが楽しみと話していた。両市では1976(昭和51)年、酒田で酒田大火、唐山市では大地震がそれぞれ発生した。ともに大規模災害から復興したことが縁で90年に

友好都市盟約を結び、酒田が梨、唐山市がサンザシの苗木を互いに贈った。(阿久津誠)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年11月1日 山形新聞

紅葉眺め名所巡り

高畠・大洞山 観音岩トレッキング



観音岩の名所を巡ったトレッキング
＝高畠町二井宿

高畠町「井宿の大洞山」にある景勝地・観音岩を散策するイベント「観音岩トレッキング&辛寒会」が2日、開かれた。参加者たちは紅葉が深まった木々を眺めながら、西国三十三観音などを巡った。

県内外から集まった約30人が、江戸後期に地元の宮大工が安置した三十三観音をはじめ、巨大な岩に覆われた養蚕神社、十三仏などを見学しながら、約1・5kmの山道を歩いた。途中、秋の山々が一望できる「眺め岩」で、絶景を望んだ参加者からは「きれい」「すごいね」などの声が漏れ

た。横浜市の会員宮越亮さん(60)は「都会では季節を感じにくい。東北の秋は素晴らしい」と満足した様子だった。地元有志でつくる「三井宿わくわくプロジェクト」(神保一雄代表)が企画した。(甲斐根敬亮)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年11月7日 山形新聞

園庭で遊ぶの楽しみ

長井めぐみビオトープなど整備
幼稚園

長井市の認定こども園「長井めぐみ幼稚園」(木村景園長)の園庭にシンボルツリーとビオトープ(生物生態空間)が整備され、お披露目を兼ねた記念式典が4日、同園で行われた。老木のナラを植え替え、正門近くにメダカが泳ぐ池を整えた。整備は国土緑化推進機構(東京)の学校環境緑化モデル事業を活用。コンクリート大手ローソンのレジ横に設置されている「緑の募金箱」に寄せられた善

意が充てられている。2006年から全国で続く取り組みで、県内では3件目。式典には園児をはじめ、やまがた森林と緑の推進機構やローソンの関係者ら計約100人が出席した。木村園長があいさつで園児に「シンボルツリーもビオトープも大切にしてください」と呼びかけた。年長児が同園で受け継いでいる獅子舞を披露し、「園庭で遊ぶのがますます楽しみです。ありがとうございます」と感謝の声を合わせた。
(野田達也)



新しくできたビオトープをのぞき込む子どもたち
＝長井市・長井めぐみ幼稚園

舗道

●…松枯れが広がる庄内海岸林を守るボランティア活動「砂防林を育てよう」が8日、酒田市の市美術館周辺であり、地元マツ林の整備に取り組んだ写真。

●…雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、約130人が参加した。約1秒の林でクロマツに絡んだフジのつるを切ったり、生育を阻害するニセアカシアなどを伐採したりした。砂防林の再生に役立つと期待されるコナラは残した。

●…先人が残した砂防林を市民の手で守る意識を高め、良好な環境を次世代へ受け継ぐと県庄内総合支庁と市が主催し、2年ぶり25回目。ともに宮野浦小4年の重



菜々さん(10)と伊藤有帆さん(10)は「授業でクロマツ林の役割を学び参加しようと思った」「堅いけど切るのが楽しい」とそれぞれ話した。
(鈴木信)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年11月9日 山形新聞

【 その他 】

令和7年11月11日 山形新聞

豊かな里山の風景を再び

山形市岩波の鬼越地区を拠点とする「鬼越の森再生プロジェクト」が本年度、市内の学生有志を巻き込んだコメ作りに挑戦した。代表を務める山形大教授の松本剛さん(53)が、2021年に同地区に移住して始めた個人活動がプロジェクトへと発展。森林や古道の整備、コメ作りを行い、豊かな里山の風景を取り戻して地域のつながりを再構築しようと取り組んでいる。活動の背景や成果、今後の展望を聞いた。

「プロジェクトを始めたきっかけは、」
「引越してきて目についたのが、樹齢60年以上の高さ30メートルを超えるスギ林。うっそうと茂り、秋以降は日照を遮ることで、倒木の危険もありました。間伐を始める、地域住民から『明るくなったね』『うちもやってみよう』など声がかかるようになった。少しずつ地域の皆さんの理解が得られ始めたように思います」

「酒造りに挑戦。祭りを再興し地域盛り上げる」



「森林整備の過程で古道を見つけたんです。伐採した木を運び出す時に使った道が、江戸期から続いている古道であることが分かりました。かつては最上三十二観音の第6番札所・耕種寺と第7番札所・石行寺を結び、平清水・岩波間の約800メートルの道です。復元すると、地の保善団の手でまたちが散歩に使ってくれるようになりました。森への関心を高められたうれしいです」

「問題はもあるんです。地域は明るくなったものの、また手を入れるべきところがあったんです。特に奥山のノナギやヒキ

は妻を付けないので、野生動物の餌を生み出します。近隣の山も人が入らなくなると、みんなどんな緩衝地帯としての役割を失い、インシヤクマが餌を求めて民家周辺まで下りてくるようになります。根本的な取り組みを始めなければ、問題は深刻化するでしょう」

「コメ作りについて教えてください」
「岩波地区を歩くとき、以前は棚田だった場所がたくさんあります。かつては暮らした中心にコメ作りがあったというところです。昨年、家族や友人と共にコメ作りに挑戦する

(柴崎愛)

蔵王の樹氷どう守る？

山形で森づくり発表会



やまがたの森づくり発表会が20日、山形市の山形国際交流プラザで開かれ、蔵王の樹氷再生に向けた取り組みなどについて講演した。

山口さんは、山形市の蔵王山で枯死被害が深刻なアオモリトドマツの再生を目指す官民の活動に協力。2021年に始まった山形新聞・山形放送8大事業「みどりの学び 蔵王樹氷再生プロジェクト」では、第1回からガイド役として参加している。

アオモリトドマツの被害は約2万3千本、16センチ及び。山口さんは枯死に至った経緯や現地で進む稚樹移植について説明。「2万本の稚樹を植えるのは無理だ」と思う。稚樹を植えることが重要だ」と強調した。全国で多発するクマによる被害も話題に上り、「大人数でクマを追いつつ、巻き狩りが行われなくなり、人間を恐れなくなった」と話した。

(小田信博)

【 森づくりサポート体制推進事業 】

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年11月16日 山形新聞

R7.11.21

山形新聞

日曜インタビュー

鶴岡・NPO法人 明日のたね代表理事 丹治 亜香音 さん(51)

何度も挑戦できる場提供

「子どもが自分で決め、行動する気持ち後押し」



子育て支援事業を展開する鶴岡市のNPO法人「明日のたね」は、子育て支援センターの運営や、子どもたちに自然体験の場を提供する活動などを展開している。代表理事の丹治亜香音さん(51)「同市藤沢」は「子どもが自分で決め、行動する気持ちを後押ししたい」と語る。活動の背景や思いを聞いた。

「設立に至った経緯を教えてください。」

「2010年に結成した市内地域子育て応援協議会の運営に携わった有志3人が13年、前身となる任意団体『庄内いもプロジェクト明日のたね』を立ち上げた。3人は当時、0〜8歳の子を持つ主婦で、同じ悩みを抱える人がいるはずだと考え、身近な人の役に立ちたいという思いが原動力になりました。現在のNPO法人になったのは14年6月です」

「活動内容は。」

「学校の長期休み期間など

に子どもが「地域の先生」と交流する『いも大学(※)』や、『自然探検学習』森のこころ』などを企画しています。核家族が一般的になり、昔は当たり前だった経験をしないまま育つ子が増えました。みそや梅干し、豆腐を作る体験のほか、海で水をくむところから挑戦する塩作り体験も実施しました。夏休みや春休みに子を残かってほしい保護者や、思い切り遊べる場所がほしい子どもたち双方のニーズに応えたいと思い、取り組んでいます」

「活動の中で大切にしていることは何ですか。」

「子どもたちが、あんなにハイタッチするくらいのもつても100%の満足度は決してありません。大事にするよう伝えていきます。子どもが自分で考えて行動することを尊重しており、失敗してもいいんだ」と思ってもらい、何度も挑戦できる場でありたいと考えています」

「10月に市が初めて開催した子どもの遊びをサポートする『プレイリーデー』の賛成

講座を受講しましたが、講座では何を感じましたか。」

「これまでの活動で私たちが大切にしていたことが間違っていないなと感じました。同時に、自由に遊んでもらうつもりでも案外制限をかけていたと思いました。子どもが気付けない危険は大人が排除する必要がありますが、本人たちは一回試してみれば何が危険なのか自分で学んでいきます。子どもの遊ぶ権利を保障するのが大人の役割だ、というのを改めて考える機会になりました」

「今後の展望は。」

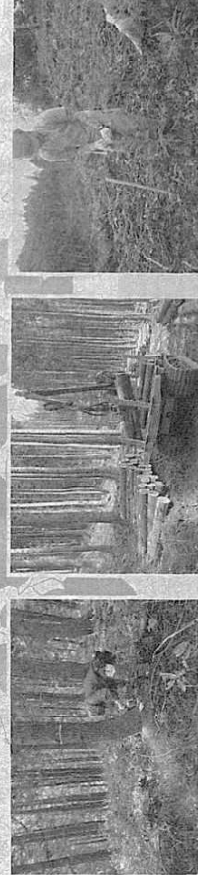
「自然の中で自由に遊ぶ『プレーパーク』を参考に、鶴岡市長沼にあるセンターの園庭にミニプレーパークを造ることを検討中です。泥遊びや工具を使った遊びなどを用意する予定です。子どもは立派な遊具がなくとも自分で楽しめを見つけます。自由にのびのびと遊ぶ姿を見て、保護者の方も『子どもがやらなくていいんだ』と肩の荷を下ろし、接し方が変わるきっかけになればうれしいです」

(棚井 文子)

やまがた緑環境税を財源に 荒廃のおそれがある森林の 整備等を行っています!

森とみどりを
未来につなごう
やまがた緑環境税

県では、森林の保全、水源かん養機能や自然環境の保全等の公益的機能の維持増進及び持続的発展のため、やまがた緑環境税を活用して、間伐等の施策が適切に行われない等手入れが不十分で荒廃のおそれがある人工林や、森林病害虫や気象災害等により活力が低下している里山林等を対象に、県内各地で間伐や被覆木の伐採等の森林整備を毎年約1,000ha行っています。また、間伐材等の利用促進のための運搬経費や、再造林を行っています。



森林整備(間伐)の実施

間伐材を利用するための運搬

再造林の実施

各県SNSで
情報発信中!

今後の予定はこちら
「やまがた緑環境税」の
詳細情報はこちら

問い合わせ先
〒990-9570 山形市紫雲2-8-1
環境エネルギー部みどり自然課 TEL:023-630-2207

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年11月30日 山形新聞

【 みどりの循環県民活動推進事業 】

令和7年11月30日 山形新聞

1人暮らし高齢者に
弁当などプレゼント
いこいの会
大石町の福
祉ボランティア
いこいの会（小玉勇会長、
32人）が19日、町内の1人
暮らしの高齢者宅を訪れ

分かれ、計15軒ほどに届け
た。以前は会員として配っ
ていたという同町大石田の
鈴木栄さん（91）は、贈り物
を受け取り「頂くとやっぱ
りうれしい」と喜んだ。
（木村敏郎）

井当やクリスマスプレゼントを贈った。
県のやまがた緑環境税や
会員の善意を活用し、県産
木材を使ったベンチ立て、ロ
ールケーキなどを用意し
た。会員9人が7コースに

いこいの会のメンバーから
弁当などを受け取る高齢者
大石町
大石田



遡上サケの生態
学びつかみ取り
鶴岡・あつみ小
鶴岡市あつみ小（佐藤英
与校長）の「サケ生産活動
の学習」が11月28日、近く
の庄内小国川漁業生産組合
（本間喜代治組合長）のふ
化場などで行われ、4年生
10人がサケの生態に理解を
深めた。

同組合は庄内小国川に毎
年、シロサケの稚魚を約
25万匹放流している。児童
は本間組合長の説明で、サ
ケが3～5年かけてアラ



つかみ取りしたサケを
抱える児童
＝鶴岡市横代

スガ湾などを泳ぎ、産卵の
ため戻ってくることを学ん
だ後、いけすの中でサケの
つかみ取りに挑戦。組員
と協力しながら体長80cm
ほどのサケ10匹を捕まえ
て、ふ化場内に運び、採卵
と人工授精の作業を見学
した。

三浦菜愛さん（10）は「近
年は地球温暖化などで、遡
上するサケが少なくなっ
ていると聞いた。たくさん
の卵がふ化してほしい」と
話した。児童は来年、ふ化
した稚魚の餌やりと放流を
体験する。（省沢杏佳）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年12月3日 山形新聞

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和7年12月23日 山形新聞

地域交流や活性化
県が「絆の森協定」
ヤマト運輸支店・山形市と
県は7日、ヤマト運輸山
形支店支店（山形市・小沢
信幸支店長）、森林所有者
の山形市と、森づくり活動
を通して地域の交流や活性
化を図る「やまがた絆の森
協定」を締結した。

協定では、同市門伝の市
有林0.6haを「ヤマト運
輸の森」とし、社員が定期
的に下刈りやつる切り、歩
道整備に取り組む。社員が
森林整備の必要性を学ぶ機
会も設ける。協定期間は2
031年3月末までとし
た。現地には23年6月のや
まがた絆の感謝祭・山形市
植樹祭で、参加者が少花
粉スギを植えている。

協定式を県庁で行い、吉
村孝弘知事、小沢支店長、
佐藤孝弘山形市長が協定書
に署名した。ヤマト運輸は
県内で約1400人が働い
ており、小沢支店長は「一
人一人が地域の一員として
汗を流し、未来につながる
森を育てたい」とあいさつ
した。県みどり自然課によ
ると、協定締結は今回で42
企業・団体、活動地区40カ
所となった。（妻大晃）

「やまがた絆の森」の協定書
に署名した（左から）小沢信
幸支店長、吉村孝弘知事、
佐藤孝弘山形市長、県庁

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

R8.1.8. 山形新聞

酒田の木材で家づくり 「夢ネット」が無料相談会

25日、体験コーナーも

酒田市内の木材の製材会社や工務店、設
計会社などで組織する「さかた木づかい夢
ネット」は25日午前10時～午後3時、同市
の酒田産業会館で、地元の木材を使った家
づくりの無料相談会「酒田の木で家づくり」
を開催する。

会員が新築やリフォームの相談に乗るほ
か、木製の笛やロボットの製作、木を焦が
して絵や模様を描くウッドバーニングの体
験コーナーをそれぞれ4回設ける。体験は
小学生以上が対象で各回4人限定。事前に
事務局に申し込む。

木工品や、酒田杉のパネルを展示する。
来場者には数量限定で酒田産のまきをアレ
セントする。

同ネットは市民の地域木材の利用促進
や、森林荒廃の防止、住宅建築の伝統技術
の承継などを目的に、2007年に発足し
た。問い合わせ、申し込みは事務局の市農
林水産課0234（43）8708。

（鈴木悟）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和8年1月22日 山形新聞



安達喜代美顧問(右)に目録を渡す吉尾賢一支店長(山形市・やまがた森林と緑の推進機構)

やまがた緑の機構に整備費100万円を寄付
あいおいニッセイ損保
あいおいニッセイ同和損害保険(東京)は21日、森

林整備に役立ててもらおうと、やまがた森林と緑の推進機構(今井敏理理事長に100万円を寄付した。山形市の同機構で贈呈式が行われ、同社山形支店の吉尾賢一支店長が「SD

Gs(持続可能な開発目標)や環境に関することで、山形に役立ちたい」と述べ、同機構の安達喜代美顧問に目録を手渡した。安達顧問は「循環型社会の実現に向け、森林整備に役立てたい」と感謝を伝えた。同社は紙資源の削減を進め、ペーパーレス保険証券やウェブ約款の件数に応じ、環境保全に取り組む全国の団体に寄付を行っている。今回の寄付金は同社や県、同機構によるやまがた緑の森協定に基づき西川町での森林整備などに充てられる。(大滝 玲)

【 やまがた絆の森づくり推進事業 】

R8.1.22.

山形新聞



ハクチョウの生態詳しく

鶴岡で講座 調査の手法を紹介

鶴岡市自然学習交流館ほとりあの(里地里山字)特 環境保全財団の嶋田哲郎研究員が17日、同館で開か 研究員(56)が、ハクチョウ

嶋田哲郎研究員が「スワンププロジェクト」を紹介した特別講座
—鶴岡市自然学習交流館ほとりあ

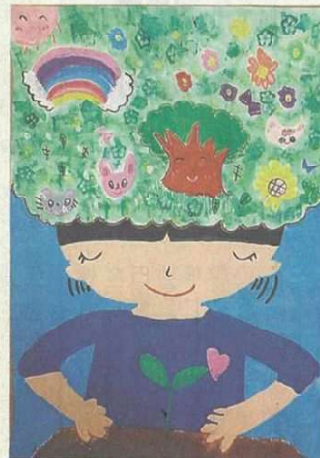
た。データを基に海を越える際に水面近くを飛ぶことや、気温の低下、積雪などで南下するケースを解説し「写真がなければ分からない情報だった」と話した。一般にもデータを共有できるアプリを活用し、交流サイト(SNS)などで投稿してもらうことで、新たな生態の発見につながるという研究を進めていきたい」と強調した。同館を運営する庄内自然博物館推進協議会が主催し、約30人が聴講した。(真壁 慶次)

調査する「スワンププロジェクト」を紹介した。嶋田研究員は2023、25年、オオハクチョウとコハクチョウ計約40羽に装置を取り付け、4時間ごとに送られる位置情報と画像を分析し

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和8年1月24日 山形新聞

佐藤さん(長井小) 全国最高賞



特選に輝いた佐藤彩羽さんの作品

作品は自然豊かな環境に思いをはせながら植栽する自分を描いた。絵の具とクレヨンのほか、半分に切ったオクラの印影も生かして草木や花、虹、動物などを描写した。自然があふれる理想の環境を表現し、「緑がいっぱいの景色が好きなので、頑張って描いた」と振り返った。出来栄には納得のようで、最高賞の受賞に「すごくうれし」とはにかんだ。

コンクールは国土緑化運動の一環、植樹や森林、樹木の保護育成を促し、緑化思想の高揚を図るため、19

自然あふれる 理想の環境表現

50年から開催している。今回は全国から2万3757点の応募があり、小学校と中学校、高校の各部で計51作品が入賞した。特選は各部門で2点が選ばれた。表彰式は5月17日に松山市で開かれる「全国植樹祭えひめ2026」の席上、行われる。

本県ではほかに、中学校の部で保科里奈さん（長井南中3年）が準特選の林野庁長官賞、小学校の部で山内新さん（長井小2年）が入選の国土緑化推進機構理事長賞に、それぞれ選ばれた。（須藤）



長井 国土緑化推進機構が主催する国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの小学校の部で、長井市の佐藤彩羽さん（7）が長井小1年、写真Ⅱの

作品が最高賞の特選（農林水産大臣賞）に輝いた。県によると、本県小学生の特選受賞は初めて。佐藤さんは「自然の良さが伝わる」といなど思っ

【 その他 】

やまがたもりもりの森代表

鈴木貴子



日曜随想



「よし、やろう」と。私は長井市の葉山連山（通称・西山）の裾野で、自然体験ができる「やまがたもりもりの森」を運営している。2023年春に家族でUターンし、放置されていた妻家裏の森を整理が幸せになるウエルビーイングの森と、は首都圏のみならず、北は北海道から南は沖縄、そして世界に広がっている。冬期間は基本的に

じられること、私父をはじめとする「おもてなし」や「人」が好きな人たちが集まること、が、この場所の特徴だと思っ

人に迷惑をかけちゃうから、走らないで」と怒らなければいけないストレス。おもしろくもなうため、まだ見せなかったユニークなものを活用するもの、やめられなくなった子どもを叱って諭す自己嫌悪。そうした日々は裏不足も相まって、漠然とした不安や不満がたまり、このライフスタイルに心と体が限界を迎えていた。

心と体が奥底から癒えていったのが分かった。わが子が一層いとおしく感じ、子育てが楽しくなった。この自然環境に、故郷に、私自身が救われたのだ。この経験が「やまがたもりもりの森」が生まれるきっかけとなった。

私は今、「子どもたちが日本の田舎最高！と言え社会をつくる」という山に登っている。仲間が増え、移住者も誕生した。大きな里山の維持は正直、簡単ではない。すでに心は何度か折れた。それでも、この宝物のような自然環境を子どもたちに残していきたい。地域内外の人たちが「温かく大切な」時間を過ごせるような唯一無二の拠点を一つつくりたい。

連載では、このチャレンジの中から生まれる事柄や思っことをありのままにつづいていきたい。そして、微力ながらも子育て真っ最中ママを応援するメッセージになっていったらうれしい。

【 その他 】

R8.1.25 山形新聞

「日曜随想の執筆を引き受けてもらえませんか」。本紙長井支社長からの電話に最初は「ゲゲゲ」と思っ。文章を書くことになはてはいるわけではなく、国語でもあらかと言えは苦手な科目だった。この連載を期待している当時の先生、こめんなさい(笑)。何より、Uターンしてから大切にしている「空白と余裕」を失う気がして躊躇した。

「日々の活動やこれまでの経験で感じたことを自由に綴ってもらえれば」。この言葉が、持ち前のハードルを下げてもらい、トライするのことに意欲を向けてみた。ふと、Uターンして間もない頃に、とある信頼する方にかかれた言葉を思い出した。「まずは頼まれごとをして、こまに」。心が固まった。

自然を体感する場所ではあるが、あくまで「里山」。自然界と人間界の境界線の暮らしが肌で感じられること、代々幸せに暮らしてきた「人の営み」を感じ

そしてコロナ禍。公園も使えなくなった状況に私の本能が動いた。育児休業中の私は相談して帰省した。当時はずいぶん悩んでいた末の決断だった。が、今は当時の自分に感謝している。

ただただ雄大に存在する山々、美しく力強い自然。朝から晩まで野を駆け回り、鶏と仲良く遊ぶ子どもたちを見て私の

（長井市）

故郷と自然に救われて

にクロスしているが、特別イベントとして開催する雪遊びや、メープルサップ採集体験は地域内外からの申し込みが多く、普段は静かな森も少ししにぎやかに

自然を体感する場所ではあるが、あくまで「里山」。自然界と人間界の境界線の暮らしが肌で感じられること、代々幸せに暮らしてきた「人の営み」を感じ

さらに、室内を走ったり跳ねたりするわが子に「下の階の

良く遊ぶ子どもたちを見て私の

（長井市）

R8.1.26.

山形新聞

松本 周利



霜を踏む音が、やけに大きい。息は白く、手袋の上からでも指先がしびれる。夜の冷えを抱えたままの、また薄暗い山の中、闇を見回る。歩を進めながら、山の周波数に自分を合わせていく。動物たちが残した気配がふいに立ち上がり、私は日常の向こう側へと滑り込む。

大学はもうすぐ春休み。休み中の楽しみの一つが狼だ。本県のイノシシ・ホンシカ狼は3月末まで続く。私は師匠のヨシオさんへ、闇を使ったイノシシ狼を狩っている。狼は、前回触れた「鬼越の森再生プロジェクト」の環として、地域における害獣被害を減らすために始めた。また同時に、自分で食べる肉を自分で手に入れる試みでもある。

日曜随想



己を剥き出しに向き合う

ヨシオさんとの出会いは2021年にさかのぼる。自宅の建設作業を見学しているとき「ほれ、引っ越し祝い」と言っていノシシの後ろ脚一本、丸のまま渡された。自分の世界にいくなり飛び込んだ真物の手触りを、今でも強烈に覚えている。ヨシオさんは山のことなら何でも知っている。彼に付いて山に入り、山菜やキノコが採れる場所、獣道の見つけ方、動物の習性などを教わるうちに、いつの間にか狼の世界に引きずり込まれた。

狼は、山を「読む」ことが始まる。獣道、足跡、掘り返された地面、樹皮に擦り付けられた泥、草木の向き。それらを読み取りながら闇を仕掛ける。そんな「被傷性」を消さないまま、他者と真剣に向き合うと言っている。

人間学は近年、この「他者」の中に人間だけでなく、人間以外の動物や無生物まで含めるようになった。では、被傷性の問題を狼という文脈の中で考え、出た状態で向き合うとはどういうことになるのだろうか。

「動物を殺すのが楽しいなんて、残酷な人だ」と思う人もいるだろう。確かに、闇に掛ければ命を奪う。動物との格闘中に興奮している自分を客観視して、己の野望に驚くこともある。しかし、圧倒的な力を振りかざして痛めつけ、苦しむ姿を見て喜んでいられるわけでは決していない。むしろ、そこから最も遠いところに踏みでまわっている。

私たちは、獲物とはこん棒とナイフだけで対峙し、銃や電気やりのたぐいは一切使わない。

常に「やられるかもしれない」という被傷性の余白を残している。止めどは短く、無駄に長引かせない。必要以上に傷つけず、速やかに食べ物へと変える。内臓や骨髄まで食べなければ無駄にせず、いたたく。皮まで含めてできる限り生かす。

闇に掛かった獲物に向き合うとき、私は、心を開いて動物と通じ合う。みないなレトリックで自分をこまかしくない。ヨシオさんの言葉を借りれば「狼は命のやりとり」だからだ。安全圏を飛び出し、常に有利でいられる装備を捨て、己を剥き出しにして世界と向き合う。剥き出しになつて向き合うのは、相手も「理解した気になる」ためではない。こちらに起る変化と危険の可能性を引き受けたまま、なお進むためだ。死をいきり意識するほどに、生は不思議と輪郭を増す。里山の表裏で変わるのは、「私の世界だけではない。私自身も変わっていく。」(山形市)



木製ロボット作りを体験する親子
＝酒田市・酒田産業会館

田市の酒田産業会館で開かれ、来場者がウッドクラフトを体験したり、木のぬくもりに触れたりした。

新築やリフォームの相談コーナーが設けられたほか、家族連れなどが木製の笛やロボット製作などを楽しんだ。はんだこてで木を集めて、絵や模様を描くウッドパーキングに挑戦した酒田市門田の会社員関原新一さん(58)、愛子さん(54)夫妻は、愛子と愛犬をアゲイン「初めての体験だったが、まあまあ出来かな」と笑顔で語った。

酒田市内の木材の製材会社や工務店、設計会社などで組織する「こがた木づくり夢ネット」(会内勝彦会長)が主催し20回目。来場者には酒田産のまきもプレゼントされた。

(鈴木悟)

【みどり豊かな森林環境づくり推進事業】

令和8年1月27日 山形新聞

【みどり豊かな森林環境づくり推進事業】 R8.2.8. 山形新聞

多世代交流地域に笑顔



イベント企画

仲山常吉さん(米沢)



「万世アルカ・クラブ」会長の仲山常吉さん(米沢市)

「誰もが気軽に集える居場所をつくりたい」



会員が児童に昔遊びを教えた交流事業
＝米沢市・万世小

え、地域の結び付きが弱くなったと感じる」と語る。地域全体で子どもを育て、守っていくという意識が大切だという。さらに災害時や困った時に支え合えるよう、日頃から関係性を築くことが重要だと強調する。

昨年10月には、会員を対象に教養講座を企画。住宅火災の犠牲者のうち約7割が65歳以上の高齢者であることから、消防署の職員を講師に招き、具体的な対策を学んだ。住民の「認知症の悩みを

周囲に相談しにくい」との声を聞き、認知症サポーターによる講演会も開いた。

仲山さんには、木工教室の先生という顔もあ。自然豊かな地元の魅力を知ってほしいとの思いで、約6年間、同地区の樹木や木の実を使った工作を教えている。「少子高齢化で地域運営の形も変化するが、どの世代も笑顔で暮らせるようにしたい」と仲山さん。来月には市社会福祉協議会と連携した福祉イベントを企画している。「誰もが気軽に集える居場所をつくりたい」と意気込ん

【 その他 】

R8. 2. 8.

山形新聞



木の温もりを感じ作品作りに挑戦
ワークショップ
米沢 やまがた山の恵み研究会
(板垣芳彦代表)による木工ワークショップが3日、米沢市の里山レジョ

ンハウスで開かれ、子どもたちが木の感触や香りを感知しながら作品作りに挑戦した。写真。

同市の英語教室「みなみはらえいこくら」に通う児童約30人が参加した。板垣代表がさまざまな木の特性や用途、自然環境の変化について説明。子どもたちは斧や材を使った写真立てや、枝と紙ひもで作るミニ椅子の制作に取り組んだ。

英語の授業と合わせ「Sand (紙やすり)で地元の木や自然に親しんでもらおうと、同会がやまがた緑環境税を活用して企画した。(杉山みなみ)

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和8年2月8日 山形新聞

て、(米沢市)次回22日に掲載します

やまがたもりもりの森代表

鈴木貴子



「あの方に会いに行ける」。
そのワクワクを胸に、白いかつ
ぽうを着て手拭いを頭に巻い
て「よし、行ってきますー」
と家を出た。3連休真ん中の2
月22日。向かった先は長井市に
ある農家レストラン「なごみ
庵」。店主の宮野あきさん（ち
えはあちゃん）は憧れの人。ち
えはあちゃん、ちえはあちゃんに
近づきたくて、いつもの姿をま
ねてきたのである。

地元で「葉っぱ塾」を主宰す
る八木文明さんに誘われ、この
日は置賜地方の郷土料理「みそ
餅」の作り方を習いにうかがっ
たのだ。レシピを記した紙はな
い。ちえはあちゃんにはかくく
やうに見せてくれる。長年の経
験から「生まれないうちえはあ

としたあはいいな。よく観察
して一緒に作ってみないと受け
取るこのできない、形のない
レシピでもある。

蒸されていももち米の匂いを
かきながら、ある記憶がよみが
えった。餅つき器に入れる前の
一握りのもち米をもうえるのが
うれしくて、蒸し上がりそうに
なると祖母の後ろについていた
幼少期の思い出。

とたたったなあ」と、1人暮らしを始めた大学時代に感じた。
しを始めてから、形に残
り、長期休みで帰省した
際は祖母の畑の草や料理を撮
影したこともあった。一方で
、細作業をはじめ、収穫から食卓
まで続く処理や保存、調理方法
といった一つ一つを直接、祖母
から学ぶことはかなわなかつ
た。

「ぎます」をテーマに、地域の
コミュニティセンターの協力を
得て、地域のおばあちゃんから
「葉っぱ作り」を学んだ。

題して「やまがたもりもりの
森 伝統食を引き継ぐVlog」
と、同世代も集まり、わいわ
いと楽しい時間となった。そう
そう、この時間が私は好きだ。
地元で採れた大地の恵みに心を
躍らせながら、気持ちの通い合
う人々と食を囲む時間。それ
はきっと、五感がフルにくすぐ
られる時間であり、自然と直接
つながり、生きる喜びをシェア
できる時間だから、これからも
同じ志を持つ仲間と一緒に、楽
しく長くつづけて、やっつけ
きたいと思っています。

農や食はとにかく実践しな
い。まずは家でみそ餅を作っ
てみよう。年に1度、子どもたち
と一緒に作っているみそ餅を使っ
て、最高においしいみそ餅がで
きるに違いない！「おばあち
ゃん、天国から見えてお」

「一口は、けいちゃん」。
そう言ってくれる祖母。当時の
私は感覚、蒸し終わりの時間を
分かっていたのだ。一握か
しないあ。ちえはあちゃん、
横になりながら、今は「祖母と
いるような気分」だった。

私は農業を営む祖父の隣
で、自然にまみれた幼少時代を
過ごした。畑でカエルやミミズ
と遊んだり、種を拾ったり、草

車と同じで、感覚はずっと忘れ
ない。社会人になった頃の
あまり役に立たなかった特技は
が、今では海外や都会から田舎
暮らしや里山暮らしを体験した
いと訪れてくれる方々に喜んで
もらっている。

祖母が調理する食卓には毎
日、旬の畑のものや山のものが
並んだ。日々、採れたものを
をいたたく。「それです（こ

とはいえ、今からでも遅くは
ない。むしろ、かきやんすは
ないかも。いつからか
少しずつ口にし始め、現実にし
ていくと決めた。

「うーん、今年で3年目になった
昨年、ついに畑作業を開始した。
地域の方々に全面的に助けも
らい、ひたすら、いつかの笑
を成らせたいな」。

に「おばあちゃん料理、引き継

【山形市】

日曜随想



「戻ってきてね」

あつみ小4年生
サケの稚魚放流



「戻ってきて」と声をかけ、稚魚を放流する児童たち
＝鶴岡市・庄内小国川

鶴岡市あつみ 得て、ふ化場近くでサケの
小（佐藤英彦校
の4年生15人が5日
地元の庄内小国川で、生青
に携わったサケの稚魚1万
2千匹を放流した。

児童たちは昨年11月、庄
内小国川漁業生産組合（本
間喜代治組合員）の協力を
ケは4、5年程度を経て古

里に遡上する。伊
藤陽さん（10）は「少し寂
しきもあったが、大きな
つて戻ってきてほしい」と
話していた。

市漁業庁舎が同校を対象
に実施している天鹿山森林
自然教室の一環として行わ
れた。（相原健佑）

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和8年3月8日 山形新聞

万世大路継承 活動の道程評価

米沢

社会資本を生かした地域づくりの取り組みを国土交通省が顕彰する「手づくり郷土賞」の一般部門に、米沢市の地域団体などによる「未来へつなぐ萬世大路～総合学習と観光創造」が選定された。今年は万世大路の事業着手から150年の節目。先月には同市に記念事業実行委員会が発足し、先人が残した歴史的遺産に注目が集まっている。

万世大路は、本県と福島県とを結ぶ大動脈として1876（明治9）年に事業着手し、1881（同14）年に開通。同市と福島市を結び長さ約48キロで、明治期と昭和期に整備された隧道（トンネル）が残る。

同年、明治天皇が東北地方などへの巡幸の際に完成した新たな道を通り、後に万世大路と命名した。携わった人々をたたえつつ、何世代（万世）にもわたって続く道になるよう願いを込めたとされる。米沢市万世小の校歌には「いにし明治の十四年 十月三日の駐蹕（天皇が車を止めて滞在すること）を仰ぎ奉りし御跡にて」ともたふとき庭なるぞの

国交省「手づくり郷土賞」選定



歌詞も残る。遺構を地域づくりに生かす動きでは、「歴史の道土木遺産萬世大路保存会」（菊地政信会長）が中心となり、散策路の保全やガイドマップ配布などを展開。会員がガイド役を担い、観光客や地域の子どもたちに万世大路の歴史的価値や周辺の豊かな自然環境を発信している。こうした活動が評価

され、同部に選ばれた10件のうち、東北地方では唯一の認定となった。事業着手より150年を盛り上げようと先月には事業実行委員会が立ち上がった。今年10月3日に菓子隧道の見学や芋煮振る舞いなどを盛り込んだツアーを開催するほか、翌4日には、隧道の整備に携わった当時の技術者たちの子孫らが参加するパネルディスカッションなども予定している。

保存会の菊地会長（72）は「米沢市万世町桑山」は「今後は福島県の関係団体とも連携するなどして発信力を高め、多くの人に郷土の誇りを伝えていきたい。万世大路の価値を再確認し米沢、山形の宝として後世につないでいく」と話した。

（斎藤健太）

山中に残る万世大路の遺構。右が1881（明治14）年開通の初代隧道で、左が2代目隧道。米沢市（歴史の道土木遺産萬世大路保存会提供）

自然や歴史テーマ 調べた結果を紹介

鶴岡・ほとりあで発表会
鶴岡市自然学習交流館ほとりあの学習発表会が7日、同施設で開かれ、利用す



る児童らが周辺の自然環境について調べた結果などを紹介した。

2012年の開館以来続く催しで、今回は団体・個人が自ら設定した自然や歴史、文化をテーマに発表した。このうち同市大山小3年の上山紋司さん（9）は、ラムサール条約登録湿地の大山下池で古くから栽培されているハスの特徴などを報告した。

酒田市松原小6年の笹原優さん（12）は、外来生物アメリカザリガニの駆除をはじめ、自身が参加した5年間の取り組みをまとめた。個体数の減少などを踏まえ、「僕たちの活動が（環境保全に）役に立っていると感じた」と話した。

（相原健佑）

児童らが調査内容などを報告した学習発表会
＝鶴岡市自然学習交流館ほとりあ

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和8年3月10日 山形新聞

【 みどり豊かな森林環境づくり推進事業 】

令和8年3月17日 山形新聞

庄内海岸林 再生へ一丸

産官学民のプロジェクト会議



松くい虫被害状況や課題共有

松くい虫被害が広がる庄内海岸林の復活を目指す産官学民によるプロジェクト会議（会長・吉村美栄子知事）が27日に設立され、三川町の県庄内総合支庁で初めての全体会合が開かれた。前年度の3倍以上と過去最悪となっている被害状況と当面10年間の戦略の方向性を共有し、一体となって再生と保全に取り組むことを確認した。

プロジェクト会議は県や国、庄内沿岸3市町、森林ボランティア、森林組合、JA、商工、大学など30以上の機関・団体が構成。再

生事業の方向性を検討し推進する「森林再生部会」（部会長・林田光祐山形大農学部名誉教授）と、多様な主体の協働で、森林を受け継ぐ仕組みをつくる「出羽庄内公益の森づくり部会」（部会長・奥尚浩東北公益文科大学大教授）を設置した。

森林再生部会は四つのチームに分かれ、危険木マップ作成など2次被害対策や造林による再生推進、苗木の供給体制構築、被害材活用を進める。公益の森づくり部会は、再生・保全活動庄内海岸林の再生・保全に取り組むプロジェクト会議の全体会合

三川町・県庄内総合支庁

を支えるボランティアの支援やリーダー育成のほか、海岸林再生基金（仮称）創設や企業への寄付の働きかけなど、県内外からの参画の仕組みを構築し、情報発信に取り組む。

庄内海岸林の2025年12月末時点の松くい虫被害（暫定値）は、民有林と国有林を合わせ62万451本と前年度比で3.4倍、材積（木材の体積換算）は31万9756立方メートルと3倍を超え爆発的に拡大している。出席した矢口明子酒田市市長は国への働きかけを含めた対策予算の確保と財政支援を求め、「飯森山の緑と景観を考える会」の五十嵐光雄事務局長は壊滅的な現状を県民に周知する必要性を訴えた。吉村知事は「息の長いプロジェクトになる。県を挙げて、あらゆる手段で取り組んでいく」と述べた。全体会合は年一回程度、部会は随時開催する。

（鈴木 悟）

県民みんなで支える森づくり



やまがた緑環境税

令和8年8月

令和7年度やまがた緑環境税活用事業実績集

発行 山形県環境エネルギー部みどり自然課
山形市松波二丁目8番1号
023-630-2206・2432
